其大体ノ主義ニ於テハ孛漏西ト共ニ現時ノ獨逸帝國ヲ組織セル他ノ王國及ヒ候國ニモ採用セラルヽニ至レリ。

孛漏西ニ於テハ英國ト同シク市ニ對シテハ郡村又ハ州ニ對スルヨリモ遙ニ前ニ代議制ニ依ル地方自治權ヲ附與シタリ。然レト千八百七十二年ヨリ八十四年ニ至ル迄ニ孛漏西ノ地方制度ハ全体ニ修正セラレ、現時ノ行政區畫ハ比較的ニ整劃ニシテ之ヲ州(Provinz)郡(Regierungsbezirt)鄉(Kreis)及ヒ市町村(Semerude)ニ分ツ。是レ恰モ佛國ノ縣(デスパートマン)、郡(アロンディスマン)、鄉(カントン)及ヒ市(コンミューン)ノ四級ニ適應スヘキモノアリ。其各區畫ニハ中央政府ノ代表タルヘキ機關ト、並ニ自治權ニ依リテ州郡鄉等各其地方的事務ヲ掌ルヘキ代議會及ヒ參事會トアリ。(クライス)鄉ハ數個ノ村落ヨリ成ルモノニシテ、人口二萬五千人以上ノ市ハ鄉(クライス)ヨリ離レテ別ニ獨立ノ市街鄉(スタットクライス)ヲ組織ス。此等ノ組織ハ其細密ノ點ニ於テハ遙ニ佛國制度ヨリ複雜ニシテ、其組織ノ全部ニ通シテ地方ノ發達ヲ增進シ最良ノ技能アル者ヲ以テ行政ニ參與セシメント欲スルノ主義ヲ認ムルコトヲ得。

スタイン及ヒフリードリヒ、ウイルヘルム三世時代ノ獨逸ニ於テハ其代議制

度ノ基礎ヲ平等普通ノ選擧權ニ置カンコトハ到底行ハル可カラサル所ナリキ。サレハ孛漏西ノ制度ハ重キヲ財產資格ニ置キ其制度ハ今ニ至ル迄改メラレス。選擧權者ハ一定ノ最少限以上ノ或ル種ノ租稅ヲ納付スル者ナルコトヲ要ス。此制限ニ依リテ選擧適齡ニ達セル男子中恐クハ略百分ノ十乃至十五ノ無資格者アルヘシ。其選擧制度ハ稍複雜ニシテ、市(例ヘハ伯林ノ如キ)ハ之ヲ數選擧區ニ區畫ス、其選擧人ハ納稅額ノ多少ニ應シ最多額納稅者ヲ最初トシテ順次ニ之ヲ登錄シ、而シテ其全体ハ之ヲ三級ニ分チ、每級總納稅額ノ三分ノ一ツヽヲ納ムルモノトナス。即チ第一級ノ選擧人ハ少數ノ最多額ノ納稅者ヨリ成リ、第二級ノ選擧人ハ其數遙ニ之ヨリ多キ中產者ノ階級ヨリ成リ、第三級ハ最多數ノ勞働者其他少額ノ納稅者ヨリ成ル、各選擧區ニ於ケル各級ノ選擧者ハ各列ニ市會議員一人ツヽヲ選擧スルナリ。

獨逸帝國中ニハ階級選擧ノ制度ヲ採ラサルモノ多シ、然レトモ全体ニイヘハ伯林ノ制度ハ獨逸中最モ廣ク行ハルヽモノナリ。最近(千八百九十三年)ノ伯林市會議員改選期ニ於テ選擧區ノ三分ノ一ニ其選擧ヲ行ヒタリシ時、選擧有資格者

階級選擧ノ結果ヲ示ス可キ極端ノ一例

ノ登錄セラレタル者總計十一萬一千六百三十七人ノ中、一級選擧人ハ二千〇四十五人、二級一萬三千〇四十九人、三級ハ九萬六千五百四十三人アリキ。此中實際ニ投票ヲ爲シタルハ一級九百七十六人、二級四千八百五十八人、三級二萬五千五百九十六人ニシテ、即チ有權者總數ノ三分ノ一ニ滿タサルコト遠シ。而シテ一級選擧者ハ比較的ニ最モ多クノ投票ヲ爲シタルヲ知ルヘシ。各級ノ選擧人ハ各同數ノ議員ヲ選擧スルナリ。階級選擧ノ制ニ依リテ富者ノ享クル所ノ特權ハ「エッセン」市ニ於テ其極端ナル事例ヲ見ルコトヲ得ヘシ。エッセン」ノ人口ハ殆ト十萬人ニ近ク而シテ僅々數人ヲ以テ其總納稅額ノ三分ノ一ニ滿テリ。是レクルップノ銃砲製造カ「エッセン」ノ產業ノ大部分ヲ占ムルカ故ニシテ、近年ノ市會ノ一選擧ニ於テハ一般選擧者中僅ニ一人ノ投票者アリシノミニシテ、以テ殆ド二千人ニ近キ三級選擧者ト同樣ノ選擧權ヲ行ヘリ。尙新ラシキ一選擧ニ於テハ、選擧人ノ數一級四人、二級三百四十三人、三級一萬二千百九十七人ニシテ、實際ノ投票者ハ一級二人、二級二百四十三人、三級五千三百六十七人ナリキ。索遜「巴威倫」ウユルテンベルヒノ諸外ノ市ニ於テ

獨逸市政ニ於ケル市會ノ地位

ハ三級選擧制ハ行ハレス、サレト其選擧權ハ亦頗ル制限セラレタリ。伯林ブレスラウケルンマグデブルヒ其他階級選擧ノ行ハルヽ諸市ニ於テモ或ハスツトガルトミユンヘンライプチヒ等此ノ如キ區別ノ存セサル諸市ニ於テモ、選擧人トシテノ職務ハ要スルニ善良ナル市會議員ヲ選出スルノ一事ニ在リ。市ノ百般ノ事項ハ盡ク此唯一ノ代議機關ニ集注スルモノニシテ、市會ハ以テ市長ヲ選擧シ、及ヒ其補助者タル市參事會員ヲ指定シ、市政執行ノ財源ヲ供給シ、而シテ自己ノ智識伎倆及ヒ思想ヲ以テ市ノ進步ノ標準及ヒ特質ヲ代表スルモノナリ。獨逸諸市ノ行政カ鞏固ニシテ變動ナキヲ得ルハ一ニ市會ニ其原因ヲ有ス。獨逸市政ノ組織及ヒ方法ニ就テ其詳細ヲ縷述スルノ徒ニ複雜ニ陷ヰリ倦怠ヲ招クニ止ルヘシ。然レトモ余輩ハ特ニ此一ノ事實即チ其市政ハ公選ノ市會ニ其焦點ヲ有スルノ事實ニ就テ特ニ讀者ノ注意ヲ惹起センコトヲ要ス。蓋シ獨逸ノ制度ハ其細目ニ於テハ如何ニ多クノ特色ヲ有ストスルモ、一ノ數モ重要ナル點ニ於テハ英國又ハ佛國ノ制度ト異ナルコトナク、其選擧人ハ等シク一ノ代議會ヲ選擧シ、其代議士ハ等シク一堂ニ集

六年任期三分ノ一改選ノ制度

任期制度ノ各種

リ直接又ハ間接ニ市ニ屬スル一切ノ權力ヲ其手中ニ握レルナリ。代議會ハ其大サヲ以テ種々ノ政見ヲ有スル者ヲ包容スルニ足リ、充分ノ責任ヲ以テ公開シテ其職務ヲ行ヘリ。

獨逸ノ市會ハ一時ニ全數ヲ改選スルノ制ヲ取ラス以テ其固定ヲ保テリ。例ヘハ伯林其他孛漏西ノ諸市ニ於テハ市會議員ハ其任期六年トシ二年毎ニ其三分ノ一ヲ改選スルナリ。伯林市ニハ四十二ノ選擧區アリ、之ヲ十四區ツヽノ三部ニ別チ、其各部ハ交替ニ其選擧ヲ行フ。即チ第一部ノ諸選擧區ハ千八百八十九年ニ議員四十二人ヲ選ヒ、第二部ハ千八百九十一年ニ、第三部ハ千八百九十三年ニ順次其代議士ヲ改選ス。一選擧區毎ニ議員三人ヲ選出シ、以テ選擧人ノ三階級ニ應ス。各部ノ選擧スル所合セテ四十二人、議員總數ハ百二十六人ナリ。獨逸諸市ノ全体ニ就テイヘハ議員任期ノ最モ普通ナルハ六年ニシテ三分ノ一改選ノ制ヲ取ル。然レトモストラスブルヒ及ヒメツツハ全數同時改選ノ佛國主義ヲ取ル其任期ハ五年ナリ。ミユンヘンニユルンベルヒ其他ノ巴威倫諸市ハ之ニ反シテ任期ヲ九年トシ三年毎ニ三分ノ一ヲ改選ス。ドレスデンケムニツツ其他ノ索遜諸市ハ英國ノ諸市ト同シク任期ヲ三年トシテ毎年三分ノ一ヲ改選シ。スツットガルトハ任期二年ニシテ毎年半數ヲ改選ス。然レトモ六年制ハ最モ獨逸ニ普通ニシテ以テ其特色トナスニ足ル。

市會議員ノ適當ナル數ニ就テハ歐洲ノ諸市ハ北蘇格蘭ヨリ南匈牙利ニ至ル迄何レモ多少獨立ノ歴史ヲ經テ今日ニ於テハ略同一ノ決定ヲ得タルモノヽ如シ。例ヘハ大國都ニ於テハ略百人内外ノ議員ヲ以テ適當トナシタルカ如ク、即チ龍動ノ市會ハ百二十六人、巴里ハ今ハ八十人ナルモ百人以上ニ擴張スヘキ見込アリ。維也納ノ新市會ハ百三十八人ナリ。國都ノ稍小ナルモノ及ヒ大商業市ニ於テハ四十人乃至六十人ヲ以テ最モ適當トスルカ如ク。即チ英國ノ重ナル諸市、佛國及ヒ伊國ノ主要ノ諸市皆此ノ如シ。之ヲ獨逸ノ諸市ニ比スレハミユンヘン及ヒライプチヒノ市會ハ六十人ノ議員ヲ有シ、ドレスデンハ七十二人、ブレスラウハ略百人ケルンハ四十五人、フランクフルトハ五十七人、マグデブルヒハ七十二人、ケムニツツハ

四十八人、ストラスブルヒハ三十六人、アルトナハ三十五人スツットガルトハ僅ニ二十五人ナリ。獨逸諸市中最モ重ナル四十市ヲ取リテ之ヲ平均セハ略五十人前後ナル可シ。是レ決シテ一小事ニ非ラス、余輩ノ之ヲ擧ゲル亦徒ニ統計ヲ勞スルニ非ラス。我米國ニ於テハ國ノ立法部ニ關シテハ其大サヲ如何ニ定ムヘキカハ稍世論ノ問題タリシモ、市ノ組織ニ關シテハ全ク之ヲ等閑ニ付シ、隨テ各市ノ間其差異極メテ甚シ。余輩ハ敢テ歐洲諸市ヲ以テ摸範トスヘシトイハス、然レトモ之ヲ比較スルニ由リテ有益ナル參考ヲ得ヘキハ疑ヲ容レサルナリ。

獨逸ノ市會議員ハ概シテイヘハ頗ル有爲ノ人士ヲ以テ滿テリ。市會議員ノ當選ハ高キ名譽ヲ表シ、實業家專門家學者等ノ通常爭ウテ得ント欲スルノ地位ナリ。市會議員ハ無俸給ニシテ、當選者ノ正當ノ事由ナクシテ就職ヲ拒辭スルモノニハ制裁アリ。市民ノ此地位ニ對スル尊重ノ情ハ獨逸ニ於テモ略英國ニ等シ。唯高等ノ敎育アル者ノ感情ハ獨逸ノ方英國ヨリモ強シ。有力ナル議員ノ每改選期ニ再三重任スルヲ常トスルハ英國モ獨逸モ相等シ。幸

漏西ニ於ケル階級選擧ノ制度カ市會議員ノ性質ニ及ホス影響ニ至リテハ精確ニ之ヲ算定センコト困難ナリト雖モ、若シ階級制度ヲ撤シテ帝國ノ立法部即チ「ライヒスタグ」ニ行ハルヽカ如ク、成年ニ達セルモノニハ凡テ平等ノ選擧權ヲ與フルコトヽナサハ其結果大ニ社會民政黨（ソチアールデモグラット）ノ勢力ヲ市會ニ增加スヘキコト疑ヲ容レス。現ニ佛國ニ於テハ近來社會黨ノ市會ニ入リテ以テ熱心ニ下級民ノ利益ノ爲ニスル市ノ事業ノ範圍ヲ增加センコトヲ勉ムル者少カラス。獨逸ノ諸市ハ之ヲ他ノ諸國ヨリ見レハ今日ニ於テ既ニ社會主義ノ實行ニ數歩ヲ進メタルモノトイフヲ得ヘシ。然レトモ獨逸ノ諸市ノ理想タル公共主義ト社會民政主義ト相距ル遠キハ佛國ニ於ケル「ブールゼオア」（市公民賤）ト異ナルト「ブロルタリアト」ト異ナルニ似タリ。現時ニ於テハ獨逸諸市ノ市政ハ尙敎育アル上級者ノ手ニ在リ。他日如何ナル社會ノ變動ニ逢ウテ此偉大ナル行政ノ機關ヲ勞働者ノ階級ニ移轉スヘキカハ全ク未來ノ推測ニ屬ス、余輩ハ其必ラスシモ架空ノ想像ニ非ラサルヲ一言スヘキモ是レ此ニ論スヘキ問題ニ非ラス。

獨逸市會ノ特色其地主ノ數

獨逸市會ノ特色ハ幾分カハ其中ナル不動產所有者ノ數ニ依リテ之ヲ推知スルヲ得ヘシ。獨逸ニ於テハ市會議員中少クモ或ル比例迄ハ家屋所有者ナルヲ必要トスルモノ多シ。伯林ノ市會ハ家主ヲ以テ其四分ノ三ヲ占メ、ブレスラウモ亦略之ニ等シ、フランクフルドハノーベルテュツセルドルフニユルンベルヒ其他多クノ小市ニ於テハ家屋所有者ハ議員全數ノ略十分ノ八乃至九ヲ占ム。之ニ反シテライプチヒドンスデンケムニッツ等ノ索遜ノ諸市其他二三ノ國ノ現行法ハ、議員ノ半數ハ家屋ノ所有者タルヲ要シ、其半數ハ所有者ナラサルヲ要スルコトヲ規定セリ。此ノ如キ規定ハ前ニ述ヘタル如ク階級選擧ノ制ヲ採ラサル諸市ニ於テハ以テ財產上ノ利益ヲ保護スルヲ目的トス。

其專門擧者ヲ有スルコト

市民ノ最多數ハ言フ迄モナク借家人ナレハ、其階級ニモ議席ノ正半ヲ與ヘ、地主ト地主ナラサルモノト自ラ其利害ヲ異ニス可キ事項ノ議決ニ就テ不公平ナカラシメンコトヲ期セルナリ。獨逸市會ノ他ノ一ノ特色ハ經濟學其他專門ノ智識ヲ有スル知名ノ學者ノ議員中ニ加ハレルニ在リ。例ヘハ伯林其他大學ノ所在地ナル市會ニハ心ラス一人以上ノ大學教授アリテ、其重要ナル政策又ハ行政ニ關スル意見ハ大ナル勢力ヲ市會ニ有セリ。市會ハ又其議員中ヨリ種々ノ常置委員ヲ設ケ、又議長及ヒ議長代理者各一人ヲ互選ス、但シケルンデュッセルドルフエルバーフェルド其他ノ數市ニ於テハ首席市長ヲ以テ其議長トナセリ。

吏員以外ノ通常市民ノ市政參與

市會及ヒ市參事會ノ外伯林市ニ於テハ別ニ七十五人ヲ以テ組織セル一体アリテ之ヲ「公民代理者」ト稱ス。公民代理者ハ市會市公民中ヨリ選任スル所ニシテ、公園地學校窮民救助衛生等種々ノ市ノ事務ニ關スル市會常置委員ノ補助者タリ。市會ノ議決ニハ加ハルノ權ヲ有セサレトモ、以テ獨逸市行政ノ各部ニ通シテ行ハルヽ吏員ナラサル市民ヲシテ市ノ通常事務ニ參與セシムルノ美風ヲ說明スル好事例トナスニ足ル。

市長及ヒ市參事會員ノ性質

市長及ヒ市參事會員ハ獨逸ノ諸市ニ於テ得ラレ得ヘキ最モ老練熟達ナル人士ヨリ成ル。市長ハ一般市行政ニ關スル老練家ナリ、之ヲ補佐スル參事會員ニハ法律ノ老練家アリ、學校ノ管理ニ長ケタル敎育ノ老練家アリ、各種ノ事業ノ監督ニ適スヘキ工事ノ老練家アリ、衛生學ノ老練家アリ

給水瓦斯等ノ管理ノ老練家アリ、其他尚種々アリ。固ヨリ不完全ナル比較ナレトモ獨逸ノ市ノ機關ハ或ハ之ヲ鐵道會社ニ譬フルコトヲ得ヘシ。株主總會アリテ先ツ重役ヲ選擧シ重役ハ又一般ノ監督者トシテ支配人ヲ任シ之ニ付スルニ乘客掛長貨物掛長法律掛長工事長機關師長其他ノ一般ノ役員ヲ以テシ或ハ之ヲ下級ノ職員ヨリ昇任シ或ハ之ヲ他ノ運送業者ヨリ採擇シ而シテ殆ト凡テノ事業ノ管理ト運用トヲ此等ノ老練家ニ委任ス。株主ハ以テ之ヲ市ノ選擧人ニ比スルヲ得ヘシ、重役ハ即チ市會ナリ、支配人ハ即チ市長ナリ各掛ノ長タル一般ノ役員ハ即チ參事會員ナリ。

サレハ獨逸ノ市參事會ハ市民ノ代表者ニハ非ラスシテ、名譽アリ高給アル老練ナル專門吏員ノ一体ナリ。專門ノ行政吏ハ獨逸ニ於テハ英國又ハ米國ヨリハ其地位固クシテ需要亦廣シ。特ニ米國人ニ取リテハ其地位ヲ想像スルコト殊ニ困難ナルヘシ。米國ノ市長ハ通常或ル知名ノ市民カ一時私ノ職業ヨリ出テヽ市ノ長官タルニ過キス。獨逸ノ市長ハ一ノ文官ナリ、熟練ノ吏員ヲ以テ組織セル常任ノ合議体ノ常任ノ長タルナリ。二者ノ間ノ差異ハ稍ミ

國ノ軍務大臣ト陸軍大將トノ差異ニ似タリ。余輩ハ先キニ獨逸ノ諸市ニ於テ他日勞働者カ投票ノ多數ヲ占ムルノ日至ラハ、其市政ノ目的ト方針トノ一變スルコトアルヘキヲ云ヘリ。然レトモ行政ノ政策トハ離レテ行政ノ執行トモイフヘキモノニ至リテハ、余輩ハ其何等ノ變動アルヘカラサルヲ信ス。言ヲ換ヘテ云ヘハ市民ノ代議會ニ於テ如何ニ政治上階級上ノ爭アルモ、其會ノ方針ヲ執行セシムルニハ、尚必ラス永久ノ文官ノ主義ヲ繼續スヘキヲ信ス。吾人米國人ハ如何ニ獨逸ノ文官主義ヲ排斥スルモ可ナリ。然レトモ我米國ノ鐵道會社ニシテ其運轉又ハ工事ノ爲ニ熟練ナル專門技師ヲ求ムルコトヲ禁セサル限リハ、獨逸ノ國民ハ又其市行政ノ執行ニ熟練ナル專門吏員ヲ用キルコトヲ絕タサルヘシ。

市ノ執行機關ニ就テ獨、英、佛三國ノ間ノ差異ヲ略述スルモ亦無用ナラザルヘシ。英國ノ市ハ唯一ノ公選ノ市會（タウンカウンシル）アルノミニテ、之ニ加フルニ市會自ラ選擧スル所ノ議員數六分ノ一ニ相當スヘキ「オールダーメン」（「長老」ト譯ス）アリ。此等ノ長老ヲ殆ト常ニ通常ノ市會議員中數回ノ任期ヲ重ヌ特ニ事務ニ練熟セル

者ヨリ選擧セラル。其職掌ハ別ニ通常市會議員ト異ナルコトナク、唯其任期ハ三年ニ非ラスシテ六年トシ、又屢常置委員ノ委員長タリ。市長（ダイヤ）ハ一年ノ任期ヲ以テ市會ノ選擧スル所ニ係リ通常又長老ノ一人タリ、其職務ハ單ニ議長トナリ及ヒ市ノ長官タル稱號ヲ有スルニ止ル。其就任ノ一年中ハ他ノ議員ト同シク常置委員ノ職務ヲ行ヒ。其年盡クレバ更ニ其議席ニ復スルナリ。市政ノ重要ナル各部ニハ各常置委員アリ、常置委員ハ全市會ノ承認ヲ經テ各部ノ常任ノ部長ヲ選定ス。部長ハ其ノ部ニ屬ス可キ下級ノ吏員ヲ任用シ、而シテ自ラ之カ監督ニ當ル、此ノ如クシテ英國ノ市政ノ執行ニ當ルモノニハ市書記、市ノ土木技師、市ノ衛生技師ノ外衛生部長、給水部長、警察部長、其他種々アリ。是等ノ老練家ハ專ラ其技倆ヲ以テ屢他ノ諸市ヨリ之ヲ採用スルコトアリ、此制度ノ結果ハ甚タ滿足ニシテ、老練ナル各部長ハ絕エス市會常置委員ノ委員長ニ接シ、市會ノ會議ニハ常ニ列席シ、常置委員ヲ通シテ其事務ノ詳細ヲ市會ニ報告ス。之ヲ要スルニ英國市政ノ唯一ノ機關ハ市會ニシテ、頻繁ニ其會議ヲ開キ、其職務ノ大部分ハ之ヲ其常置委員ニ委任シ、而シテ日常ノ事務ニ

佛國ノ制度一斑

獨逸ノ制度其市參事會

伯林市參事會ノ組織ノ分析

對シテハ別ニ常任ノ吏員アルナリ。

佛國ノ制度ハ全ク之ト異ナリ、市會ハ其議員中ヨリ一人ノ市長ヲ互選シ、幷ニ議員中ノ最モ老練ナル數員ヲ互選シテ市ノ助役ト爲シ、市長ト相合シテ市參事會（コルプミュニシパール）ヲ組織セシム。市長ハ又其各助役ニ市政各部ノ管掌ヲ委任シ、而シテ各助役ヲ委員長トシテ議員中ヨリ之ヲ補助スヘキ常置委員ヲ組織セリ。サレト市行政ノ全部ニ通シテ其監督者タルヘキ者ハ市長ナリ。市長及ヒ其參事會ノ下ニ於テ老練ナル專門吏員ノ組織アリ。市會ハ一年中定期ニ開會スルニ止レトモ、市參事會ノ會議ハ極メテ頻繁ニシテ以テ各部行政ノ統一ヲ保テリ。

獨逸ノ市參事會ハ恰モ英國ノ制度ニ於ケル常任ノ各部部長及ヒ各常置委員ノ委員長カ相合シテ一ノ最高執行機關ヲ組織セルモノニ似タリ。其性質ハ其組織ヲ分析スルニ由リテ一層明瞭ナルコトヲ得ヘシ。伯林ノ市參事會ハ三十四人ヲ以テ組織シ、其中一人ノ首席（オーベルビュルゲルマイステル）市長及ヒ其次席ニシテ之カ代理者タルヘキ一人ヲ以テ副市長アリ。市參事會員三十四人中十七人ハ有給職ニシテ

其任期十二年トス市長及ヒ副市長ハ其中ニ含マル。其他十七人ハ名譽職ニシテ任期六年ナリ。有給職參事會員ハ何レモ其專門ノ技倆ニ依リテ選擧セラルヽモノニシテ、恰モ鐵道會社ノ重役カ其吏員ヲ任用スルニ似タリ。其採擇セラルヽモノハ或ハ他ノ諸市ノ吏員トシテ經驗ヲ積ミタル者、又ハ王國政府ノ官吏中最モ有爲多望ノ士ヲ一層ノ高給ヲ以テ誘ヒタルモノ等ヨリ成リ法律家財政家建築技師土木技師敎育家其他ノ老練家ヲ包含ス。其地位ハ任期滿限ノ後必ラス再選セラルヽコトヲ期シ得ヘク、實際ニハ自己ノ過失ニ依リテ其職ヲ免セラルヽ外ハ全ク終身職ナリ。十七人ノ名譽職參事會員ハ市ノ行政ニ關スル專門以外ノ最高ノ智識ト經驗トヲ代表スルモノトイフヘク稍英國ノ市會ニ於ケル長老若クハ其市會常置委員ノ委員長ニ似タル所アリ。其多クハ市會議員トシテ有力ノ地位ヲ占メ、且ツ其時ヲ市ノ事務ノ爲ニ犧牲ニスヘキ餘裕アル市民ニシテ一ハ其地位ノ名譽ヲ得ンカ爲ニスルモノナリ。蓋シ此等ノ地位ハ最高ノ尊重ヲ受クルモノニシテ、其職ニ在ルモノハ時トシテハ其行政ノ技能ニ於テ若クハ其學識技術ニ於テスラ

モ有給職參事會員ニ讓ラサルモノアリ。名譽職參事會員モ亦實際ニハ永久職ニシテ、改選期毎ニ重任スルヲ常トス。時トシテハ有給職ニ缺員ヲ生スルニ當リテハ名譽職參事會員中ヨリ之ヲ補充スルコトアリ。市政事務中其煩忙ナルモノハ通常有給職ノ管掌ニ屬セシムルコト勿論ニシテ、名譽職員ハ純粹ノ執行ヨリハ寧ロ商議ノ機關タルヲ常トスト雖モ、時トシテハ名譽職員ニシテ自ラ市ノ事務中ノ重要ナル部分ヲ管掌スルコト稀ナラス。市民ノ市參事會員ニ選擧セラレタル者ハ少ックトモ其六年任期ノ半迄ハ必ラス其職ニ就クヘキノ義務アリ、若シ之ヲ拒辭スルトキハ嚴重ナル所罰ニ處セラル。

市長（オーベルビュルゲルマイステル）—或ル市ニ於テハ首座市長（ビュルゲルマイステル）ト稱ス—ハ市ノ行政ノ全部ヲ統括スルモノニシテ通常亦市ノ經濟政策ノ主腦タリ。其小市ノ市長トシテ能ク成功ヲ得タルモノハ往々一層大ナル市ノ市長ニ採擇セラルヽノ望アリ。例ヘハ伯林ノ市長タリシ故ドクトルフオルケンベックハ初プレスラウノ市長トシテ名聲ヲ博シ轉シテ國都ノ市長タルノ地位ヲ得タルナリ。フオルケンベックノ千八百九十二年ニ死スルヤダンチツク

ノ現市長ノ高名アルヲ以テ直ニ其候補者ニ推サレタリシモ、遂ニ伯林市參事會ヨリドクトルチェツレヲ擧クルコトヽナレリ。市長ハ市ニ依リテハ或ハ其任期終身ナルモノアリ、或ハ最初先ツ數年ノ任期ヲ與ヘ其後ニ至リテ之ヲ終身トナスモノアリ。例ヘハミュンヘン、ライプチヒハノーベルスツットガルトケムニッツ其他多クノ小市ハ皆終身タリ、伯林ブレスラウ、ケルン、マグデブルヒ、フランクフルト、ケーニヒスベルヒデュッセルドルフ等ノ諸市ハ十二年ノ任期トナス。ストラスブルヒメッツ及ヒエルザス、ロートリンゲンノ諸市ハ之ニ反シテ獨逸ノ市制主義ヨリハ寧ロ佛國ノ市制ニ則リ其千八百七十年ノ法ニ從テ五年ノ任期ヲ與フルニ止ル。

市參事會員
其任期

有給職參事會員ノ任期ハ通常市長ノ任期ト同シク、市長ヲ以テ終身職トスル諸市ニ於テハ其ノ他ノ有給會員モ亦終身職タリ。名譽職參事會員ノ任期ハ市會議員ノ任期ニ同シ。有給參事會員中ニ於ケル職務ノ分配ハ極メテ完全ニシテ其間決シテ權力ノ衝突ヲ來シ又ハ勞力ヲ徒費スルコトナシ。行政ノ新部局ヲ生スルトキハ或ハ之ヲ現任參事會員ノ職務ニ併加スルコトヲ得ヘク、或ハ新ニ參事會員ヲ增員シテ之ニ當ラシムルコトヲ得ヘク、以テ何時ニテモ市ノ事情ノ變更ニ應スルコトヲ得。市參事會中ニ名譽職參事會員ヲ有スルハ以テ絕エズ市民ノ意向ヲ反射セシムルノ利益アリ。參事會員ハ市會議員ト共同シテ常置委員ヲ組織ス。常置委員ノ外市行政ノ種々ノ細務ニ關シテハ各種ノ名譽職委員アリ委員ハ有志ノ市民ヨリ選ハルヽモノニシテ吏員ニ非ラス其性質ニ就テハ尙後ニ之ヲ一言スヘシ

其職務ノ分配

常置委員及委員

獨逸ノ市參事會ハ大市ニテモ小市ニテモ殆ト皆此有給職員ト名譽職員トノ二種ヲ備フ。ドレスデンニ於テハ十四人ノ有給職員ト十八人ノ名譽職員トアリ、其十四人中ニハ他ノ小市ノ同地位ヨリ轉職シタルモノ甚タ多ク、其十八人ハ市會議員トシテ永ク功勞アリシモノヽ擧ケラレタルモノナリ。ライプチヒハ有給十二人名譽職十五人、ミュンヘンハ有給十六人名譽職二十人、ブレスラウハ同シク十一人ト十三人フランクフルトハ九人ト八人、ハノーベルハ八人ト九人、ニュルンベルヒハ九人ト十七人、ケムニッツハ九人ト十六人ナリ。其他多クノ小市ニ於テハ名譽職ノ方遙ニ多數ヲ占ム。スットガルトニ於テハ

有給參事會員ト名譽職參事會員トノ數

市吏員ノ俸給

有給職ハ僅ニ市長一人ニシテ、他ノ參事會員ハ皆無給ナリ。然レトモ是レ著シキ一異例ニシテ、獨逸ノ有給參事會員ハ事實佛國ノ助役ニ等シキ地位ヲ有スルモノナリ。

獨逸ノ文官ノ俸給ハ概シテ甚タ低シ、是レ其地位甚タ鞏固ニシテ其退職ノ後ニハ恩給アリ社會上亦高等ノ地位ヲ占メ之ヲ希望スルモノ甚タ多キヲ以テナリ。獨逸ノ市長及ヒ市參事會員ノ俸給ハ一般文官ニ比スレハ比較的ニ甚タ大ナリ。伯林ノ市長ハ年俸三萬嗎(一嗎ハ我五十錢弱)ヲ受ケ、其他諸市ノ市長ハ略三萬嗎以下一萬嗎以上ノ俸給ヲ受ク。副市長ハ俸給市長ニ次テ、伯林ニ於テハ一萬八千嗎、其他ノ諸市ニ於テハ六千嗎ヨリ一萬二千嗎ニ至ル。有給參事會員ノ俸給ハ伯林ニ於テハ平均一萬二千五百嗎ナリ、若シ一百餘ノ大小諸市ヲ平均スルトキハ其一人ノ年俸略六千嗎前後ナルヘシ。此ノ如キ高給ハ獨逸ニ於テハ其レノミヲ以テモ大學其他ノ專門學校ノ出身者又ハ國ノ官吏ヨリ多クノ希望者ヲ誘フニ足ル。市長及參事會員ノ下ニハ巨多ノ市吏員アリテ數多ノ等級ニ分タル。

警察權

警察權ハ獨逸ニ於テハ國ノ政務トシテ留保セラレ、通常國政府ノ機關ノ管掌ニ屬シ地方團体ノ機關トシテ其職權ヲ有スルニ非ラス。警察ノ費用ハ大市府ニ於テハ主トシテ國ノ負担ニ屬スルヲ原則トスルモ、或ル市ニ於テハ市ノ之ヲ分擔スルモノアリ。伯林ニ於テハ市ノ政府ヨリ夜警ノ備ヲナセリト雖モ一般ノ警察權ハ孛漏西王國ノ國政ニ屬セリ。此ノ如ク普通警察ノ事務ヲ國ノ行政トナスベキカ若クハ市ニ之ヲ委任スヘキカニ就テハ、獨逸ニ於テモ說分カレタリト雖トモ、市ノ自治權ノ熱心ナル擴張論者ニシテ尙警察權ニ就テハ之ヲ軍備ニ準シテ一般ノ政治ノ權力ニ留保スルノ適當ナルヲ唱フルモノ多シ。實際ニ於テモ亦警察ノ機關ト市ノ機關トカ常ニ其調和ヲ保チ協力シテ其行政ヲ擧クルコト甚タ容易ナルカ如シ。警察事務ハ獨逸ニ於テハ極メテ微細ノ事項ニ亘リ全市ノ戶口ハ盡ク警察ノ記錄ニ登錄シ、其出入變動ハ一々之ヲ調査登錄ス、警察署ハ每年宿所氏名錄ヲ刊行發賣スルモノナルヲ以テ其編纂ノ材料タルヘキ氏名ト事實トガ詳細ニ警察署ノ知ル所タラザルヘカラサルハ勿論ナリ。市外ヨリ旅客ノ來着スルモノアルトキハ旅店ニ於ケ

ルト私宅ニ於ケルトヲ問ハス盡ク之ヲ警察署ニ届出ツルヲ要ス、其届書ニ記入スヘキ事項ハ純粋ノ一身上ノ事項ニマテ及ヒ米人又ハ英人ノ旅客ハ寧ロ以テ滑稽トナスヘキ程ナリ。

結語

獨逸諸市ノ文官主義

獨逸諸市ノ行政組織ハ略以上述フルガ如シ獨逸ノ市民ハ市カ一ノ生存目的ヲ有スル有機的ノ團体ニシテ市ノ政府ハ單ニ之カ目的ヲ達スルノ手段ニ過キサルコトノ明瞭ナル觀念ヲ有セリ。所謂「文官主義」ハ此思想ヨリ生スル避クヘカラサル結果ナリ。余輩ハ敢テ獨逸風ノ文官主義ヲ我米國ニ輸入スルヲ主張セント欲スルニ非ラス。米國ニ於テ熟練ナル常任專門ノ市吏員ノ發達ヲ希望セサルノ論者ニ對シテハ本書固ヨリ之ト論爭スルノ目的ヲ有セス。余輩ノ茲ニ目的トスル所ハ單ニ比較參考ニ便セントスルニ在リ。然レトモ若シ余輩一已ノ私見ヲ以テ言ハハ、余輩アリテ然カモ其事務ヲ行フニ於テハ私人ノ企業ニ於テ行フカ如ク敏捷ナル組織ヲ爲スノ否ナルヤノ理由ヲ見出スコト能ハス。余輩ハ又如何ニシテ市カ各種ノ事業ヲ爲スノ生存目的ヲ有スルノ思想ト所謂「文官主義」即チ恒

久熟練ナル行政吏員ノ組織ヲ排斥スルノ思想トカ相調和スルコトヲ得ヘキヤヲ解スルコト能ハス。然レトモ又之ト同時ニ獨逸ニ於テモ其極端ナル文官主義ハ、數千人ノ吏員ナラサル市民ヲ以テ委員トナシ、學校ノ管理、窮民ノ救助、其他諸種ノ市ノ事務ニ當ラシムルノ制度ト及ヒ市民中ノ最モ有力有識ナル者ヲ市會又ハ市參事會ニ選擧スルノ慣習トニ依リテ大ニ緩和セラルヽモノアルハ又注意スヘキノ事實ナリ。

第六章　獨逸諸市ノ事業

第一節　市ノ事業ニ關スル主義

獨逸ノ觀念

獨逸諸市ノ事業ノ執行ハ其市ヲ以テ有機的ノ團体ナリトスルノ觀念ト相照應スルモノナリ。此ノ如キ觀念ハ心理學ノ上ニ於テ又研究ノ價値アル可キ者ナリト雖モ、理論ト哲學トハ本書ノ目的ニ非ラス、余輩ハ唯獨逸ニ於テハ市ノ組織カ米國ニ於ケルヨリハ遙ニ多ク個人及ヒ家族ノ生活ノ要素タルコトヲ知ルヲ以テ足レリトス。獨逸ノ市政府ハ市ノ各種ノ利害ヨリ獨立シタル別種ノ物体ニハ非ラスシテ、直ニ之ト其生存ヲ同シウスル者ナリ。而シテ市トハ其區域内ニ包含セル人民及ヒ人民ノ利害ノ集合ニ外ナラス。獨逸ノ市政府ノ觀念ニハ其爲シ得ヘキ事務ノ範圍ニ關シテ一モ制限アルコトナク、苟クモ市ノ利益ヲ增加シ及ヒ市民ノ幸福ヲ增進シ得可キモノハ盡ク之ヲ實行スルノ職務ヲ負フモノナリ。此觀念ハ明ニ之ヲ社會主義ノ觀念ト區別スルコトヲ要ス、二者ノ間必スシモ常ニ調和スルコトヲ得サルモノナリ。

市ノ事務ニ限界ナシ

其實例

此二ツノ區別ハ一ノ實例ヲ示スニ依リテ一層明曉ナラシムルコトヲ得ヘシ。千八百九十三年ニ於テスツットガルトノ市政府ハ電氣燈ヲ市ノ事業トシテ設置シ及ヒ所有營業スルコトヲ決シタリ。當時其特別調査員ハ一定ノ年限間私設會社ニ其特權ヲ與フルノ得策ナルコトヲ報告シタリシモ、市會ニ於テ十二票ニ對スル十三票ノ多數ヲ以テ其反對ニ決定ヲ與ヘタルナリ。然レトモ其決定ハ專ラ純粹ノ財政政策ニ基ク。社會主義モ亦市ノ所有營業ヲ主張スト雖モ、之ヲ主張スルハ社會主義カ私人ノ資本ノ公敵ナレハナリ。スツットガルトノ市會ハ之ニ反シテ市ノ實際ノ利益ノ爲ニ實際ノ財政問題ヲ討議セルナリ。サレハ其議員ノ半數ハ電氣カ未タ普通ノ必需品タルニ至ラス、其事業ハ未タ發達經驗ノ時期ニ在ルヲ以テ、十年前後ノ間ハ暫ク之ヲ私立會社ニ任シ、而シテ相當ノ期間ノ後相當ノ代價ヲ以テ之ヲ買上クヘキ權利ヲ市ニ留保スルコトヲ固守シタリ。議員二十五人中此說ヲ贊スルモノ十二人ナリキ。若シ此問題ニシテ孤立ノ問題ナラシメハ、絕對ノ過半數ヲ以テ私有主義ヲ可決シタリシナル可シ。

其動因ハ社會主義ニ在ラス

スツットガルト電氣市有ノ議決

其眞ノ理由

然カモ遂ニ其反對ノ決定ヲ見ルニ至リシハ別ニ事情ノ存スルアレハナリ。

瓦斯市有ノ決定

スツットガルトハ獨逸諸市ニ稀ニ見ル所ノ例ナル瓦斯ノ製造販賣ヲ以テ市ノ專業トナサヾル市ノ一ナリ。然レトモ近キ將來ニ於テ現存ノ瓦斯會社ヲ買收シテ、自ラ營業ヲ爲スヘキコトヲ既ニ決定シタリ。蓋シ瓦斯ハ普通ノ必要品ニシテ其性質上自ラ專占業タルヲ免レス、而シテ市ハ其街路ノ點燈ノ爲ニ自ラ大消費者タリ、瓦斯營業ハ又既ニ經驗時期ヲ過キ獨逸ニ於テ瓦斯營業ヲ以テ市ノ專業トナスノ利益アルハ既ニ疑ナキノ事實タレハナリ。此理由ニ依リスツットガルドハ近々ニ到着ス可キ特許年限ノ滿了ト共ニ瓦斯市有ノ議ヲ決シタルナリ。市カ特ニ瓦斯業ヲ專占セントスルノ時ニ當リ、若シ私設會社ニ許ルスニ電氣業ヲ營ムコトヲ以テセハ、其競爭ノ結果必ラス困難ナルモノアルヘキハ疑ヲ容レス。加フルニ市カ瓦斯業ヲ專占スルト共ニ之ト繫聯シテ電氣業ヲ營マハ財政上ノ危險ヲ來タスノ憂亦甚タ少ナキヲ得ヘシト。是レ疑モナク有力ナル議論ナリキ。之ニ加フルニ又電氣ノ市有主義ヲ利益ス可キ別種ノ事情アリキ。之ヨリ先キスツットガルトノ馬車鐵道會社ハ其原

馬車鐵道會社ノ電氣力需要

動力ヲ馬力ニ代フルニ電氣力ヲ以テセンコトヲ請願シ、其電線ハ之ヲ街上ニ架設センコトヲ希望セリ。スツットガルトハ一小市街ニシテ架空式ノ電線ノ敷設ハ其ノ危險ヲ以テ多ク反對スヘキ理由ナシ、而シテ會社ハ其需要スヘキ原動電氣力ニ對シテハ相當ノ代價契約ヲ以テ市有ノ電氣ヨリ其供給ヲ得ンコトヲ申込ミタリ。此永續ナル大華主ノ保障ヲ得タルニ由リテ又市ノ事業ハ大ニ其冒險的ノ性質ヲ輕減セシメタルナリ。

獨逸ニ於ケル公共主義ノ眞相

事實ハ此ノ如シ。更ニ余輩ヲシテ其獨逸ノ關係ヲ一言セシメヨ。余輩ノ見聞ノ及ヘル限リハスツットガルトノ市會中何レノ派ニ於テモ其論據ヲ社會主義ノ理論ニ有シタルモノハ全ク之アラサリシナリ。人若シ獨逸ノ諸市ニ於テハ絕エス充分ナル公共主義ノ實行アリテ後其諸市ヲ視察セリ恐クハ其事實ノ以テ私ノ企業ヲ壓倒セルコトヲ信シテ必スシモ豫期ノ如クナラサルヲ見ルヘシ。疑モナク獨逸ニ於テハ我米國諸市ニ於テ全ク私人ノ企業ニ放任セラルヽ事業ニシテ、市ノ之ヲ專占シテ其成功ヲ得タル多クノ有益ナル實例ヲ見ル可シト雖モ、此等ノ事業カ皆理論上ノ

根據ニ出テタリトハ恐ラクハ報告スルコト能ハサルヘシ。市ノ實際ノ利益幸福ハ實ニ市カ最モ深ク且ツ重ク其責任ヲ感スル所ナリ。スツットガルト市會ノ半數ハ市カ一ノ有機体トシテ其幸福ヲ增進スルニハ、少クトモ電氣業ニ就テハ私設ノ會社ヲシテ其業務ヲ營マシメ市ハ之ヲ監督制限スルニ止ルコト經濟上最モ利益アルコトヲ信シタリシナリ。此ノ如キ精神ト市ノ事業ニ對スル責任ノ觀念トハ、假令何レニ決定セラレタリトスルモ毫モ影響スル所ナキニ非ラスヤ。市會議員ノ何レモハ寸毫モ特許ヲ得ント欲セル私立會社ノ利益ノ爲ニ其持說ヲ枉ケ、偏頗ナル判斷ヲ下シタルノ非難ヲ受ク可キモノナシ。若シ其特權カ與ヘラレタリトスルモソハ純粹ノ經濟政策ヨリ出テタルニシテ、市ハ尙之カ上ニ充分ノ監督權ヲ行ヒ、市民ヲシテ一ニ私立會社ノ專橫ノ下ニ支配セラレシムルカ如キハ斷シテ之アラサリシナルヘシ。

スツットガルトハ獨逸諸市中市ノ生產的事業ニ關シテハ寧ロ後レタル一ニシテ、余輩カ之ヲ例トシテ擧ケタルハ單ニ偶然ノ事ナリ。然レトモ此ノ美ナルヴュルテンベルヒノ國都ニ就テハ尙數言ヲ加フルノ價アルヘシ。スツットガルト市ノ事業ニ關スル主義

スツットガルト交通機關ノ將來

トニ於テ瓦斯營業ヲ買上ケ及ヒ市有ノ電氣線ヲ敷設スルハ市ノ事業ノ發達ノ上ニ大ナル進步ヲ見ハスモノナリ。馬車鐵道會社ノ特許期限モ亦久シカラスシテ滿了スヘク、而シテ其滿了ノ頃ニハ市ノ供給ニ依ル電氣力ヲ以テ其動力トナシ、市內交通ノ問題モ亦現時ヨリハ遙ニ重要ノ問題トナルヘキヲ以テ、スツットガルトノ市會カ市內ノ鐵道ノ管理及ヒ營業ニ關スル他ノ諸市ノ經驗ヲ綿密ニ調查シタル後ニ、之ヲ市ノ所有トナシ市自ラ之カ營業ヲ爲スコトヲ議決スヘキハ期シテ待ツコトヲ得ヘキナリ。此ノ市事業ノ第二ノ擴張ハ最モ充分ナル準備ト其有利安全ナル營業ナルコトノ確ナル保證トヲ得タル後ニ於テ實行セラルヘシ。更ニ一步ヲ進メテハ吾人ハ又市カ燃料ノ販賣ヲ專占スル等ノコトアルヲ豫期シ得ヘシ。點燈ノ材料トシテ電氣ヲ用ヰルコトノ漸次發達スルニ隨ヒテ、瓦斯ハ次第ニ燃料トシテ用ヰラルヽノ傾アリ。瓦斯ヲ市有トナセル後ハ恐クハ久シカラスシテ數多ノ瓦斯起動器及ヒ瓦斯ノ暖爐ヲ供給スルニ至ルヘク、而シテ其ノ瓦斯及ヒ電氣ノ專占者タルノ地位ハ其必然ノ論理ヨリシテ、市ノ燃料又ハ熱若クハ其兩者ヲ中央發動所ヨリ分

燃料販賣ノ專占

此ノ如キ主義ハ社會主義ニ非ラス

スツットガルトノ給水

配スル避クヘカラサル趨勢ト共ニ、保守的ナルスツットカルト市ヲシテ更ニ他ノ一ノ公共必需品ヲ供給セシムルノ日アルニ至ル可キハ疑ヲ容レサルナリ。人若シ此ノ如キ狀態ヲ稱シテ社會主義ニ陷キレルモノナリトイフモノアルモ余輩ハ敢テ此惡稱ヲ用ヰルノ不可ナルヲ論スルノ勞ヲ取ラサルヘシ。然レトモ獨逸市民ハ之ヲ以テ市行政ノ經濟的ニシテ且ツ進歩シタル方法ナリトスルノ外何等ノ意味ヲ有スルモノトナルヲ認メス。其凡テハ市ガ其團體ノ一般ノ幸福ヲ謀ル可キ責任ヲ有スルノ觀念中ニ包含セラルヽ者ニシテ、毫モ新主義ヲ含ムモノニ非ラス。若シ獨逸諸市ニシテ其經驗ノ結果所謂自然的專占業タル可キ諸種ノ公共必需物カ私人ニ依リテ一層有利ニ供給セラルヽコトヲ認ムルノ日至ラハ其時ハ即チ市ノ企業ノ消滅スルノ日ナル可シ。然レトモ假令其企業ニシテ消滅スルモ市ハ依然トシテ其市民ノ生活ノ必要ナル原素タリ、一有機的團體タルコトハ今日ノ市ト寸毫ノ差ナカルヘキナリ。スツットガルトノ保守ヲ以テシテ數年前己ニ給水ノ事業ヲ市ノ專占トナシ、市民ノ健康ノ爲メニ及ヒ直接租稅ヲ輕減スヘキ財源トシテ共ニ能ク其目的ヲ達セリ。其市ハ又排泄物ノ取除ヲ以テ市ノ專占業ト爲シ、之ヲ肥料ニ變成シ以テ其費用ヲ償フノミナラス、又少カラサル收入ノ源トナセリ。市街ノ掃除及ヒ塵芥ノ取除ニ就テハスツットガルトハ未タ之ヲ以テ其財源トナスニ至ラスト雖モ、尙巧ニ其經濟ヲ管理シ、最少ノ費用ヲ以テ能ク市街及ヒ家宅ノ清潔ヲ保持セリ。スツットガルトノ市有墓地ハ又相當ノ收入ノ源タリ。或ル意味ニ於テハ公園地自身モ亦市ニ財源ヲ供スルモノナリ。市ノ所有ニ係ル遊歩地、病院敷地、學校敷地、其他ノ土地ニシテ樹木ヲ有スルモノハ、凡テ或ル目的ニ對シテハ市政廳ノ森林部ノ管理ニ屬シ、而シテ此部ハ樹木ノ生長ヲ害セサル範圍ニ於テ其木材ヲ採取シ、之ヲ拂下クルニ依リテ、其地域內ノ徑路、庭園ヲ維持管理シ、及ヒ其ノ俸給經費ヲ支辨スルノミナラス、其總收入ノ五割ハ之ヲ純益トシテ市ノ收入ニ加フルヲ得ルナリ。茲ニ此等ノ事例ヲ擧ケタルハ單ニ獨逸ノ市政ノ經濟的ナルコトノ一小例タルニ過キス。余輩ハ嘗テスツットガルトカ他ノ諸市ノ模範トシテ擧ケラレタル例ヲ聞カス。若シ他ノ諸市ニ就テ云ハヽ此ノ如キ事例ヲ表示スルハ

排泄物ノ取除

市街ノ掃除

市有墓地

市ノ森林部

一層容易ナルヘシ。

然レトモ市カ其市民ノ幸福ヲ增加スルカ爲ニ有スル責任ハ決シテ此等特種ノ事業ノ成功ニ依リテノミ滿タサルニ非ス。市カ此等ノ事業ヲ自ラスルト之ヲ私人ニ委任スルトハ單ニ各時期ニ於テ何レカ便宜ニシテ何レカ不便宜ナルカヲ決スルノ外何等ノ意味アルモノニ非ラス。假令獨逸ノ市ニシテ全ク此等ノ事業ヲ廢棄シ而シテ米國ノ市カ却テ凡テ此等ノ事業ヲ自ラスルノ時アルモ、獨逸ノ市ハ尙市民ノ生活ノ積極的ノ必要原素タルニ於テ遙ニ米國ノ市ニ勝ルモノアルヘシ。何トナレハ獨逸ノ市ハ固ク其有機的ノ團體タル觀念ヲ保持シ、其嚴正ナル監督ト之ニ伴フ責任トハ毫モ之ヲ減スルコトナケレハナリ。獨逸ノ市ハ、凡テノ市民ノ敎育ニ任シ、其娛樂及ヒ休養ノ機關ヲ備ヘ、青年市民ヲシテ生計ヲ營ムニ適セシムヘキ訓練ヲ與ヘ、各家族ノ健康ヲ保持シ、其道德ヲ高メ風俗ヲ正シ、市民ノ智識ヲ開發シ、其各人ヲシテ勤儉ノ風ヲ養ハシメ、之ヲ各種ノ不幸ヨリ救護シ、商業及ヒ工業ノ繁榮ヲ增進スル爲ニ各種ノ便宜ヲ供與スル等、此等凡テノ責任ヲ負擔スルモノニシテ、自ラ

公共ノ需要品ヲ供給シ、諸種ノ設備ヲ爲スハ寧ロ此責任ヨリ生スル偶然ノ結果ナリ。

大体ニ云フトキハ獨逸ノ市ノ事業ニハ二種ノ區別アルコトヲ認ムルヲ得ヘシ。一ハ自己ノ收入ヲ以テ其費用ヲ維持シ或ハ進テ純收入ヲ供スルヲ得ヘキ事業ニシテ、一ハ此ノ如クナラサル事業ナリ。獨逸ノ市事業中最モ重要ナルハ此第二種ニ在リ。而シテ此種ニ屬スルモノヽ中又最モ重要ナルモノ三ツアリ。兒童ノ敎育ハ其一ナリ、公衆衛生ノ保持ハ其二ナリ、窮民及ヒ罹災者ノ救助ハ其三ナリ。此等及ヒ他ノ類似ノ目的ヲ達スルカ爲ニ市ノ行政ハ獨逸ニ於テハ一ノ學科ヲ爲スニ至レリ。獨逸ノ民衆ハ「アングロ、サキソン」民種ニ比スレハ一層團結心ニ富ミ、各個人ハ其同人及ヒ其屬スル所ノ團體ニ倚賴スルコト大ナリ。放任主義ハ獨逸ニ於テハ英米ニ於ケル程ニ完全ニ行ハルヽコトヲ得サルヘシ。然レトモ獨逸ニ於テモ市ノ干涉ハ決シテ機械的ニ非ラス、之ヲ一貫スルノ主義アリテ以テ之ニ其精神ヲ與フ。任意ノ事業ハ市ノ事業ニ併合セラレ、若クハ之ト混和セラルト雖モ、市ノ幸福ノ窮竟ノ根據タル

ヘキ同胞親愛ノ情ト相互ノ責任ノ感トハ爲ニ決シテ打破セラルヽコトナシ。

市ノ財政ノ主義

獨逸ノ市ノ財政ハ極メテ巧妙ナルモノナリ。其主義タル一方ニハ極メテ微細ニ極メテ節約ナルト同時ニ、一方ニハ又甚タ寛量ナルモノアリ。其最モ顯著ナル現象ハ其各種ノ事業ヲシテ出來得ヘキ的ノ自己ノ收入ヲ以テ其費用ヲ支ヘ若クハ諸收入ヲ生セシメ、其ノ收入ヲ以テ支出ヲ辨スル能ハサルモノハ社會ノ利益ノ爲メニ事實已ムコトヲ得サルモノニ限レルニ在リ。

救貧事業ノ費用ノ維持

救貧事業ノ如キ獨逸カ遂ニ其强制保險ノ制度ヲ完成スルニ至ラハ、國庫及ヒ市ハ充分ノ救助基金ヲ得テ以テ窮民及ヒ年老者救助ノ大部分ヲ滿タスコトヲ得ルニ至ルヘシ。

教育費

教育費ノ負擔ハ尙甚タ大ナルヲ免レス。然レトモ獨逸ノ市民ハ又教育カ產業ノ發達ニ直接ノ大影響ヲ有シ、其費用如何ニ大ナルモ尙不生產的ナラサルコトノ注意ヲ必要トス可キ人民ニ非ラス。之ト同ンク又獨逸ノ統計家及ヒ衛生學者ノ證明シタル事實ハ、獨逸ノ市民ヲシテ其傳染病ノ全滅、及ヒ幼兒死亡ノ比例ノ半ヲ減スルカ爲ニハ、又租稅ノ苛

衛生費

重ヲ訴フルモノナカラシムルニ至レリ。公衆衛生ノ爲ニ費ヤサルル費用ハ其支途最モ能ク學理ニ適ヒ其得タル所ノ結果ハ、啻ニ社會ノ幸福ノ上ニ於テノミナラス、商業上ニ於テモ究竟ニハ毫モ失フ所ナク、之カ爲ニ負債ヲ起シ市ノ信用ヲ利用シタルスラモ決シテ不當ナラサリシヲ證明シタリ。而シテ之ト同時ニ市ノ生產的ノ事業ハ能ク其成效ヲ得テ、市ヲシテ其現時ノ苛重ナル租稅ノ下ニ於テモ毫モ勇氣ヲ失墜スルコトナカラシメタリ。現時ニ於テハ此等各部ノ收入ハ假令未タ市ノ費用ノ一小部分ヲ支フルニ過キストスルモ、其管理ノ巧ニシテ能ク其功ヲ奏セン將來ニ於テハ市ノ收入ノ大部分ハ此等專占事業ノ利益ヲ以テ滿タスヲ得ヘキ好望アルニ似タリ。

市ノ生產事業ノ成效ニ基ク財政ノ好望

第二節　市ノ事業一班

米國ノ視察者カ獨逸ノ諸市ニ於テ第一ニ感スル所ハ其公ノ工事ノ進行ノ甚迅速ニシテ其成功ノ甚顯著ナルニ在ルハ怪ムルニ足ラス。是レ言フ迄モナク主トシテ其執行機關ノ善良ニ且ツ常任ナルニ因ルモノニシテ、獨逸ノ市長

市ノ事業ノ成效ヲ得ル原因

ハ實際ニハ何レモ終身職タリ、其助役タル參事會員モ亦終身ノ任期若クハ少クトモ實際ニハ終身ニ等シキ任期ヲ有スルモノナリ。人民ノ意思ヲ代表スヘキ市會ハ、定期ニ改選セラルト雖モ、其任期ハ長ク、其再選ハ常則ノ如クニシテ議員ノ更迭ヲ見ルコト甚タ遲緩ニ決シテ急激突飛ナル政策ノ變更ヲ見ルコトナシ。此ノ如クナルヲ以テ長期ニ繼續ス可キ大計畫ヲ初ムルモ毫モ之ヲ急速ニスルノ必要ナク、其費用ノ負擔ヲ長年限ニ分配シ、細密ニ其經濟ヲ計リテ均一ニ其進行ヲ爲スコトヲ得。其結果ハ等シク五年ノ時日ヲ以テモ、米國ニ於ケルカ如ク緩急常ナク、忽チ進ミ忽チ停ルカ如キ工事ニ比スレハ、遙ニ偉大ナル效果ヲ奏スルヲ得ルナリ。例ヘハ獨逸ノ市ニ於テ其道路ヲ改修シテ近世式ノ鋪石ヲ爲サントセハ、先ツ道路改修ノ方法ニ就キテ出來得ヘキ的ノ調査ヲ遂ケ、其地ノ氣候カ鋪石ノ材料ニ及ホスヘキ影響ニ就キ、學理上及ヒ實驗上精密ニ之ヲ研究シ、財政ノ側ヨリモ工事ノ側ヨリモ最モ細密ノ點迄盡ク之ヲ闡明シタル後ニ非サレハ、市ノ事業部ハ其工事ニ着手スルコトナシ。

伯林市ノ道路修築ト紐育市ノ同事業トノ比較

市政改良ノ時代

伯林ノ大工事ハ實ニ此ノ如キ方法ニ依リテ行ハレタル一ノ實例ナリ。其結果ハ千八百七十年乃至九十年ノ間ニ於テ、十萬弗ノ費用ヲ以テ能ク紐育ノ市カ百萬弗ノ資金ヲ投シテ爲シ得タルヨリハ、道路ノ永久ノ改良ニ於テ一層能ク成功シ得タルモノトイフモ不可ナシ。七十年ヨリ九十年ニ至ル二十年間ニ於テ紐育市カ其道路ノ爲ニ費シタル金額ハ遙ニ伯林市ヨリハ巨額ナリ。然カモ伯林市カ完全ナル鋪石ヲ得タルニ當リテ紐育市ハ四五ノ大道ヲ除キテハ、其道路ノ險惡ナル殆ト君士坦丁若クハダマスカスニ讓ラサルモノアリキ。千八百九十年以後ハ紐育ノ道路モ稍改良セラレタリト雖トモ、千八百九十五年ニ於テモ、之ヲ伯林ニ比シテハ其劣レルコト多ク五年前ニ異ナルコトナカリキ。而シテ此ノ如キ差異ヲ生セルハ、一ニ米國ニ於ケル政治家的ノ方法ニ對シテ獨逸ノ實務家的方法ノ勝レルニ由ラスンハ非ス今ヤ獨逸ノ全國ヲ通シテ各市ノ事業部ハ其市廳ノ命令ヲ奉シテ、近世的ノ市街ニ缺ク可カラサル凡テノ物質的ノ要素ヲ備ヘツヽアリ。其之ヲ爲ス毫モ急速ニスルコトナシト雖モ、其一タヒ着手セラレタル上ハ嘗テ阻滯スルコトナク、其道

一千八百六十一年以後ノ伯林市ノ新時期

路ハ整盡ニセラレ、其外部ハ秩序正ク新造セラレ、一ノ市ニ於テハ新水道工事ノ爲ニ土木師、建築師、水道管製造者ヲ使用スルアリ。他ノ市ニ於テハ新下水工事ノ其市内ニ於ケル下水ノ最終完全ノ疏通ノ爲ニ遂行セラルヽアリ。河川ノ兩岸ハ其航通貿易ノ爲ニ宏大ナル改良ヲ加ヘラレツヽアリ。瓦斯管、電氣線、市場、公共屠畜場、學校校舍、傳染病隔離院、橋梁、埠頭、地下道其他如何ナル種類ヲ問ハス、凡テ市ノ膨脹ニ伴テ要スル所ノ設備ハ、盡ク最高ノ便益ト最長ノ永續トヲ保障スヘキ方法ニ依リテ建造セラレツヽアルナリ、此等ノ實例ヲ擧ケ其統計ヲ示スハ殆ト限リナキノ勞力ヲ要スヘシ。一言シテイヘハ獨逸ノ諸市ハ其設備ヲシテ新ニ認メラレタル近世生活ノ必要ニ應セシムルコトヲ要スルノ思想ヲ認識シ而シテ其設備ヲ遂行スルニ當リテハ行政ノ上及ヒ工事ノ上ニ於テ最高ノ伎倆ヲ表ハシ、其緻密ナル經濟ト寬量ナル先見トヲ兼チ有スルハ未タ曾テ他國ニ例ナキ所ナリ。

伯林市ノ進歩ノ新時期ハ一千八百六十一年ニ其端ヲ啓ケリトイフヲ得ヘシ。此年ニ於テ伯林ハ新ニ其郊外ナル一大地域ヲ併合シ、舊時ノ城壁ハ盡ク之ヲ毀壞シテ新地域トノ交通ヲ自由ナラシメタリ。千八百六十一年ニハ皇帝ウイルヘルム新ニ孛漏西ノ王位ニ登リ、而シテ此時ヨリ以後伯林市ニ對スル王國ノ自由政策ハ開始セラレタルナリ。此年ニ於テ新市廳ハ始テ開カレタリ。

戰勝ノ影響

孛漏西ノ歐洲强國ノ列ニ加ハルヤ伯林ヲシテ巴里ト競爭スルノ希望ヲ起サシメ、而シテ巴里ニ於ケルハウスマンノ市街改造ハ大ニ伯林ヲシテ奮起セシメタリ。千八百六十四年、六十六年及ヒ七十年乃至七十一年ノ數次ノ戰爭ニ依リテ孛漏西ノ勢威益隆ク、遂ニ獨逸帝國ヲ統一シテ伯林ヲ以テ其國都トナスニ至リテ、市ノ元氣ノ勃興ハ其頂上ニ達シ大胆ナル新政策ハ其取ル所トナリ、「プールバール」ハ修築セラレ、多クノ美麗ナル新開地ハ造ラレタリ。先之內部ノ市街ハ道路、下水、「スプレー」河ノ航通及ヒ橋梁ト共ニ常ニ王國政府ノ管スル所タリ。其上水ハ私立會社ヲ以テ之ヲ營マシメ、瓦斯ノ營業モ亦私立會社ノ管スル所タリ、敎育モ亦其大部分ハ私人又ハ宗徒ノ手ニ在リシカ、今ヤ新興ノ國都ハ自ラ市街管掌ノ權ヲ得直ニ之カ改良ニ着手シ、其主タル街道ノ道幅ヲ廣ケ其線路ヲ直クシ、及ヒ之ニ善良ノ鋪石ヲ爲スノ計畫ヲ爲セリ。此計畫

市區改正

「スプレー」河堤防ノ修築

伯林市政ノ總敍

ハ今日ニ至ル迄モ斷エス遂行セラレ、其結果ハ極メテ偉大ナルモノアリ。市ハ又底淺クシテ流緩ナリシ「スプレー」河ヲ管掌スルノ權ヲ得之ニ巨大ノ堤防ヲ築キ、其上ニハ廣キ石造ノ埠頭ヲ設ケ、其河底ハ重量ノ貨物ヲ運搬スルカ爲ニ之ヲ浚渫シ其舊時ノ木橋ハ新式ノ搆造ニ係ル石橋及鐵橋ニ代ヘタリ。千八百七十三年ニ市ハ給水ノ權ヲ取得シ直ニ其新改良方法ニ着手セリ。其下水モ亦之ヲ「スプレー」ノ小流ニ放流スルノ甚タ危險ナルモノアルヲ以テ之ヲ改ムルニ決シ、目覺マシキ下水處分ノ方法ニ着手シタルノミナラス其他公共衛生ノ保護ニ關シテ市立屠畜場、市場、傳染病院、公私ノ掃除法、食料、家屋各種ノ檢査等、其他尚種々ノ大ナル設備ヲ開始セリ。市ノ瓦斯製造ハ千八百七十年頃ニ始マリ、其成效ヲ得タルニ因リテ千八百七十五年ニハ大ニ其事業ノ擴張ヲ行ヘリ。敎育ノ制度ニ至リテハ恐クハ他ニ先例ナキ迄、完全ニ之ヲ市ノ管理トナシ、盛ニ之ヲ振興セリ。工業及ヒ鐵道モ亦之ヲ奬勵シ、其實業ノ敎育ノ制度ハ伯林ヲシテ產業ノ中心トシテ發達セシムルニ適當ナル仕組ヲ取リ、市民ノ遊樂ニ向テハ公園地及ヒ遊步地ヲ備ヘ最後ニ其勞働者ノ利益ノ爲ニ

伯林ノ給水事業

最モ嚴重ナル規則ヲ以テ居宅ノ建築ヲ監督シ、市內ノ迅速ナル交通及ヒ人口ノ一所ニ密聚スルヲ防クカ爲メニ市ノ監督ノ下ニ私人ヲシテ市內鐵道ノ企業ヲ爲サシメタリ。伯林ハ其人口千八百六十年ニ比シテ殆ト四倍ニ達セリ。而シテ其巨大ノ來往者就中多クノ勞働者ヲ迎ヘテ毫モ困難ノ樣ナキハ殆ト不可思議トイフノ外ナシ

第三節　上水及ヒ下水

英國ノ衛生官吏ハ市街ノ文明ノ程度ハ其使用スル水量ノ多少ニ依リテ大略之ヲ知ルコトヲ得ヘシトナセリ。何レノ市街ニ於テモ潤澤ナル良水ノ供給カ廣ク一般ニ普及セルコトハ誠ニ其生命ニ欽クヘカラサル要素トイフヘクシテ、之ヲ私人ノ企業ニ委スルニハ餘リニ重要ニ過クルモノナリ。サレハ伯林カ其水道ヲ以テ市ノ直接ノ事業トナシタルハ多クノ點ニ於テ伯林ノ爲ニ甚タ喜フヘキ所ナリキ。其水量ハ絕エス益增加セラレサル可カラス、其水質ハ複雜ナル濾過方法ヲ以テ常ニ淸潔ヲ保タレサル可ラス、其水源ハ益遠距離

ニ於テ新ニ見出サレ且之ヲ市ニ導カレサル可カラス。私設ノ會社ハ決シテ此ノ如キ潤澤ニシテ清潔ナル供給ヲ保持シ得ヘキモノニ非サルナリ。加之純然タル收入ノ財源トシテ亦市ニ取リテ頗ル利益アル事業ナリキ。市ノ水道ニ依リテ現時供給スル所ノ水量一年四千萬立方「メートル」ニシテ其中殆ト十分ノ一ハ無料ヲ以テ種々ノ公共ノ目的ニ使用シ得而シテ其給水料トシテ私人ヨリ徵收スル所ハ一切ノ維持ノ費用ト築造費及ヒ水道公債ノ償還基金ニ對スル利子トヲ支拂ヒタル後尙毎年略二百五十萬嗎ノ純益ヲ生ス。給水制度ト公共衛生トノ關係ニ就テハ伯林ノ衛生廳ハ實ニ世界ノ先導タリ。其水道組織ハ益改良ヲ加ヘラレツヽアリ。學術ノ效果ハ以テ能ク天然ノ困難ニ打勝ツコトヲ得市ハ其需要ノ急速ノ膨脹ニ伴テ毫モ之ニ後ルヽコトナキヲ得ヘシ。伯林ノ市民ハ多クハ借家ニ住居ス。水ノ供給ヲ受クルモノハ借家人ニハ非ラスシテ其家主ニ對シ各「メートル」ノ價ヲ以テ販賣スルナリ。此方法ハ能ク給水ノ濫費ヲ防キ然カモ能ク其住民ニ必要ナル的ノ水量ヲ給スルコトヲ得。是レ漸次ノ發達ニ依リテ定メラレシ法ニシテ、大ニ市ノ費用ヲ

給水ヨリ生スル收入

給水ト衞生

給水料ハ水量ヲ以テ計算ス

節スルコトヲ得ヘシ。獨逸ノ他ノ諸市モ亦此方法ニ倣ヒツヽアリ。

伯林ノ市政府カ其水道工事ヲ開始シタルト同時ニ又更ニ之ヨリモ偉大ナル他ノ一ノ計畫ヲ起セリ。下水道ノ工事ハ即チ是ナリ。蓋シ近世ノ理想トスル所ハ清淨ナル多量ノ水ヲ汚染ノ恐ナク且絶エス定量ヲ供シ得ヘキ水源ヨリ充分ノ壓搾ヲ以テ之ヲ導キ蜘蛛ノ如キ水管ヲ以テ之ヲ各家宅ニ給シ而シテ其使用セラレテ其汚毒ヲ受ケ及ヒ便所厨道路等ノ惡水ニ混シタル後ハ再ヒ之ヲ集メテ下水管ヲ以テ之ヲ或ル安全ナル場處ニ輸送シ去ルニ在リ。舊時ニ於テハ伯林ハ凡テノ惡水ヲ「スプレー」河ニ不潔ナル下水ヲ放流スルノ永久ノ制度トス可カラサルハ更ニ論ヲ俟タサル所ナリキ。之ニ對スル改良法トシテハ人工的ノ清潔法ヲ取リ固体沈澱物ヲ肥料ニ化成スルコトモ亦出來得ヘカリシト雖モ伯林市ハ更ニ一層ノ良法タル天然清潔法ヲ取リテ下水ヲ田野ニ灌漑スルノ計畫ヲ起セリ。此計畫ハ最モ深厚ナル攻究ノ末始テ起サレシ所ニシテ其結果ハ伯林市ノ下

伯林ノ下水完全ナル下水ノ必要

下水田野灌漑法

下水區

水ヲシテ世界中最モ完全ナルモノタラシメ而シテ少クトモ物質上ニ於テハ伯林市政中慥ニ最モ著大ノ事業ナラシメタリ。市ノ全地域ハ其地形ニ依リテ之ヲ十二ノ下水區ニ分チ之ヲ「ラヂアル、システム」トイフ。各區ノ下水ハ一ノ中心點ニ集流ス。其中心ニハ何レモ惡水池及蒸滊喞筒ノ設アリ。各下水區ノ中心ハ隧道ヲ以テ之ヲ數哩ヲ距ツル下水田惡水池及ヒ喞筒ニ連結ス。

下水區工事ノ進行

此偉大ナル設計ハ千八百七十年代ノ中頃ヨリ其工事ヲ初メ其各下水區ハ各獨立ニ其設備ヲ着手セリ。千八百八十年頃ニハ第一區第二區及ヒ第三區ノ下水道ハ已ニ竣功シ此クシテ市ノ商業地ヲ包括セル內部ノ區域ハ南ノ方凡ソ十五乃至二十哩ヲ距テタル廣キ市有ノ田野ト連結スルコトヲ得タリ。

第四區ハ「スプレー」河ノ上流ニ於ケル伯林ノ中部北方ノ地ニ當リ、亦千八百八十年以前ニ於テ竣功シ而シテ市ノ東北二三哩ヲ距テタル頗ル廣大ナル地域ト連結セラレタリ。第五區ハ伯林ノ東部ナル住居地ニ當リ、千八百八十一年ヨリ開カレタリ。但シ其各居宅ノ一般ノ連結ハ千八百八十六年ニ於テ始テ完成シタリ。第六區及ヒ第七區ハ市ノ南部ノ邊境及ヒ郊外ナルカルロッテンブルヒ及セーヲベルヒ兩街ノ一部ヲ包含シ千八百八十七年ニ於テ其功ヲ竣ヘタリ。第八區及ヒ第九區ハ「スプレー」河ノ北市ノ西端ニ在リ。第十區ハ市ノ北部ナル新造未完ノ部分ヲ含ミ、第十一區及ヒ第十二區ハ市ノ東端ニ在リ。第八區ノ下水ハ凡ソ十哩計リナル水管ヲ以テ正北方ナル第三ノ大市有地ニ連結セルモノニシテ、千八百九十一年ニ開カレ第十區モ亦同年ニ完成シタリ。此餘ノ各區ハ其必要未タ切ナラサレハ伯林市中ノ各家宅ハ人口ノ稍稀薄ナル邊境ノ地ヲ除キテハ凡テ新下水ノ設備ヲ備ヘ此等ノ下水道ハ每年六千萬乃至七千萬立方米突ノ惡水ヲ流通シテ學理的ノ灌溉法ニ依リテ合計二萬エークル以上即チ三十方哩餘ノ田野ニ注入シツヽアルナリ。市ハ灌溉ノ目的ノ爲ニ屢新田地ヲ買上ケ灌溉地ノ面積ハ益廣キヲ加ヘタリ。市自身ノ面積ハ僅ニ二十五方哩ニ過キサルモノニシテ其惡水ヲ放流スルカ爲ニ別ニ三十方哩ノ附屬地ヲ有ストハ誠ニ興味アル事實トイフヘシ。伯林市ノ灌溉地ハ其地質寧ロ瘦セタル砂地ナレトモ兎ニ角大市街ノ近郊ノ地價亦甚タ廉ナラス、市ハ之ヲ買上クル

下水田ノ面積

下水田買收ノ費用

カ爲ニ一千五百萬噸ノ資ヲ費シ、而シテ之ニ灌漑ニ必要ナル裝置ヲ加フルカ爲ニ千八百九十三年迄ニ別ニ一千五百萬噸ノ費用ヲ要セリ。此年迄伯林市カ下水道ノ設備ニ費ヤシタル額ハ六千五百萬噸ニ達シ、總費用合セテ殆ト一億萬噸ニ近カシ。若シ之ニ其年以後下水道ノ完成迄ニ必要ナル額ヲ加フルトキハ伯林市ノ下水ハ恐クハ一億二千萬噸ノ固定資本トイフコトヲ得ヘシ。』

下水組織ノ財政

米國人ノ眼ヲ以テ見レハ市ノ下水道ノ設備カ淨水ノ供給又ハ瓦斯業ノ如ク自ラ其費用ヲ支ヘ若クハ收入ノ財源タリトハ頗ル奇ナルカ如シ。然レトモ伯林市ノ下水ハ實ニ此ノ如キ性質ヲ有スルモノナリ。新下水組織ノ完成前ニ於テハ伯林ノ市民ハ其排泄物ノ移送等ニ對シ其ノ賃金ヲ拂フコトヲ要シタリキ。

下水稅

新組織ノ下ニ於テハ市ハ之ニ代フルニ少額ノ下水稅ヲ以テシ、下水道ヲ利用スル凡テノ土地所有者ヨリ之ヲ徵收ス。灌水地ノ中其最モ能ク耕ヘサレタル部分ハ、現時ニ於テモ既ニ多クノ財源ヲ供セリト雖モ、全三十方哩ヨリ生スル純收入ハ未タ以テ買上及ヒ改良ニ費ヤサレタル資本三千萬噸ノ利子ヲ償ナフニ充分ナルニハ至ラス。サレト下水ノ灌漑ニ依ル肥料ノ效果

下水田ノ收養

其衞生上ノ效果

ハ極メテ大ニシテ、管理ノ方法亦極メテ巧ナレハ、數年ナラスシテ資本ノ利子ヲ償フノ外巨額ノ純益ヲ餘スニ至ラン事ハ疑ヲ容レス。各灌水地ノ收獲ハ穀類、野菜類、果物、雜草ノ類ニシテ其收入ハ遠カラスシテ之ニ投下セラレタル一切ノ資本ヲ償ヒ、而シテ其ノ以上ノ純收入ハ以テ大ニ市ノ租稅ヲ輕減スルニ至ラン事ハ期シテ待ツヘシ。其衞生上ノ點ニ至リテハ下水灌漑ハ實ニ無上ノ成功ヲ得タルモノトイフヘク其灌水地ニ生活シ又ハ其業務ニ從事セルモノニ對シテモ毫モ不健康ノ嫌アラサルハイフ迄モナク、却テ其極メテ健全ナルコトハ市ノ貧病院ノ輕快分室カ今ハ灌水地ノ上ニ設立セラレ滿足ノ結果ヲ呈セルヲ以テ證スヘシ。

漢堡ノ大給水工事ノ成效

給水及ヒ下水問題ノ何レカ一方又ハ其双方ハ近年ニ於テ伯林市以外ナル他ノ多ク獨逸市街ニモ侵入セリ。就中漢堡（ハンブルヒ）ノ經驗ハ其最モ注意スヘキモノナリ。漢堡ノ市タル帝國第二ノ都會ニシテ人口六十萬人ニ滿チ、其大ナル富ト繁榮ナル貿易トヲ以テ完全ナル淨水ノ供給ヲ得ルノ必要ナルハ夙ニ認識セラルヽ所ナリシモ、其ノ地「エルベ」河ノ河口ニ在リテ其地位ヨリシテ其河ノ汚

穢ナルニモ拘ラス永ク其河水ヲ飲用スルノ避ク可カラサルカ如クナリキ。

然レトモ數年前漢堡ノ獨逸關稅同盟ニ加入シ及ヒ其市ト帝國トノ共同事業タリシ大築港工事ニ於テ成功ヲ得タリシヨリ凡テノ方面ニ於テ大ニ其活動ヲ加ヘ、曾テ伯林市ニ於テ起リシカ如ク政治上、商業上、及ヒ衛生上ノ動機ハ相合シテ今ハ漢堡ノ市行政廳ヲシテ未曾有ノ活氣ヲ得セシムルニ至レリ。千八百九十四年ニ於テ開カレタル宏大ナル新市役所ノ建築ハ此市政ノ新時期ヲ表證スヘキ號砲ナリキ。其衛生行政ノ最モ重ナル事業トシテハ、世界中ノ最モ宏大ニシテ最モ完全ナル濾水ノ機械ヲ据エ付ケ之ニ依リ「エルベ」ノ河水ヨリ化學者及黴菌學者ノ最モ嚴重ナル分析ヲ受クルニ堪フヘキ無限ノ淨水ヲ得ルノ計畫ヲ起セリ。此工事ノ進行中ニ當リテ千八百九十二年ノ虎列拉病ノ大流行ハ來リテ數千人ノ人命ヲ奪ヒ去リタリ。此流行ハ全ク「エルベ」河ノ飲用ニ依リテ蔓延セラレタル者ニシテ、濾水法ノ設備ハ以テ全ク虎列拉病源ヲ絕ツコトヲ得ヘシト信セラレタリ。初メ新設備ハ千八百九十四年ニ竣功セラルヘキ豫定ナリシカ、此新動機ニ依リ頻ニ其工事ヲ督勵シ、千八百九十

三年ノ五月ニハ早クモ其全部ノ完成ヲ告ケタリ。其年ノ夏期及ヒ秋期ノ試驗ノ結果ハ原貯水池及ヒ濾水池ニ引キ入レタル河水ニハ一立方メートル中幾百萬ノ虎列拉黴菌ヲ含有シタリシ者、濾水池ヲ通過シテ市ニ供給セラルヽ淨水ハ其清淨健全ナルコト恰モ「アルベン」山上ノ水源ヨリ導キタルニ讓ラス。此河水ノ濾過ハ全ク千八百九十三年ノ虎列拉ノ再流行ヲ歇止スルコトヲ得タリ。衛生行政ニ關シテ此ノ如キ顯著ナル試驗ハ未タ曾テ何レノ國ニ於テモ行ハレタルコトナク其結果ハ歐洲ノ各國ニ已ニ良好ノ參考ヲ與ヘタルナルヘシ。虎列拉病ノ流行ハ漢堡ノ衛生行政ニ關シテ尙種々ノ改良ヲ加ヘシメタリ、其詳細ハ次章ニ於テ記述スル所アルヘシ。

漢堡ノ下水組織ハ不完全ナルニアラスト雖トモ、下水ノ處分法ニ就テハ未タ最後ノ解答ヲ與ヘタルモノトイフヲ得ズ。現時ニ於テハ下水ノ全部ハ大集水管ヲ以テ之ヲ地下深ク導キ、此ヨリ更ラニ下ゲ潮時ニ於テ之ヲ河中ニ放流シ上ケ潮時ニ其管口ヲ開クナリ。然レトモ其水量極メテ大ナルヲ以テ此方法ハ滿足ニ行ハルヽコトヲ得ス、其一部分ハ上ケ潮ト共ニ再ヒ河中ニ逆流シ、

港内ニ汚毒ヲ流スヲ免レス。將來ニ於テハ漢堡ハ遂ニ倫敦ノ例ニ倣テ人工的ノ清潔法ヲ取ルカ若クハ一層善良ナル伯林ノ例ニ倣テ下水田ノ土地ヲ通シテ天然濾過法ヲ取ルカ、何レカノ途ヲ取ラサルヘカラサルヘシ。

帝國ノ諸市中人口ニ於テ第五ニ位シ孛漏西ニ於テハ第二ノ都會タルブレスラウハ英語國ニ於テハ人ノ知ルモノ割合ニ少シト雖モ亦摸範トナスヘキ市ノ一ニシテ、其市政ハ多クノ點ニ於テ甚タ稱揚スルニ足ルヘキ者アリ。長ク伯林市ノ首座市長トシテ其名世ニ高ク、其ノ老練ナル施政ノ下ニ於テ著大ナル市事業ノ完成セルモノ數フルニ暇アラズ、ドクトルフォルケンベック(フォルケンベック)ハ、其以前ニハブレスラウノ同地位ニ於テ其名ヲ著ハシタリシ人ナリ。其市ハオーデル河ヲ挾ンテ其兩岸ニ位シ、其淨水ハ此河水ヨリ引揚テ之ヲ利用ス。其濾過法ハ近來數年頗ル完全ナルニ至リ其下水道及ヒ下水田(リーセルフェルデル)モ亦既ニ充分ノ成功ヲ以テ完成セラレ此以上ニ望ムヘキ多クヲ剩サス。淨水ノ供給ハ市ニ對シテ大ナル收入ノ財源ヲ供ス。下水田モ亦之ヲ小作人ニ賃貸セルニ由リ其衛生上ノ點ニ於テ各箇人ニ與フル利益ハ固ヨリ云フ迄モナク、純然タル財政

ブレスラウノ濾水法

下水組織

ミユンヘンノ一アルペン一山中ヨリ導ケル淨水

望扶斯ノ滅亡

ミユンヘンノ大屠畜塲

ノ上ヨリ見テモ亦利益アル資本投下ナルカ如シ。市ノ供給スル淨水ハ普ク市民ノ全部ニ及ヒ、凡テノ家屋及ヒ市街ノ下水ハ盡ク水管ヲ通シテ下水田ニ放流セラルヽナリ。

ミユンヘンハ久シク其死亡比例ノ高キコト及ヒ惡性ナル窒扶斯ノ流行ニ就テ歐洲ノ全部ヲ通シテ有名ナルモノナリキ。窒扶斯ノ患者ハ毎年數千人ニ達シ、此唯一ノ原因ヨリ死スルモノノミニテモ毎年數百人、時トシテ千ヲ超ユルニ至レリ。千八百八十三年ニ至リ「アルペン」山ノ水源ヨリ新淨水管ヲミユンヘン市ニ導キ、不潔ナル井戸ヲ閉鎖シ河水ノ飲用ヲ禁止シタリ。此新制度ノ稍行ハルヽニ至リテヨリ窒扶斯ニ依リテ死スル者毎年殆ト十指ヲ以テ數フルニ過キサルニ至レリ。新給水工事ト共ニミユンヘンニ於テ又數多ノ衛生行政ノ改良アリ。其改良ノ重ナルモノニハ下水工事及ヒ市ノ各所ニ散在シタル八百餘ノ小私立屠畜塲ニ代フルニ畜類市場、牧畜塲、其他各種ノ近世ノ便利ヲ備ヘタル一大市立屠畜塲ヲ以テシタル等ヲ數フルヲ得ヘシ。「アルペン」山ノ水源ヲ導キタルハ當時ニ於テハ頗ル大膽ナル企業ノ如クナリシモ、市

フランクフルトノ給水及ヒ下水

フラウンシユワイヒノ近時ノ膨脹

ハ容易ニ之ヲシテ一切ノ費用ト其利子及ヒ投下資本ヲ償ヒタル後多クノ純益ヲ餘サシムルヲ得タリ。

凡テノ獨逸諸市ハ二三ノ微少サル例外ヲ除キテ盡ク其給水組織ヲ市ノ事業トナサヽルモノナシ。其之ヨリ生スル純益ハ平均投下資本ノ一割乃至一割五分ナリ。フランクフルト、アム、マインハ近年ニ於テ其上水及ヒ下水ノ爲ニ大約三千萬嗎ノ資金ヲ投シ、其衛生ニ及ホシタル改良ハ最モ驚クヘキモノアリ。其淨水ハ數個ノ水源ヨリ之ヲ導キ其水質ハ概ネ善良ナリ。下水ハ化學的及ヒ器械的方法ヲ以テ之ヲ清潔ニシタル後、河中ニ放流ス。其沈澱セル汚穢物ハ肥料トシテ之ヲ販賣セリ。此改良ニ依リテ死亡比例ノ減少及ヒ或ル流行病ノ消滅ニ見ハレタル結果ハミユンヘンニ於ケル變化ヨリ一層顯著ナリ。

ブラウンシユワイヒハ近世ニ於ケル市政ノ變化ヲ說明スルニ足ルヘキ好事例ノ一ナリ。千八百六十一年ニ於テ市ハ其建設後ノ千年祭ヲ擧ケタリ。當時ハ市ハ人口僅々四萬人前後ノ一小市街ニ過キス。其建築及ヒ一般ノ性質

其給水及ヒ下水

新舊事物ノ對照

「ヴェセルング」及ヒ「エントヴェッセルング」

ハ寧ロ中世的ナリシカ、今ハ人口十萬人以上ナル活潑ナル工業市トナリ尙迅速ニ膨脹ヲ爲シツヽアリ。其市ハ近年ニ於テ下水田ノ方法ヲ採用シ、及ヒ近世的ノ飮水濾過ノ方法ヲ完成セリ。其市ニ於ケル古代ノ美術及ヒ歷史ヲ說明スヘキ驚クヘキ程多數ナル古物ハ、實業及ヒ普通敎育ヲ授クル最新ノ學校ト相接シ、其新ニ鋪石セル道路ニハ新式ノ下水道アリ。而シテ其數百年前ニ建築セラレシ異形ナル木造ノ家屋ニハ最近二十年ノ新式ノ鉛錘カ一般ニ使用セラル。此ノ舊市街ニ於テ新舊ノ事物ノ斯ノ如ク相混交セルコトハ、千八百七十年以來ニ於ケル數多ノ獨逸舊市街中ノ僅ニ一例ニ過キス。獨逸ニ於ケル市ノ自覺心ノ醒起セラレタリシ結果ハ我米國諸市ノ膨脹進步ノ歷史ヲシテ殆ト顏色ナキニ至ラシメタリトイフヘシ。

余輩ハ獨逸人ノ所謂「ヴェッセルング」(上水)及ヒ「エントヴェッセルング」(下水)ニ就キテ敍述スルノ恐クハ長キニ過キタルナルヘシ。然レトモ余輩ノ之ヲ敍述スルハ一ニ余輩カ此上水及下水ノ二ノ問題ヲ以テ市ヲシテ近世市民ノ適當ナル住地タラシムルニ必要ナル凡テノ物質上ノ改良中眞ニ其代表トナスヘキモ

ノナルコトヲ信スルヲ以テナリ。若シ余輩ヲシテ獨逸市政ノ全般ヲ網羅スルノ目的ナラシメハ、余輩ハ尚ダンチツヒニ就テ其下水及ヒ下水田（リーゼルフェルダル）及ヒ十五世紀ノ地方城下タリシ小市街ヲシテ二十年間ニ其港灣ヲ浚渫シテ近世ノ蒸滊船ヲ容ルヽニ足ルヘキ一大良港タラシメ、工業ノ發達ニ依リテ其市民ニ新ナル繁榮ヲ與ヘ、及ヒ敎育幷ニ窮民ニ對スル設備ニ依リテ市民ノ安寧幸福ヲ增進セシメタル此等一般ノ狀況ヲ稱揚スルヲ要スヘキナリ。

市街ノ清潔

第四節　市街ノ掃除

市街及ヒ裏町ノ掃除ノ行屆キタル家宅ノ內庭ノ清潔ナルコトハ二十年前迄ハ慥ニ獨逸諸市ノ特色トナスヘキモノニアラサリキ。然レトモ近年ニ於ケル其上水及ヒ下水ノ改良ト一般衛生行政ノ進歩トハ亦タ自ラ其掃除ノ方法ニモ改良ヲ促カシタルヘキコトハ容易ニ想像セラレ得ヘシ。然カノミナラス車道及人道ナル新式ノ平滑ナル舖石ハ市街ノ清潔ヲ實行シテ甚タ容易ナラシムルヲ得タリ。現時ニ於テハ獨逸ノ市街ヲ一般ニ羨ムヘキ清潔ヲ保テリ。伯林市ニ於テハ其街道ヲ絕エス摩擦シ及ヒ掃除スルカ爲ニ、每年二百萬嗎ヨリ少カラサル費用ヲ投セリ。其組織ハ必要ニ應シテ伸縮ヲ許ルシ雨天ニハ急速ニ其人夫ヲ增加スルコトヲ得ヘク、不意ノ降雪ニモ決シテ人ノ欠乏ヲ感スルコトナシ。凡テ獨逸ノ重ナル諸市ニ於テハ、其中心ナル市街ハ每日一回夜中若クハ早朝ニ普ク之ヲ掃除シ、之ニ加フルニ晝間ノ掃除人夫隊アリテ晝間絕エス馬糞其他ノ塵芥取除ニ勉メツヽアリ。多タノ諸市ニ於テハ其住居地ノ部分ハ今尚市街掃除ヲ以テ土地所有者又ハ借家人ノ負擔トナスヲ原則トナセリ。獨リ伯林ドレスデン、漢堡、フランクフルト及ヒ他ノ小市街ニ於テハ掃除ノ全部ヲ市ノ事業トナシ、ライプチヒ、ケルン、スツットガルト其他ノ諸市ニ於テハ半ハ市半ハ私人ノ負擔ト爲セリ。ミユンヘン、ブレスラウ其他多クノ小市街ニ於テハ全部私人ニ其負擔ヲ歸セリ。一般ノ傾向ヲ云ヘハ益市ノ事業ヲ擴張シ全部ヲ市ノ負擔トナスニ傾ケリ。然レトモ此等特種ノ組織ヲ通シテ注意スヘキ事實ハ市行政廳ハ掃除規則ヲ嚴定シテ自カラ其ノ執行ヲ監視セルコトニアリ。獨逸ニ於テハ勞力ノ價甚タ廉ニシテ供給極メ

伯林市ノ市街清潔法

市街掃除ノ負擔

塵芥ノ取除

テ潤澤ナルヲ以テ、各私人ハ容易ニ其住宅ノ前ナル人道及ヒ市街ノ負担部分ノ充分ノ掃除ヲ爲スコトヲ得。市街塵芥ノ取除ハ原則トシテ市カ自已ノ費用ヲ以テ之ヲ爲スヲ常トス。私宅内ノ灰及ヒ塵芥ヲ取除クモ亦市街ノ塵芥取除ト繋聯シテ市ノ事業タル一般ノ慣例トナレリ。

ドレスデンノ清潔

掃除撒水及塵芥取除ノ統一ノ傾向

余輩ノ知ル所ヲ以テスレハ凡テノ獨逸諸市中最モ完全ニ其清潔ヲ保テルモノハドレスデンナリ。此市ニ於テハ毎日ノ掃除ヲ爲スノ區域頗ル廣シ。伯林ニ於テハ毎日ノ掃除區域ハ比較的ニ小ナリ、然レトモ毎週三回乃至五回ノ掃除ヲ爲スノ區域ハ極メテ廣シ。其餘ノ凡テノ重ナル外部市街ハ毎週二回之ヲ掃除ス。掃除ノ費用ハ甚タ僅少ニシテ、殊ニ漢堡、ドレスデン、ブレーメン、デユッセルドルフ、エッセン其他ノ諸市ニ於テ費ヤス所ノ如キ其少額ナル玆ニ之ヲ挙クルモ米國ノ市政當局者ハ恐クハ之ヲ信セサルヘシ。到ル所獨逸ニ於テハ此種ノ組織ノ完全ニ行ハルヽヲ見ルヘシ、其文明的生活ノ標準トシテ迅速ナル改良ノ結果ハ益顯著ナリ。獨逸ニ於ケル一般ノ傾向ハ市街ノ掃除、撒水及ヒ塵芥ノ取除ヲ以テ統一シタル市ノ直接ノ事業トナサントスルニ在リ。現時ニ於テモ其組織ニ尚種々ノ異同アルニ拘ラス、凡テノ獨逸諸市ノ市行政廳ハ何レモ其規則ヲ設ケ及ヒ其規則カ實行セラルヽヤ否ヤヲ監視スルニ於テ充分ノ職權ト責任トヲ有セサルモノナシ。

市ノ事業トシテノ瓦斯ノ供給

第五節　瓦斯及ヒ電氣

獨逸ノ大市街中凡ソ其三分二ハ瓦斯ノ供給ヲ以テ市ノ事業トナセリ。此ノ如キ市街ハ其數凡ソ三十ヲ數フ可シ。蓋シ近時ノ狀態ニ於テハ公共ノ點燈ハ其需要甚タ廣ク且ツ缺クヘカラサル者タルニ至レリ、近時ノ多數ノ歐洲諸市ニ於テハ其住民ノ需要スル一切ノ人工的ノ光力中殆ト其四分ノ一ハ市街其他ノ公共ノ場所ニ於テ需要スル所タリ。而シテ市ニシテ若シ瓦斯ノ供給ヲ以テ其專占ノ事業トナサハ最モ廉價ナル絶對ノ生産費ヲ以テ此等公共ノ需要ヲ充タシ得ヘキハ固ヨリ言フヲ俟タス。余輩ノ見ル所ヲ以テスレハ獨逸ノ諸市ハ技術上及ヒ行政上ニ於ケル無限ノ熟練ヲ以テ瓦斯業ノ執行ニ付キ私人ノ企業ニ任スルヨリハ明ニ經濟上ノ利得ヲ收ムルモノナリ。加之市

瓦斯供給ヲ市ノ事業トスルノ傾向

私設瓦斯業ニ對スル市ノ監督

競爭的瓦斯會社並立ノ一例

カ之ヲ專占スルハ市街ノ點燈ヲシテ一層完全ニ且ツ市民一般ニ對スル供給ヲ以テ一層普通ナラシムル所以ニシテ而シテ瓦斯供給ノ普及ハ即チ文明ノ徽證タルト同時ニ又警察ノ保護ヲ全カラシムル所以ナリ。其財政上ノ點ニ至リテハ專占ノ事業トシテ容易ニ多クノ純益ヲ擧ケシムルヲ得ヘキハ言フヲ俟タス。現時ニ於テ尙之ヲ私人ノ企業ニ任セル諸市ハ其特許期限ノ滿了ト共ニ次ヲ逐テ市ノ專占ニ歸セシムヘク、凡テノ事實ハ此ノ如キ傾向ヲ表明セリ。

私設瓦斯業ノ制ヲ取ル諸國ニ於テモ其公用ノ瓦斯ハ頗ル低廉ナル價格ヲ以テ其供給ヲ得ルハ勿論私人ノ消費者ニ對スル價格モ亦嚴重ナル制限ヲ加フ。此等ノ諸市中其最モ大ナルモノハミユンヘンナリ。ミユンヘンニ於テ余輩ハ曾テ其市ノ市立分拆所カ粗惡ナル瓦斯ノ供給ヲ防カンカ爲ニ、日々瓦斯ノ發光力ヲ試驗シツヽアルヲ見タリ。此ノ如キ情態ハ實ニ獨逸ノ諸市ニ於テ瓦斯業私有ノ場合ニ於テスルモ、市ノ行政上ノ監督ノ周到ナルヲ證明スヘキ例證トナスニ足ルヘキモノナリ。瓦斯業ノ競爭ニ依リテ利益ヲ得ヘシトナス我米國人ノ迷想ヲ助クヘキ唯一ノ事例ハ獨逸ノ凡テノ諸市中僅ニフランクフルト、アム、マインニ於テ之ヲ見出スヲ得ヘシ。此市ニ於テハ獨リ競爭的ノ私立瓦斯會社ヲ免許セリ。而シテ瓦斯ノ價格ハ獨逸全國中此市ニ於テ最モ高價ナリ。

瓦斯業市有ノ諸市

瓦斯ヲ市有トナセル諸市中ニハ伯林、漢堡、ブレスラウ、ライプチヒ、ドレスデン、ケルン、ケーニヒスベルヒ、ブレーメン、デュッセルドルフ、ニユルンベルヒ、ダンチッヒ、マダデブルヒ、ケムニッツ、バールメン、ステッチン、及ヒブラウンシユワイヒ等ノ諸市アリ。之ヲ私設トナセル諸市ノ重ナルモノハミユンヘン、スツツトガルト、フランクフルト、アム、マインハノーベル、ストラスブルヒ及ヒアルトナ等ナリ。

同私設ノ諸市

電氣業ヲ市ノ事業トナスノ傾向

電氣業ヲ市有トナスニ就テハ獨逸ノ諸市ハ寧ロ愼重ノ態度ヲ取レリ。然レトモ其傾向カ電燈及ヒ電氣力ノ供給ヲ市ノ專業トナサントスルニ傾ケルコトハ明瞭ナリ。蓋シ市カ電信及電話ヲ以テ其公ケノ事業トナシ、幷ニ瓦斯燈及瓦斯力ヲ專占セルノ事實ハ電氣及電氣力ノ分配ニ對シテモ亦豫メ之カ進

伯林ノ私設電氣業

漢堡ノ市有電氣線ノ賃貸

電氣業市有ノ市

路ヲ開ケルモノトイフヘシ。市ノ政府ハ自ラ私設會社ヲシテ道路ノ表面ニ於テハ如何ナル特權ヲモ有セシムルヲ喜ハス、其地下ニ於テハ瓦斯及淨水ノ供給其他凡テ地下ニ管又ハ線等ノ埋設ヲ要スヘキ事業ハ悉ク市ノ事業トシテ之ヲ統一シ其秩序極メテ能ク整頓セルヲ以テ、私設會社ヲシテ新タニ其秩序ヲ亂サシムルヲ喜ハサルナリ。故ニ市カ電氣業ヲ專占スルコトハ獨乙ニ於ケル一般政策ノ論理的必然ノ結果ト云フヘキナリ。然レトモ伯林ハ此原則ニ對スル例外タリ。其理由ハ恐ラクハ伯林電燈會社ノ特權ヲ得タリシ頃ハ未タ公ケニ電氣業ヲ管理スルコトノ成功カ今日ノ如ク明カナラサリシニ依ル伯林ノ電氣業ハ一千八百八十六年ニ開始シタリ。

漢堡ノ市有電氣線ハ一千八百八十九年ニ竣功セリ。其市ハ他ノ獨乙諸市ト異ナリテ市有ノ瓦斯局及電氣線ハ共ニ請負ヲ以テ私人ニ賃貸シ之ヲシテ其ノ營業ヲナサシム。リウベック、バールメン、ケーニヒスベルヒ、メツツ、ダルムスタツト、デュイスブルヒノ諸市ハ一千八百九十年ノ年末ニ於テハ皆ナ其市有電氣事業ヲ行ヒツヽアリキ。其ヨリ以後ニブレスラウ、ケルン、デュツセルドルフアルトナ及ヒカツセルノ五市其市有電燈線ヲ完成シ最近ニ於テハドレスデン及ヒスツットガルトノ二市モ亦同一ノ政策ヲ取ル、コトヲ決定シタリ。ライプチヒハ獨リ之カ反對ノ政策ヲ取リ、シイメンス及ハルスケ會社ニ對シテ殊ニ市及公衆ニ利益アル條件ヲ以テ其營業ノ特權ヲ附與シタリ。其營業ハ一千八百九十五年ヲ以テ開始シ其特權期間ノ滿了ノ後ハ賠償ヲ要セスシテ總テ市ノ所有ニス歸ヘキモノトス。但シ其期間ハ頗ル長期ナリ。斯ノ如ク伯林及ヒライプチヒノ二市ハ私立會社ニ營業ノ特權ヲ與ヘタリト雖モ、市及市民ノ利益カ之ニ依リテ寸毫タモ犧牲ニ供セラレタリトセハ之レ大ナル誤リナリ。獨乙ノ諸市カ其私立會社トノ契約ニ於テ如何ニ市ノ利益ヲ保護スルニ注意セルカハ一千八百八十八年ニ改訂シタル伯林市ト伯林電氣會社トノ契約ニ依リテ其一例ヲ見ルコトヲ得ヘシ此契約ハ會社ノ營業區域ヲ限定シ其區域內ニ於テハ嚴重ナル制裁ヲ以テ契約ニ擧示セラレタル短キ期間內ニ其全幹線ヲ布設完成スヘキコトヲ命ス、其道路占用ノ特權ニ對スル賠償トシテハ會社ハ其總收入ノ一割ヲ市ニ納付スルコトヲ要シ、其會社ニシテ若シ

ライプチヒハ反對ノ政策ヲ取ル

特許ノ條件

伯林市ノ特許契約

市ニ對スル賠償

廉價ナル市街點燈ノ引受

資本現在額ノ六朱以上ノ純益ヲ得タルトキハ猶之ニ加フルニ其超過シタル純益ノ二割五分ヲ市ニ納付スルコトヲ要ス、會社ハ又殆ト名義ノミニ等シキ程ノ廉價ヲ以テ「ウンデル、デン、リンデン」ノ中央街道及「ポツダーメル」街幷ニ「ライプチゲル」街ノ大電氣燈ヲ點火シ及維持スルノ一切ノ費用ヲ負擔ス、其他道路ノ電氣燈ハ市ノ要求ニ從ヒ特別ノ廉價ヲ以テ其需要ニ應スルコトヲ要ス。市ハ會社ニ對シテ工事及財政上ノ充分ノ監督權ヲ有シ、會社ノ一切ノ事業ハ巨細トナク之ヲ市廳ニ報告セシム、會社ハ保證金トシテ二十五萬嗎ヲ納付シ、其電氣線ノ敷設ニ付テハ嚴重ナル規則アリ。

監督權

保證金及ヒ積立金

加之會社ハ積立金トシテ資本ノ二割ニ等シキ金額ヲ備フルコトヲ要シ、此積立金ハ伯林市債證書ヲ以テ市ノ金庫ニ寄託スルコトヲ要ス。

私人ニ對スル實價

私人ノ需要者ニ對スル代價ニ付テハ此契約ト共ニ一定ノ定價表ヲ作リ會社ニシテ此以外ノ代價ヲ得ント欲スルトキハ常ニ市長ノ同意ヲ要ス。最後ニ、一千八百九十五年十月一日以後ハ市ハ何時ニテモ總テノ電氣線及一切ノ附屬物ヲ買上ルコトヲ得、其買上價格ハ此契約中ニ其適當ナル標準ヲ豫定セリ。以上述フルカ如ク此契約ノ條項タル極メテ複雜ナルモノナリト雖モ、又市ノ經濟政策ノ尤モ完全ナル模範トシテ見ルニ足ルヘシ。若シ紐育（ニューヨーク）、市加俄（シカゴ）、嘉士頓（ボストン）、及費府（フィラデルヒア）ノ諸市ニシテ既往三十年間ニ此等ノ准官業タルヘキ性質ヲ有スル事業ノ契約ヲ爲スニ當リ、其重要ナル特權ノ附與ニ對シ、獨乙ノ諸市カ取リタルカ如キ公益保護ノ主義ヲ取リタリシトセハ、其今日ニ於ケル結果ハ果シテ如何ナルヘキカ是等獨乙流ノ契約ヲ見ルトキハ吾人ハ常ニ市ノ第一流ノ財政家、政治家及法律家ノ技倆ヲ連想セスンハアラス、而シテ米國流ノ契約ニ至リテハ吾人ハ常ニ私立會社ヲ代表スル紳商ノ狡猾ナル技倆ヲ連想スルヲ禁スル能ハサルナリ。

獨逸ニ於ケル市内鐵道

第六節　交通

市内鐵道其他交通機關ノ設備ニ付テ獨乙諸市ノ狀況ヲ叙述センハ余輩ハ尚ホ今ヨリ五年若クハ十年ノ後ナランコトヲ希望セサルヲ得ス。市内交通ノ事業ハ歐州ニ於ケルヨリハ米國ニ於テ遙ニ能ク發達セルモノナリ。我米國ニ於テハ市街ノ地域概シテ廣ク、市民カ交通機關ヲ需要スルコト極メテ切ナ

リ。獨乙ノ諸市ハ多クハ元ト城廓ニヨリテ圍マレシ地ニシテ其地域甚タ狹ク、其貸家ハ數層ノ高キニ及ヒ、數家族等シク之ニ同居スルヲ常トス。家族ハ市内ニ於テモ近郊ニ於テモ、多クハ其ノ職業地ノ近傍ニ住居スルヲ例トセリ。斯ノ如キ狀態ハ近時漸ク變更ノ趨勢ヲ現ハシテ新工業ノ影響ト廉價ナル交通ノ普及トニ影響セラレテ市ノ人口ハ獨乙ニ於テモ他ノ歐州諸市ニ於ケル ト同シク漸時外部ニ膨脹スルノ傾向アリ。斯ノ如キ傾向ハ其進歩頗ル迅速ナリトハ云ヘ其影響ノ稍顯著ナルニ至ルハ猶數年ヲ待タサルヘカラス。其市内交通ノ米國ニ於ケルモノト比較スルニ足ルヘキ地位ニ達スルハ今後猶恐ラクハ十年ノ後ニ在ルヘシ。

漸次其重要ノ度ヲ增加

諸市ニ於ケル市内鐵道ノ開始

然レトモ伯林、漢堡、フランクフルト、ミユンヘン、ライプチヒ、ドレスデン、ケルン、スツットガルト其他諸市ニ於ケル馬車鐵道ハ今日ニ於テモ極メテ能ク管理セラレ、市ノ保護ノ下ニ年々其發達ヲ進メツヽアリ獨乙ニ於ケル最初ノ馬車鐵道線ハ一千八百六十五年ニ伯林市ニ敷設シタル短距離ノ線路ナリキ。其他ノ諸市ハ漢堡及ヒスツットガルトニ於テ僅カニ其業ヲ始メタル外ハ、一千八百八十二年マテ何レノ市ニ於テモ之ヲ開始スルモノアラサリシカ、同年ニ至リドレスデン、ライプチヒ、フランクフルト及ハノーベルノ諸市ハ相次テ其列ニ加ハレリ、此ヨリ後十年間ニ馬車鐵道ノ業務ヲ開始スルモノ此他猶三十市ニ及ヘリ。

唯一ノ會社ニ統一スルヲ原則トス

獨乙諸市中ニハ一市ニシテ二個以上ノ馬車鐵道會社アルモノナキニ非スト雖モ、大多數ノ市ニ於テハ唯一ノ會社ヲ以テ其全線路ヲ管理シ、嚴密ナル市ノ監督ニ服スルヲ例トス。會社カ其特權ニ對シ市ニ納付スル金額ハ獨乙ニ於テモ漸ク其額ヲ增加スト雖モ、其ノ市ノ財源トシテ稍重要ノ地位ヲ占ムルニ至ルハ猶數年ノ後ニアルヘシ。旅客ノ伯林ニ至ルモノハ何人モ全市ニ通スル鐵道馬車ノ極メテ滿足ニ行ハレツヽアルヲ見ルヘシ。此等ノ馬車鐵道線路ハ殆ト總テ大伯林馬車鐵道株式會社（グローセル、ベルリネル、ペルデアイゼンバーン、アクチエン、ゲゼルシヤフト）ノ所有ニ屬ス。其會社ノ新線路ノ敷設ニ付テハ市ノ政廳ハ常ニ市ノ現在及將來ノ發達ヲ豫想シ極メテ愼重ナル監督ヲ行ヘリ。新線路布設ノ特權ニ對シテハ會社ハ線路ノ長短ト利益ノ見込トニ應シテ數千馬ヨリ數十萬馬ニ至ル金額ヲ一時ニ納付セリ。之ニ加フ

伯林ノ會社

其市ニ對スル賠償

ルニ會社ハ線路ヲ敷設セル道路ノ修築及掃除ニ付重大ナル負擔ヲ爲シ、及其特權ニ對スル補償トシテ利益ニ對スル一定ノ割合ヲ以テ年々市ニ納付金ヲ納ムルノ義務ヲ負フ。其特許期間ノ滿了後即チ一千九百十一年ニ至レハ全線路ハ市ノ所有ニ歸スヘキモノトス。現今會社カ市ニ納ムル所ノ納付金ハ一年百萬嗎以上ニ上ル是レ會社ノ總收入ニ對スル一定ノ歩合ニ依ルモノニシテ其歩合ハ利益ノ增加ニ從テ漸時增加スヘキモノトス。其最少ノ限度ハ四朱ナリ、然レトモ最近數年間ハ概ネ七朱半以上ニ上レリ。

漢堡ノ馬車鐵道

漢堡ノ馬車鐵道會社ハ總テ其乘客ノ數ニ應シ一定ノ市稅ヲ納付ス。其稅額ハ略々總收入ノ八朱乃至一割ニ達スヘシ。此他猶會社ハ他ノ市稅ヲ納付スルノ義務ヲ負ヒ及道路ノ維持修築ニ關スル種々ノ義務ヲ負フ。其線路ハ契約年限ノ滿了ト共ニ市ノ所有ニ歸スヘキモノトス。今日ノ營業ノ狀態ニ於テハ是レ蓋シ會社ノ力ノ及フヘキ極度ナルヘシ。漢堡ノ重ナル會社ハ從來株主ノ利益配當額一年五朱以上ニ達シタルコト少ナシ。漢堡ノ馬車鐵道會社ハ伯林ニ於ケル如ク重ナルモノ唯一ニシテ他ノ會社ハアルトナ其近郊ノ

ケルンノ馬車鐵道

地ニ一二ノ線路ヲ布設セルノミ。ケルンハ其最近ニ於ケル地域擴張及其郊外ノ急速ノ發達ニ因リ其交通機關ハ頗ル重要ノ地位ヲ占ムルニ至レリ。現今ケルンノ馬車鐵道ヲ營業セルモノハケルン市內鐵道會社ニシテ、其特許年限三十年ノ期間ハ一千九百十六年ヲ以テ滿了シ、同時ニ其線路ハ毫モ賠償ヲ要セスシテ市ノ所有トナルヘキモノナリ。會社ハ毎年略々一萬嗎ノ納付金ヲ納メ及ヒ其株主ニ對スル利益配當五分ヲ市ニ納ムルノ義務ヲ負フ。フランクフルトノ馬車鐵道

フランクフルト、アム、マインノ契約ハ市ニ對シテ一層利益アル條件ナリ。其市ノ馬車鐵道會社ハ近傍ノ市街ニ達スル三四ノ電氣鐵道線及瀛車鐵道線ノ外總テ市ノ交通事業ヲ專占セルモノニシテ、其市ニ納ムル金額ハ毎年略ゝ三萬嗎ニ達スル一定ノ金額及總收入ノ六朱及ヒ其純益總額資本ノ一割以上ニ及フトキハ其以上ノ純益金ノ五割ナリ。

賠償金ノ通常形

斯ノ如キ契約ハ他ノ諸市ニ付テモ亦等シク之ヲ叙述スルコトヲ得ヘシ。要スルニ獨乙ノ諸市ハ僅少ノ例外ヲ除クノ外其市ノ馬車鐵道會社ニ對シ其有スル特權ノ賃貸價格ト略ゝ相等シキタケノ納付金ヲ徵シ之ニ加フルニ其投下

資本及ヒ營業ニ對シテハ普通ノ商工業者ニ對スルト同樣ナル嚴重ノ租稅ヲ課セルナリ。其特權ニ對スル納付金ハ其利益ノ增加スルニ從ツテ亦增加スヘキ方法ヲ用ヰ即チ第一ニ定額ノ課稅若クハ道路ノ維持修築ノ負擔第二ニ總收入ニ對スル一定ノ歩合第三定額以上ノ純益ニ對スル一定ノ歩合此等ヲ合セテ以テ馬車鐵道營業ノ特權ニ對スル賠償トナスナリ。其營業ニ對スル市ノ監督ハ乘車賃車輛往復ノ回數ノ如キ微細ノ點ニマテ渉ルヲ常トス。固ヨリ多少ノ例外ハアレトモ殆ト何レノ市ニ於テモ獨乙ノ鐵道馬車賃ハ最近ノ距離ニ於テ十「ペンニヒ」(我五錢)ニシテ、其距離ノ之ヨリ遠キモノハ其遠近ニ從ヒ十五「ペンニヒ」若クハ二十「ペンニヒ」トス。處ニ由リテハ距離ノ遠近ニ拘ハラス十「ペンニヒ」ヲ以テ乘車賃トナスモノアリ。或ル市ニ於テハ又乘車賃ニ特別ノ等級ヲ設クルモノアリ。例ヘハ余輩ノ知レル一市ニ於テハ、市ト會社トノ契約ノ一部トシテ、小學校ノ兒童ハ普通乘車賃ノ三分ノ一ヲ以テ乘車セシムヘキコトヲ規定セリ。

獨乙ニ於ケル電氣鐵道ノ開設及ヒ伯林市ノ所謂迅速交通機關ノ計畫ニ付テ

ハ余輩ハ爰ニ之ヲ叙述スルノ勞ヲ採ラサルヘシ。唯爰ニ一言スヘキハ獨乙ノ數市ハ已ニ一二ノ架空電氣鐵道線ノ試驗的設備ヲ終リ、而シテ學理的ナル獨乙人ハ電氣鐵道ノ問題ニ關シテモ總テノ點ヨリ之レカ研究ヲ怠ラス、其結果ハ數年ナラスシテ他ノ諸國ノ注目ヲ惹クヘキモノアルヘキハ疑ヲ容レサル處ナリ。本章ノ初メニ於テ余輩ハスツットガルト市カ架空電氣線ノ敷設ヲ決定シタルコトヲ述ヘタリ。ドレスデンニ於テモ近時架空線ヲ完成シ、其他數個ノ獨乙市街ノ近郊道路ニ於テモ同式ノ電氣線ノ既ニ運轉セルモノ少カラス。

第七節　居宅及ヒ人口

貧民居宅ノ問題ハ今後ノ市行政中最モ愼重ナル研究ヲ要シ又最モ大膽ナル政策ヲ要スルノ問題ナルコトハ近世ノ市政ヲ研究スル者ノ何人モ疑ハサル處ナリ。此問題タル其關係スル處極メテ廣ク而シテ獨逸ノ市民ハ其國統計學者ノ卓越ナル技倆ニ依リテ始テ其問題ノ重要ニシテ然カモ緊切ナルコト

ヲ明ニシタリ余輩カ他ノ諸國ニ付テ述ヘタリシカ如キ事情ハ獨乙ノ諸市ニ於テモ日ニ益〻增加シ借家ノ所有者ハ勉メテ多數ノ家族ヲ其借家ニ群集セシメ日光及ヒ空氣ヲ通スヘキ空地ハ悉ク建家ヲ以テ充塞シ一言シテ云ヘハ獨逸ノ諸市ハ半世紀以前ノ英國ノ大工業市カ居宅ノ問題ヲ全ク市政監督ノ外ニ放擲シ其居宅ハ恐ルヘキ密聚ト狹隘トヲ來シ傳染病殆ト絶ユル時ナク幼兒死亡ノ比例ハ驚クヘキ高度ニ達シ罪惡ハ一ノ抵抗モナクシテ玆ニ養成セラレタリシカ如キ狀態ヲ一層ノ強度ヲ以テ更ニ繰返シツヽアリシナリ。

獨逸ノ諸市カ計算及ヒ分類ヲナスコトノ極メテ微細ナルハ我米國諸市ノ殆ト見テ以テ嘲笑スル程ナリ。サレト獨逸ノ市廳カ其市民ニ致セル效績ノ最モ大ナルハ實ニ此ノ統計事業ニアリトイフモ不可ナシ。一千八百八十年ノ頃ヨリ以後伯林市ハ貧民ノ居宅カ其健康ニ及ホス所ノ影響ニ關シテ最モ微細ナル統計ヲ集メントセリ。其死亡統計ハ啻ニ全布ニ對スル死亡比例ヲ現ハスノミナラス市ノ各區ニ付キ殊別ノ死亡統計ヲ調製シ加之ナラス死亡ノ數及ヒ比例ヲ一家族ノ占有セル居室ノ數及ヒ其居室ノ市街ニ面スルヤ否ヤ

家屋中ノ最下層ナルヤ又ハ二階三階等ナルヤニ由リテ一々之レヲ區別セリ。各區ノ人口ノ密度ハ又之ヲ其區内ノ家屋ノ高サ及ヒ空地ノ面積ト比較セリ。

千八百八十五年ノ統計ニ由レハ伯林市中ニ於テ一家族ヲ以テ借家中ノ一室ノミヲ占有セルモノ七萬三千人、二室ニ居住セル者三十八萬二千人、三室ヲ有スルモノ四十三萬二千人、四室以上ノ居室ヲ占ムルモノハ三十九萬八千人ナリキ。即チ一室居住ノ家族ハ三室ヲ占有スルモノハ僅カニ六分ノ一ニ過キサルニ拘ハラス其ノ死亡ノ數ニ至リテハ實ニ之レカ四倍ニ達シ其死亡比例ハ二十三倍ノ高キニアリキ。之ヲ四室以上ノ占有者ニ比スレハ一室占有者ノ死亡比例ノ高キコト實ニ三十倍ナリキ。其年ニ於ケル全市ノ人口百三十一萬五千人中一室居住者タル七萬三千人ヲ以テ全死亡數ノ殆ト半ハヲ占メタリ。其死亡比例ハ一千人中百六十三人・五ニシテ即チ人口ノ六分ノ一ニ居ル。二室居住者ノ死亡比例ハ僅カニ二十二人・五。三室居住者ニ至テハ驚クヘキ低度ノ死亡比例ヲ保チ即チ僅カニ千人中七人・五ニ過キス。一家族四室

以上ヲ占有スルモノニ至リテハ千人中ノ死亡比例僅ニ五人四ナリキ。

貧民ノ居宅カ都府ノ死亡比例ニ及ホス影響ヲ斯ノ如ク明晰ニ表示シタルハ余輩未タ此等伯林市ノ統計ノ如キヲ見ス（此統計ハ千八百八十八年ノ出版ニ係ルモノナリ）。吾人ハ常ニ都府ノ死亡比例カ一年千人ニ付二十八人内外ナルヲ以テ其普通ノ狀態トナシ又之ヲ以テ充分滿足ナル結果ト看做シタリ。然レトモ斯ノ如キ比例中未タ審カニ之ヲ細分シタルモノアルヲ見ス。若シ之ヲ細分セハ焉ソ測ラン此ノ通常ノ死亡比例ハ市民ノ階級ニ應シテ千人中三人又ハ四人ノ最小數ヨリ千人中二百人ノ最大數ニ至ル高低種々ノ死亡比例ヲ以テ組成セルモノナルヲ見出スナルヘシ。伯林ノ一室居住者ノ死亡數中其半ハ一家族五人以上居住セルモノナリシハ以テ其一班ヲ案スルニ足ル。

幼兒ノ死亡比例

此他一千八百八十五年ノ伯林市ノ統計ニ於テ發見セラレタル事實ヲ一々擧示セント欲セハ猶多クノ紙數ヲ必要トスヘシ。例ヘハ甲區ニ於テハ各階級ノ市民ヲ通算シテ滿一年以下ノ幼兒ノ死亡比例カ乙區ニ於ケル同樣ノ幼兒ノ死亡比例ニ比シテ五倍ノ多キニ達セルノ事實ヲ見出シタルカ如キハ極メテ驚クヘキノ發見ナリキ。又甲區ニ於テハ幼兒ノ死亡カ全死亡數ノ半ヲ占メタルニ反シ乙區ニ於テハ僅カニ其四分ノ一ニ相當スルニ過キサルヲ見出シタルカ如キ、又ハ下層ノ居住ト階上ノ居住トノ死亡比例ニ及ホス影響ヲ精査シタルカ如キ、皆ナ緊要ナル發見ナリト云ハサルヘカラス。

建築規則ノ改定

此等ノ發見ハ直チニ市ノ政策ニ影響ヲ及ホシタリ。一千八百八十八年ニ於テ市ハ新ニ建築規則ヲ製定シテ以テ前述ノ統計ニ由リテ現レタル恐ルヘキ事實ヲ救濟センコトヲ計レリ。建物ノ高サトノ比例、家並ノ整頓等ノ事項ニ付テハ此ノ以前ヨリ既ニ嚴重ナル規則アリシカ、此年ニ至リ新ニ各家屋ハ其敷地ノ三分ノ一ヲ空氣及ヒ日光ヲ容ルヽカ爲メ空地トシテ存スヘキコトヲ規定シ、居住ニ供スル室ノ廣サノ最小限度ヲ限リ、其居室ニハ必ラス日光換氣法及ヒ温室法ノ相當ノ設備設クヘキコトヲ命セリ。借家ニシテ既ニ人ノ居住スルモノハ嚴重ニ其檢査ヲ行ヒ、其他市ノ權力ヲ以テ種々ノ方法ニ由リ人口密聚ノ害毒ヲ輕減シ、以テ最下級貧民ノ居宅ノ狀態ヲ改良センコトヲ勉メタリ。

伯林及ヒ其近郊各區域ニ建築セラルヘキ家屋ノ種類ノ限定

人口ノ外部ノ膨脹

其結果ハ既ニ多少ノ効驗ヲ現ハシタリ。一千八百九十五年ノ新統計ニ於テハ一千八百八十五年ニ於テ見出シタルカ如キ事實ニ對シテ顯ル有望ナル改良ノ現ハレタルモノアルヘキヲ信ス。市ノ地域ノ新ニ擴張セラレタル部分及ヒ將來ニ擴張セラルヘキ部分ハ總テ之ヲ數區ニ分劃シテ、其各區ニ於テ新ニ建築セラルヘキ家屋ハ一々其種類構造ヲ限定シ之ニ反スル家屋ノ建築ヲ許ルサヽルカ如キ亦獨逸市政中ノ著ルシキ一ナリ。例ヘハ一ノ地域ニ於テハ別莊ノ類ノ外建築ヲ許サス其地域內ニハ何人モ宏壯ナル居宅ヲ建築スルコトヲ得サルナリ。斯ノ如キ規定ハ餘リニ干渉ニ過クルカ如シト雖モ、市民ノ公共ノ利益ハ個人ノ利益ヨリ優勝ナル勢力ヲ有セサルヘカラス。若シ土地ノ私有者ニシテ自己ノ利益ノ爲ニ公共ノ利益ヲ犧牲トスルカ如キコトアラハ、市ハ毫モ之ヲ假借スルノ要ナキナリ。

獨乙ノ最近ノ國勢調査ニ依リテモ亦種々ノ注意スヘキ現象ヲ發見シタリ。例ヘハ伯林市ノ中心部ナル密聚セル市街カ漸次人口ヲ減スルノ傾キアルカ如キ、市政ノ方針ヲ決スルニ於テ極メテ有益ナル發見ナリキ。即チ一千八百八十五年ヨリ同シク九十年ニ至ル五年間ニ、伯林市ノ全地域ニ於ケル人口ハ百三十萬人ヨリ殆ト百六十萬人ニ增加シタルニ拘ハラス、其最中心ナル五區ノ人口ハ著シキ減少ヲ見ハセリ。其一區ニ於テハ家族ノ數千ニ付百七十八即チ殆ト五分ノ一ヲ減シ、他ノ二區ニ於テハ家族ノ減少千中百十ニ達シ即チ十分ノ一以上ノ減少ヲ來セリ。之ニ反シテ外區ノ人口ハ非常ナル膨脹ヲ來シ、其內ノ二區ハ五年間ニ實ニ其人口ヲ二倍シタリ。故ニ近來ニ於ケル伯林市人口ノ一般ノ趨勢ハ中央ヨリ外郊ニ向ッテ膨脹シ、外郊ノ人口ハ總人口ノ增加ヨリハ遙カニ高度ナル速力ヲ以テ進歩シツヽアルナリ。斯ノ如キ人口ノ增加ニ應スルカ爲メ新ニ家屋ヲ建築スルモノハ前ニ述ヘタル嚴重ナル衛生法規ノ支配ヲ受ケ、其他市ハ總テノ方面ニ於テ大膽ナル方策ヲ以テ各近郊地ノ人口增加ニ應セントセリ。

伯林ノ借家

伯林市ノ市民ハ今日ニ於テモ殆ト全ク借家ニ居住スルモノナリ。一千八百九十年中伯林市ニ於テ獨立ノ生計ヲ營メル家族ノ數ハ凡ソ三十六萬七千ナリシカ、其居住セル家屋ハ合セテ二萬一千六百戶ニ過キサリキ。之ヲ平均ス

一家族專有ノ家屋ノ少數ナルコト

レハ一家屋中十七家族ノ同居セル割合ニシテ、其人員ハ凡ソ七十五人ナリキ。三十六萬七千ノ家族中ニ於テ、一家族ヲ以テ數階ニ居室ヲ占ムルモノハ、皇室及ヒ皇族ヲモ合セテ僅ニ上流ノ市民二千二百家族ニ過キス、而シテ其二千二百中一千四百ハ營業所ヲモ含メルナリ。即チ是等一千四百ノ家族ハ店ノ後ニ一二ノ居住室ヲ有シ猶階上ニ數個ノ居室ヲ備ヘタルナリ。全ク營業ノ目的ヲ離レテ獨立ノ居宅ヲ有スル家族ハ其數僅カニ六百ニ滿タス。伯林市中一家族ヲ以テ一家屋ヲ占有スル者ハ六百ニ付キ一家族ノ割ニモ足ラサルナリ。伯林ノ貸家ハ近來頗ル其大サヲ加フルノ傾キアリ、一千八百九十年ノ調査ニ依レハ四十人以下ノ居住セル家屋ハ一千八百八十年ノ十分ノ一ニ滿タス。五十人以上百人以下ノ居住セル家屋ハ同年ニ比シテ四割ヲ增加シ、百人以上三百人以下ノ居住セル家屋ハ五割乃至三倍ノ增加ヲナセリ。其增加ノ比例ハ家屋ノ大サニ略ゝ正比例ス。現時ニ於テハ市民中一百人以上一家屋ニ同住スルモノハ略ゝ總人口ノ半ニ及ヘリ。斯ノ如キ現象ハ其結果利益アルト共ニ又不利益ヲ免レス。其利益ノ側ヨリイヘハ用水及ヒ瓦斯ノ分配ヲ容易

大借家ノ增加

ニシ、及ヒ完全ナル下水ノ設備ヲ容易ナラシムルノ便アリ。要スルニ其利益ナルヤ否ヤハ一ニ家屋ノ搆造ノ完全ナルヤ否ヤニ由ルモノナリ。一千八百八十五年ニ於テハ伯林市民中地下室ニ居住スルモノ略ゝ十二萬人ナリキ。一千八百九十年ニ於テハ略ゝ之ト同一ナリシカ、其總人口ニ對スル割合ハ稍減少シタリ。斯ノ如キ不健康ナル地下ノ居住ハ市ハ出來得ヘキ丈速カニ之ヲ禁遏スルノ方針ヲ取レリ。

地下室ノ居住者

家屋改良ノ政策ハ獨リ伯林ニ於テノミナラス、他ノ重ナル獨乙諸市ニ於テモ亦同樣ノ統計上ノ調査ヲ盡シ、其多クハ其統計ニ由リテ發見シタル害毒ヲ改善センコトヲ勉メツヽアリ。プレスラウノ人口ハ獨乙全國中尤モ甚シキ密聚ヲ呈シ、其一室居住者ノ員數ハ殆ト信スヘカラサル程ナリ。一千八百八十五年ノ調査ニ依レハプレスラウノ總人口二十八萬七千人中、一室ニ居住セルモノハ十五萬人以上ニシテ、其內略四萬人ハ所謂「ツーベヘール」即チ物置部屋ノ如キ曖昧ナキ小附屬室ヲ備フルモノナリ。前ニ述ヘタル伯林市ノ一室居住者七萬三千人ハ斯ノ如キ小附屬室ヲ有スルモノヲ含マス。此他ニ主タル

他ノ諸市ニ於ケル居宅問題

プレスラウノ慘狀

伯林ノ所謂一室居住者ノ性質

ドレスデンノ一室居住者

マグデブルヒ及ヒゲールリツツ

漢堡及ヒアルトナ

ラスプチヒ及ヒミユンヘン

居住室ハ一家族僅カニ一室ヲ有スルニ止マリ、唯一二ノ物置部屋即チ獨乙人ノ稱シテ「ツーベヘール」ト云フモノヲ備フルニ由リ、一室居住者ノ列ニ加ハラサルヲ得タリシモノ四十九萬八千人ナリシテ其下級勞働者カ一室居住ノ哀レムヘキ狀態ニアリトハ殆ト信スルヘカラサルカ如キモ、尙ホ一千八百八十五年ニ於テハ其總人口二十二萬八千人中、主タル居住室トシテ一家族一室ノミヲ占有スルモノハ十一萬人ニ達セリ。幸ニシテ此等ドレスデン市民ノ多數ハ例ノ附屬物置部屋ヲ有シ、其居室內ニ於テ出產、食事、睡眠、病者、又ハ死亡者等已ムヲ得サル必要アル塲合ニ於テハ之ヲ利用スルコトヲ得。其他ノ小市街中ニハマグデブルヒ及ヒゲールリツツノ二市ハ殊ニ其居宅制整ハス。マクデブルヒノ人口中一室居住者ノ階級ニ屬スルモノ其半ニ超ユルコト大ナリ。漢堡ハ一室居住者ヲ以テ其人口ノ四分ノ一ヲ占メ、其鄰市ナルアルトナハ其狀況一層惡シシ。獨乙ノ第三及ヒ第四ノ都會タルライプチヒ及ヒミユンヘンハ之ニ反シテ其勞働者ノ狀況頗ル佳良ナリ。

一般改良ノ傾向

傳染病隔離病院

清毒所

幸ニシテ是等總テノ諸市ニ於テモ最惡ノ絕頂ハ既ニ經過シタリ。一千八百八十五年ノ調查ニ依リテ發見セラレタル事情ハ、市ノ政策ヲシテ、數ニ於テモ質ニ於テモ、居住室ノ狀況ヲ改良スルノ方針ヲ取ラシメ、爾後五年間ノ經過ハ既ニ多少ノ結果ヲ現セリ。何ノ處ニ於テモ郊外膨脹ノ政策行ハレ、一千八百九十五年ノ調查ノ結果カ著シキ改良ヲ現ハセルモノアルヘキハ疑ヲ容レス。

第八節　衛生

前節ニ述ヘタル居宅制度改良ノ政策ハ以テ獨乙ノ諸市ノ衛生及ヒ保健行政ノ主義及ヒ方法ノ一斑ヲ察スルニ足ルヘシ。上水下水及ヒ市街掃除ノ制度ハ余輩既ニ之ヲ述ヘタリ。衛生行政ノ重要之ニ次ク者ハ、言フ迄モナク傳染病ニ對スル問題ナリ。伯林ノ衛生行政ハ年一年益〻完全ニ趣キ、其密聚セル借家內ニ於テハ傳染病ノ隔離ハ到底實行スヘカラサルヲ以テ、市ハ各種ノ傳染病ニ對シ最モ完全ナル大隔離病院ヲ施設シ、其他數多ノ消毒所ヲ設ケテ、傳染病者アル每ニ其衣服、寢具其他種々ノ什器ヲ消毒ス。伯林市ハ今後最早如何

伯林ニ於ケル傳染病ノ絕滅

ニ劇烈ナル傳染病ノ流行ニ遇フコトアルモ其處置ニ窮スルノ恐レアルコトナシ其市會議員中ノ一人トシテ敎授フイルヒヤウ氏ハ多年市政ノ爲ニ盡シ、其他市ノ衛生局ニハ醫學及ヒ衛生學ニ名譽アル地位ヲ有スル諸氏ヲ以テ滿テリ。近時ノ經驗ニ依レハ伯林市虎列拉病ヲモ撲滅シ得ヘキノ望ミアリ。窒扶斯、天然痘其他從來世ノ恐ルヽ處タリシ諸傳染病ニ至リテハ殆ト全ク絕滅シタリシニ近シ。肺病ヲスラモ獨乙ノ政府ハ其醫學者ノ技倆ニ由リテ之ニ打勝タントスルノ徵證アリ。漢堡、ミユンヘン、ドレスデン、ライプチヒ其他獨乙ノ諸市ニ於テモ亦傳染病ノ豫防ニ對シテハ同樣ノ完全ナル設備ヲ有セリ。

他ノ諸市ニ於ケル同樣ノ事情

衛生行政中重要ノ之ニ次クモノトシテハ余輩ハ飮食物ノ供給ニ對スル獨乙諸市ノ大膽ナル政策ヲ擧ケント欲ス。ミユンヘンノ市立中央大屠畜場及畜類市場カ一千八百八十七年ニ數百ノ小私立屠畜場ヲ强制的ニ併合シテ開始セラレタルコトハ余輩前ニ之ヲ述ヘタリ。伯林モ亦之ニ先タツコト數年ニ於テ既ニ同樣ノ政策ヲ取リ、一千八百八十三年ニ市ノ兩端ニ於テ二大屠畜場

飮食品ニ對スル衛生上ノ監督

市立ノ屠畜場

ヲ開キ、數年前マテハ殆ト一千ニ近キ私立ノ屠畜場ニ依リテ行ハレタル事業ノ地ヲ奪ヘリ。是等伯林市立屠畜場ノ費用ハ其大中央畜類市場ノ費用ヲ併セテ二千萬瑪ニ近キ資金ヲ要シタリト聞ク。其費用維持ノ方法トシテハ屠畜場ノ使用者ヨリ其取扱ニ要スル費用ノ全部、負債金額ニ對スル五朱ノ利子及ヒ負債元本ヲ償還スルカ爲ニ投下資本ニ對スル一朱ノ金額ニ等シキ割合ヲ以テ其使用料ヲ徵スルノ方針ヲ取レリ。故ニ其制度ハ能ク自ラ其費用ヲ支フルコトヲ得ヘシト雖モ、毫モ營業トシテノ利益ヲ收ムルコトナシ。伯林市ノ監督ノ下ニ於テ年々屠殺スル牛、羊、豚等畜類ノ數ハ殆ト二百萬頭ニ近シ。其費用ハ舊時ニ於ケルヨリハ一層廉價ニシテ、而モ肉類ノ食用者ハ安ンシテ其衛生上ノ檢查ノ完全ナルコトヲ保證シ得ルナリ。市ノ檢查吏ハ屠殺セラルヽ畜類ヲ生キタル儘先ッ嚴重ノ檢查ヲ行ヒ、更ニ其肉ニ付テ之レカ檢查ヲ行フ。此等ノ檢查ハ其組織極メテ完備シ、且ツ凡テ市中ニ販賣セラルヽ獸肉ハ悉ク市立ノ屠畜場ヲ通過セシムルモノナレハ、其公衆衛生ノ上ニ及ホス利益ノ漠大ナルハ言フ迄モナシ。他ノ諸市ハ一々之ヲ列擧スル迄モナク、唯獨

其財政

衛生上ノ檢查

市立ノ屠畜場ハ全國ニ普通ナリ

建物市場

伯林ノ市場ニ對スル政策

乙ノ重ナル市街中其多數ハ伯林ト等シク市ニ於テ屠畜場及ヒ畜類市場ヲ專占スルノ政策ヲ取レリトイフヲ以テ其全般ヲ察スルヲ得ヘシ。伯林ノ畜類市場ハ屠畜場ト異ナリ營業ノ利益ヲ收ムルコトヲ許サレ、年々市ニ歸スル處ノ純益五十萬嗎以上ニ上ル。

啻ニ肉類ニ付テノミナラス凡テ他ノ通常食料品ノ供給ニ付テモ、亦獨乙ノ諸市ハ出來得ヘキ丈官ノ監督ヲ加フルノ政策ヲ取レリ。此目的ヲ達スルカ爲メ、舊時ニ於テハ露天ノ場處ニ公共ノ市場ヲ開キタリシ慣行ナリシヲ改メテ宏大ナル市立ノ建物ヲ市內ノ繁華ナル中央部ニ建築シ、以テ公共市場ニ充テントスルノ趨向アリ。伯林ハ近時頻リニ此等ノ建物市場ノ數ヲ增加シ、此唯一ノ目的ノ爲メ土地及ヒ建物ノ費用ニ充ツルカ爲ニ募集シタル負債ノミヲ以テ二百五十萬嗎ニ上レリ。其投下シタル全資本ノ額ハ猶遙カニ此負債額ヨリ大ナリ。市場ヲ使用スル市民ヨリハ相當ナル使用料ヲ徵シ之ニ由リテ多クノ利益ヲ收ムルノ政策ヲ取レリ。サレハ市場ハ今日ニ於テモ既ニ市民ノ負擔ヲ增スヨリハ寧ロ之ヲ輕減スルノ手段タリ。

其近時ノ發達

飲食品ノ監督ハ市行政ノ最モ適當ノ一ナリ

現時伯林市ニ於ケル此等大食料品市場ハ其數合セテ十四アリ。此等ノ市場カ食料品ノ撿査ニ便宜ヲ與ヘ、不健康ナル食品ヲ貧民ニ給シ及ヒ不當ノ高價ヲ貪ルヲ妨護スルニ依テ與フル所ノ利益ノ漠大ナルハ玆ニ說明スルヲ俟タス。伯林ニ於ケル此政策ハ其起原極メテ近時ノ事ニ屬シ、十四ノ市場中、一千八百八十六年以前ニ開始セラルタルモノハ僅カニ一（即チ所謂チエントラール中央市場）アルノミ。殘餘ノ七カ同年及ヒ其後ノ二年間ニ開始セラレ、其他ノ六ハ一千八百九十年以後ニ開始セラレ、若クハ建築ニ着手セラレタルモノナリ。

現時ニ於テハ斯ノ如キ建物市場ハ未タ市立屠畜場及ヒ畜類市場ノ如ク普及スルニ至ラスト雖モ、漸次此方面ニ於ケル政策ハ種々ノ市ニ於テ注意ヲ惹起シツヽアリ。蓋シ佛人ノ所謂 approvisionment（アツプロヴイジヨンメント）獨人ノ所謂 Versorgung der Bevölkung（フエルゾルグング、ヂル、ベプエルクング）mit Lebensmitteln（ミツト、レーベンスミツテルン）即チ市長ニ對スル食料品供給ノ問題ハ、歐州大陸ニ於テハ到ル處市政ノ一大問題タラントシ、畜類市場屠畜場及ヒ野菜其他食料品ノ啣賣及ヒ小賣市場ヲ公有スルノ制度ハ、食料品ニ對スル化學的及ヒ黴菌的檢査ノ制度ト共ニ何レノ國ニ於テモ採用セラルヽノ氣運ニ向ヘルナリ。獨乙ノ諸

市ニ於テハ食料品ノ販賣ニ對スル監督等ト、何人モ最モ市ノ行政ノ範圍タルニ適當ナルコトヲ信スルモノアラサルヘシ。此ノ如キ問題タル各個人殊ニ貧民ノ家族ハ到底自ラ之ヲ行フニ由ナク隨テ此點ニ於ケル公ノ干渉ハ實ニ市政ノ欠クヘカラサルモノナリ。

第九節　貧民救助

貧民救助其他一時又ハ永續ノ災危ヲ救助スルノ制度ハ獨乙ニ於テハ全國能ク其統一ヲ保テリ。其直接ノ執行ハ固ヨリ各市ノ權能ニ屬スト雖モ、其方法ハ當ニ孛漏西ニ於テノミナラス、巴威倫（バイエルン）及ヒエルザス、ロートリンゲンノ二州ヲ除キテハ獨乙全帝國ヲ通シテ悉ク均一ナリ。サレハ其模型トシテ茲ニ伯林市ノ制度ヲ略述セン ニ、先ツ中央ニ於テハ市役所ノ一部局トシテ有力ナル救貧局アリ、助役ノ一人之レカ長タリ、種々ノ熟練ナル吏員之ニ附屬ス。然レト實際ニ貧民ニ接シテ救助ノ事ヲ、行フモノハ此等中央局ニアラスシテ別ニ市ノ各部ニ二百五十前後ノ地方委員會アリ、市ノ地域ハ之ト同數ノ救貧區ニ

救貧制度ハ全國統一ナリ

伯林ノ制度

地方救貧委員會

分割セラル、各地方委員會ハ一人ノ市會議員及ヒ市ノ囑托醫トシテ撰任セラレタル醫員一人、及ヒ其地方ニ住居ヲ有シ其篤實ナルカ故ヲ以テ撰任セラレタル五人乃至十二人ノ市民ヲ以テ組織スルモノナリ。

名譽職委員

此等ノ地方救貧委員ノ一人トシテ撰任セラルヽコトハ大ニ市民ノ名譽タリ。之カ撰任ヲ受クルモノハ以テ其ノ市民ニ對シテ德望ヲ有シ、併セテ伯林市廳ヨリ信用ヲ有スルモノナルヲ知ルニ足ル。サレハ何人モ斯ノ如キ撰任ニ對シテ之ヲ拒辭スルカ如キハ夢想タニセサル處ナリ。加之ナラス其職務ハ強制ノ負擔ニシテ、之ヲ拒辭スルモノニ對シテハ課稅ノ增加、及ヒ場合ニ依リテハ公權ノ体止ヲ伴フ制裁アリ。其職務ハ全ク無報酬ナレトモ、決シテ有名無實ノモノニアラス。各救貧區ハ更ニ之ヲ數小區ニ再分シ、各小區ハ僅ニ數家族ヨリ成リ、各委員ハ各一小區ヲ分擔シ其分擔區域内ニ於テハ審カニ其事情ヲ熟知スルノ責任アリ。急迫ノ場合ニ於テハ直チニ相應ノ救助ヲ施スノ職權ヲ有シ、及ヒ引續キ救助ヲ要スル場合ニ於テハ常ニ充分ノ觀察ヲ怠ラサルノ義務ヲ負フ。全地方委員會ハ定期ニ集會ヲ開キ、全救貧區内ノ事情ヲ報告

職權ノ細分

其事務ノ敏括ナルコト

シ及ヒ其討議ヲ爲ス。而シテ其報告ハ各救貧區ヨリ之ヲ中央市廳ニ呈ス。地方委員ノ新任セラレタルモノアルトキハ、詳カニ其職務ノ範圍ト責任ノ高キトヲ訓告ス。而シテ其撰任ハ極メテ愼重ニセラルヽカ故ニ地方委員ノ一般ノ技倆ハ頗ル高シ。此ノ如ク無報酬ヲ以テ救貧事務ノ爲ニ委員タルノ職務ヲ奉セル市民ハ其數實ニ二千乃至三千人ノ多キニ在リ。各市民ハ一般ニ能ク其組織ノ詳細ニ慣熟シ、災厄アル塲合ニ於テ何處ニ救助ヲ求ムヘキカハ何人モ之ヲ知ラサルモノナシ。此ノ如キ制度ノ基ク所、市ハ一大家族ニシテ其家族中自ラ助クル能ハサルノ不幸ニ遇フモノアルトキハ他ノ各員ニ於テ之ヲ救助スルコトヲ要ストスルノ思想ニ在リ。サレハ其救助ヲ受クルモノニ於テモ毫モ不名譽ノ感ヲ起スコトナシ。其組織ハ極メテ整頓シ、詐欺ノ救助ヲ求ムルカ如キハ事實全ク不可能ノ事ニ屬ス。救助ノ重複ノ如キモ亦獨逸ニ於テハ既ニ過去ノ事實ナリ。

家族主義

地方救貧委員會

此ノ制度ハ要スルニ我米國ニ於ケル共同(アツソシエーテツド、チヤリテイー、ソサイアチーズ、シナーズンス、レリーフ、コムミツチース)慈善會、市民救貧委員、及ヒ官ノ貧民救助局ノ三ノ事業ヲ併合シ其總テノ善良ナル部分ヲ兼子有ス

他ノ諸市モ伯林ニ同シ

ル統一的ノ永久ノ組織ナリ。余輩カ伯林ニ就テ述ヘタル處ハ漢堡、フランクフルト、アム、マイン、ブレスラウ、ドレスデン、ライプチヒ其他殆ト獨逸全國中大小總テノ諸市ニ等シク、適用セラルヽヲ得ヘキモノナリ。之ト類似ノ制度ハ地方郡村ニ於テモ存在ス。其他浮浪無宿ノ徒ニ對スル市ノ政策モ又甚タ有益ナリ。伯林ニハ市立ノ公共下宿所及ヒ公共勞働塲アリ。之レニ由リテ能ク大市街ニ於テハ曾テ絶ユルコトナキ無宿者ノ要素ヲ全ク市ヨリ絶滅セシムルコトヲ得タリ。

公共下宿所

強制保險制度

然レトモ獨逸人ハ貧民ノ救助ニ關シテ他ノ各國ヨリハ最モ滿足ナル効果ヲ收メタルニモ滿足スルコトナク、進テ全然窮民ノ跡ヲ絶チ之ヲ救助スル必要ヲ除却センコトヲ欲シ、而シテ疾病、不幸、老癈等ニ備フルカ爲メ強制保險ノ制度ヲ設クルニ由リテ以テ此目的ヲ達スルコトヲ得ヘシトナセリ。近者數年間獨乙人ハ大ニ此理想ニ向フテ進ミ、其前途ノ好望又甚タ大ナルモアリ。疾病保險ノ業務ハ獨乙ノ種々ノ市ニ於テ之ヲ實行セルコト既ニ十年以上ニ及ヒ、之ヲ以テ職工組合及ヒ各大市街ノ諸區ニ存在スル相互保險組合ノ救助基

金ヲ補充セリ。是等疾病保險組合ノ成立ハ國ノ政府及ヒ市ノ政府ノ百方奬勵スル處ニシテ、其ノ組合ハ何レモ精細ノ登錄ト監督トヲ受ケ、其保險金額及ヒ如何ナル程度マテ救助ノ目的ヲ達スルノ能力アルヤハ常ニ市ノ明カニスル所タリ。

老年保險制度

獨乙ノ全國ヲ通シテ此等疾病保險ノ制度ハ既ニ頗ル大ナル發達ヲ遂ケタリ。獨乙帝國政府ハ更ニ之ニ重要ナル一步ヲ進メ遂ニ老年者ニ對スル勞働者保險法ヲ發布スルニ至レリ。余輩ハ玆ニ此老年保險ナル一大問題ヲ論スルコトヲ敢テセサルヘシ。斯ノ如キ保險ニ關シテ獨乙諸市ノ得タル結果ヲ論スルハ時未タ餘リニ早キニ過ク。余輩ハ唯此制度ノ實際ノ管理カ大部分ハ市ノ政府ノ手ニ委任セラレ、現時ニ於テハ獨乙ノ諸市ハ大小ヲ問ハス、何レモ其數多ノ事業ト共ニ勞働者階級ノ利益ノ爲ニ疾病、負傷、癈疾及ヒ老年ニ對スル保險ノ業務ヲ自ラ行ヒ又ハ直接ニ監督シツヽアリト言フヲ以テ足レリトスヘシ。斯ノ如キ事實ハ吾人米國人ニ取リテハ頗ル危險ナルカ、然ラサルモ奇怪ナル干涉ナルカ如キ感ヲ免レサルヘシト雖モ、而モ是レ亦公共ノ安寧幸福

ヲ以テ市ノ責任ナリトスル獨逸ノ觀念ニ基ク論理的必然ノ結果タルニ外ナラス。論者或ハ之レヲ以テ社會主義ナリトスルモノ少カラス。此非難ニ對シテハ余輩ハ唯各文明國ニ於テ公ニ貧民救助ノ事ヲ管理スルノ必要ヲ認識セルハ年既ニ久シク、殊ニ英國ヲ始メ他ノ數國ニ於テモ貧民ノ救助ハ官ノ經費ノ最大ノ部分ヲ占メタル事實ヲ以テ之ニ答ント欲ス。是等貧民救助ニ要セル費用ハ何レモ租稅ヲ以テ徵收セラレ、而シテ其租稅ハ皆富裕ナル市民ノ懷ロヨリ出テタルモノナリ。近世ノ獨逸ノ主義ハ勞働者ヲシテ自ラ其賃銀ヨリ種々ノ不幸ニ對スル保險基金ヲ蓄積セシメ他ノ救助ヲ假ラスシテ自ラ其不幸ニ備ヘ以テ富裕ナル階級ヲシテ貧民救助ノ爲メ苛重ナル租稅ヲ負擔スルノ必要ヲ免レシメントスルニアリ。余輩ハ今日ニ於テ必シモ強制ノ老年保險若クハ强制ノ疾病又ハ負傷保險ノ制度ヲ勸誘セント欲スルモノアニラス。之ヲ勸誘スルハ尙ホ多少ノ研究ヲ必要トスヘシ然レトモ少ナクトモ英國又ハ米國ニ現存スルカ如キ舊來ノ貧民救助ノ制度カ、獨逸ニ於テ永ク唱道セラレ現ニ實行セラレツヽアル近時ノ保險制度ニ比シテ一層社會主義ノ

分子ヲ含メルコトハ又之ヲ斷言スルニ憚ラサルナリ。

第十節　貯蓄銀行及ヒ公立質店

市立ノ貯蓄銀行

貯金者ノ數

貯蓄銀行ニ關スル諸統計

下層社會ノ利益ヲ保護スルノ厚キ强制相互保險制度ヲ設クルニ至レル社會ニ於テ、曾テハ貯蓄ヲ奬勵シ高利貸ノ害毒ヲ防護スルノ時代アリシハ事理ノ當然ト云フヘシ。市立ノ貯蓄銀行ハ獨逸ニ於テモ重要ナル地位ヲ占メ、殆ト例外ナリ總テノ大市街ニ存在セリ。重ナル都會地ニ於テハ貯金者ノ數ハ市內ノ全家族數ニ超過スルコト少ナカラサルヲ常トス。伯林ニ於テモ亦然リ。或ル市ニ於テハ貯金者ノ數家族數ニ二倍スルモノアルニ至ル。市立貯蓄銀行ノ規則方法ハ其細目ニ於テハ各市ニ依リ頗ル異同アリト雖モ多クハ三朱內外ノ年利ヲ支拂フヲ例トス。大ナル市街ニ於テハ各區又ハ近郊村落ニ數多ノ支局ヲ設ケ以テ貯金者ノ便宜ニ備フル者アリ。例ヘハ伯林ノ貯金銀行ハ七十五以上ノ貯金受取所ヲ有シ、漢堡ハ同ク四十五ヲ有ス。伯林ハ貯金者ノ數四十萬人ニ超エ其貯金總額一億五千萬嗎ニ近シ。漢堡ノ貯金額ハ數年

其最モ著ルシキ一例

其會計ノ管理

公立質店

前一億嗎ヲ超過シ示來益々增額セリ。ドレスデンハ貯金者ノ數殆ト二十萬人ニ近ク、其ノ金額五千萬嗎ヲ超ユルコト大ナリ。ライプチヒ、マグデブルヒ、フランクフルト、アム、マインハノーベル、ケーニヒスベルヒ、及ヒデユツセルドルフモ亦其人口ニ比シテハ其貯金者ノ數及ヒ貯金額ハ驚クヘキホト大ナリ。アルトナ及ヒブレトメンニ至リテハ其統計ハ殆ト信スヘカラサル程ニシテ、アーヘンニ於テハ殆ト總テノ男女老若悉ク貯金通帳ヲ有セサルモノナシ。一千八百九十年ノ年始ニ於テアーヘンノ貯金者ノ數ハ十萬五千人ニシテ其金額合セテ七千五百萬嗎ニ超エタリ。貯蓄銀行ハ市ノ政廳ノ管理スル處ニ係リ其費用ハ極メテ僅少ナリ。其貯金ハ原則トシテ利子附キナル帝國債、國債又ハ市債證書ニ投下セラル。貯金者ニ對シテハ出來得ヘキ丈高利ヲ支拂ヒ僅カニ貯蓄銀行維持ノ費用ヲ餘スニ止ム。貯蓄銀行ノ利益ヲ受クルモノヲシテ主トシテ其設立ノ目的タル階級ニノミ限ラシムルカ爲ニハ多數ノ市ニ於テハ一人ニテ貯金シ得ヘキ最高額ヲ限定セリ。

市立ノ質店（ライホイゼル）(Leihhauser) モ亦獨乙ノ諸市ニ於テハ貯蓄銀行ト等シテ能ク普及

シ中ニハ起原頗ル古キモノアリ。例ヘハアウグスブルヒノ公立質店ハ一千六百一年ニ開カレタルモノニテ、ニュルンベルヒノハ一千六百十八年、漢堡ノハ一千六百五十年ニ開カレシモノナリ。其他ドレスデン、ミュンヘン、ブレスラウ、フランクフルト、アム、マイン及ヒ他ノ小市街ニ於テモ創立以來百年以上ヲ經過シタルモノ甚タ少ナカラス。伯林ノ公立質店ハ既ニ六十年餘ヲ經タリ。ライプチヒ、ケルンストラスブルヒ其他ノ十數市ハ今世紀ノ初期ニ於テ同一ノ業務ヲ開始セリ。之ニ反シテ近時勃興セル多クノ工業市ニ於テハ過去十年若クハ十五年ノ新市政ノ一トシテ此業務ニ着手シタルモノ亦少ナシトセス。從來ノ經驗ハ獨乙ノ諸市ヲシテ充分此業務ノ實行シ得ヘク而モ其貧民ニ與フル利益ノ甚タ大ナルヲ熟知セシメタリ。公立質店ニ關スル現行ノ規則方法ハ多年ノ經驗ニ由リテ定メラレタル所ニシテ、他國ノ注意ニ値スヘキモノナリ質入主ニ對スル貸金ノ利子ノ稍普通ナルハ小額ノ貸金ニ對シテハ月二朱、三十瑪以上ノ額ニ對シテハ月一朱ナリ。サレト或市ニ於テハ其割合ノ頗ル之ヨリ高キモノアリ。

第十一節　教育、財政等

若シ余輩ニシテ獨乙市政事業ノ全般ヲ網羅スルノ意ナラシメハ、余輩ハ猶種々ノ有益ナル事業ヲ叙述セサルヘカラス。例ヘハ火災消防部ノ如キ余輩ハ未タ之ヲ一言セサリキ。火災保險ノ事業モ亦伯林ニ於テハ市ノ行政ノ一部ヲナセルモノナリト雖モ、余輩ハ又之ヲ一言スルコトナカリキ。公園地及ヒ遊歩地ノ重要ナル問題ニ關シテハ余輩ハ唯獨乙ニ於テハ日光空氣ヲ容ルヽカ爲メ空地ヲ備ヘシメ、市ノ區域ヲ擴張シ中央市街ノ密聚ヲ救ハントスル一般趨勢ト共ニ數多ノ小公園地、運動場及ヒ遊歩地ヲ設クルノ必要ヲ普ク認識セラレタルコトヲ一言スルヲ以テ足レリトスヘシ。獨乙ノ諸市中中世ニ於テハ城若クハ壕ヲ以テ繞ラサレタルモノ甚タ多カリシカ、此等ノ城趾ハ近時ニ於テハ廣大ナル並木ノ道路（ブールバール）及ヒ公園地ニ變形セラレ、而シテ此等市街ノ地域ノ擴張ハ此圓周ノ大道路（ブールバール）及ヒ公園地ヲシテ殆ト市ノ中點ニ近カラシメ、其市民ニ與フル利益ハ實ニ測ルヘカラサルモノアリ。獨乙諸市ノ公園地、廣場、

防火及火災保險

公園地

小公園地ノ類

運動法

兒童ノ教育

花園、遊歩地ノ類ハ多クハ甚タ大ナラス。然レトモ其數ハ頗ル夥多ニシテ、又能ク各所ニ分布セリ。伯林ハ其數八十内外ニシテ、漢堡ハ六十ニ超ユ、ミユンヘンハ四十四、ドレスデンハ三十五、ケルンハ三十二、ニュルンベルヒハ三十一、ブルスラウハ二十八、フランクフルトハ二十五、ケムニッツハ二十四、スツットガルトハ十九、ライプチヒハ十八、其餘又之ニ準ス。獨乙ノ諸市ニ於テ無害ナル運動ヲ奬勵シ、体育ノ發達ヲ計ルカ爲ニ取レル稱々ノ方法ヲ叙述スルモ亦頗ル興味アルヘシト雖モ、余輩ハ唯獨乙ノ諸市ガ一般市民ノ幸福ヲ以テ自己ノ責任ナリトスル觀念ニ伴ヒ、運動ノ必要ナル事ニ於テモ亦之レカ注意ヲ怠ルコトナク、人口稠密ナル諸市ニ於テハ斯ノ如キ問題モ亦全ク之ヲ各個人ニ放任スルコトナシト言フヲ以テ足レリトスベシ。

本書ヲ終ルニ臨ンデ余輩ハ唯獨乙ノ諸市カ其總テノ責任中尤モ重要ナルモノニ對シ如何ナル措置ヲ取ルカヲ簡單ニ叙述スヘシ。獨乙ノ諸市カ兒童ニ對スル責任トシテ感スル處ハ現時ノ我米國諸市ノ觀念ニ比スレハ頗ル廣シ。獨乙ニ於テハ教育アルモノニアラサレハ生計ヲ營ムノ困難ナルコト米國ニ於ケルヨリモ遙ニ大ナリ。獨乙帝國ノ有識者ハ普ク獨乙ノ將來カ商工業ニ於テモ軍事若クハ政治上ニ於テモ一ニ最良ナル教育ノ普及ニ繫レルコトヲ認メ、其諸市ハ國ノ教育制度ヲシテ此必要ニ適應セシメンコトヲ勉ム。其初等教育ハ强制シテ之ヲ普及シ、小學教育中ニ多クノ手工及ヒ体育ヲ加ヘ、其他小學教育ノ必要トスヘキ實際ノ目的ヲ達スルコトニ於テハ我米國諸市ニ比スレハ十數年ノ進歩ヲ先キニセル者ナリ。之ニ加フルニ高等ノ教育ニ付テモ亦其設備極メテ完全ニシテ就中工藝其他特種ノ技術家ヲ養成スル者ハ殊ニ能ク整備セリ。例ヘハケムニッツノ如キ工業市ニ於テハ其市内又ハ近郊ニ行ハルヽ工業ニ適當スヘキ實業教育ヲ奬勵シ、以テ其市ノ工業ノ繁榮ヲ保持セリ。獨乙諸市ノ普通教育ノ完全ナルハ主トシテ教育管理者ノ適當ナルニ由ルモノナリ。其教育ヲ管理スルモノハ市ニ於ケル教育上ノ設備ノ全部ヲ管理スル市學務局ノ外、數個ノ地方學務委員會アリテ適當ナル市民ヲシテ其職ヲ奉セシム。是等ノ委員ハ恰モ貧民救助ノ事業ニ關シテ市民ヲシテ委員タラシムルト其性質ヲ等シウスルモノニシテ、伯林ニ於テハ是等ノ名譽アル

市民ノ教育行政ニ與カルモノ其數千人ニ近シ。之ヲ要スルニ少ナクトモ普通教育ノ制度ニ付テハ我米國ノ諸市ハ獨乙諸市ノ行ヘル方法及ヒ其得タル結果ニ依リテ學フヘキモノ、吾人カ獨乙諸市ニ教フヘキモノヨリハ遙カニ大ナリ。吾人ノ將來ノ方針ハ宜ク獨乙諸市ニ倣フヘキナリ。

獨乙ノ市民ハ苛重ナル租稅ノ負擔者タリ。其帝國及ヒ聯邦內各國ノ租稅ハ其軍事費ノ膨脹ニ基キ既ニ頗ル苛重ナレトモ、全ク之ヲ除キテ市ニ對スル租稅ノミヲ算フルモ尙恐ルヘキ巨額ニ達ス。土地及ヒ家屋ハ重稅ヲ課セラレ所得稅ハ國稅及ヒ市稅並ヒ課セラレ其他直接稅若クハ間接ノ消費稅等種々ノ方法ニ依リ全市民ハ其市行政ノ費用ヲ分擔セルナリ。何レノ時、何レノ處、又ハ如何ナル形ニ於テモ租稅ノ負擔ハ人ノ喜ハサル所ナレハ、獨乙ノ市民カ斯ノ如キ重稅ノ負擔ニ對シ其苛重ヲ訴フルモ亦怪シムニ足ラス。然レトモ一方ニ於テハ獨乙ノ租稅ノ負擔者ハ其租稅ノ一「ペンニヒ」トシテ自己ノ利益ニ歸セサルナキヲ知ル。其之ニ依リテ受クル處ノ利益ハ自ラ同一ノ金額ヲ費消シテ得ヘキ結果トハ比スヘクモアラサルコトヲ知ルナリ。市ノ負債總

額ハ極メテ多シト雖モ其負債額ハ殆ト皆ナ生產的ノ事業ニ投下セラレ、是等ノ生產事業ハ當ニ自ラ其費用ヲ償ヒ及ヒ經費ヲ支フルノミナラス、益其純益ヲ增加シ、以テ普通教育等ノ如キ不生產ノ事業ノ爲ニ起サレタル負債ノ大部分ヲ償還シ得ヘキ事各市民ノ期待シ得ヘキ處ナリ。獨乙ノ諸市ハ何レモ其現在ノ負債總額ヨリハ一層高キ市場價格ヲ有スル市有財產アリテ、其財政ハ極メテ安固ナリ。其負債募集ノ原因方法等ハ他國ノ財政家ノ模範ト爲スヘキモノ多シ、其負債ハ以テ彼等ノ先見ノ明ト經濟ノ枝倆トヲ表明シ又以テ永久ニ市民ノ衛生ヲ改良シ其生活ノ程度ヲ高クセルモノナリ。若シ吾人米國人ニシテ獨乙ノ市政ニ對シテ非難ヲ加ヘント欲セハ、吾人ハ先ツ須ラク米國ノ市債カ如何ナル事業ニ依リテ代表セラルヽカヲ調査シ、及ヒ其負債ニ依リテ過去二十五年間ニ於ケル米國諸市ノ財政上如何ナル枝倆ヲ證明シ得ヘキカヲ察セサルヘカラス。

第三章　漢堡市及ヒ其衞生行政

市行政ニ對スル衛生上ノ動機

獨逸ノ諸市ハ近時ニ至ルマテ未タ衛生上ノ行政ヲ以テ市政ノ重ナル事業トヲ爲スニ至ラサリキ。其事業ノ宏大ナルコト彼カ如ク其技倆ノ卓越ニシテ經濟的ナル亦彼レカ如クナリシニ拘ハラス、グラスゴー其他英國ノ數市ニ於テハ市政ノ中點ヲ概ネ衛生上ノ動機ニ發セルニ反シテ、獨乙ノ諸市ハ寧ロ財政ヲ以テ總テノ市行政ノ中心ト爲シタリ。總テノ諸市ニ通シテ斯ノ如キ斷言ヲ爲スハ或ハ早計ニ過クルカ如シト雖モ、一般ニ云ヘハ是レ蓋シ疑フヘカラサル事實ナリシナリ。衛生ノ問題ニ關シテモ學術上ノ研究ニ付テハ世界各國ノ先導タルノ地位ニ在リナカラ數百萬金ヲ投シテ之ヲ實際ニ應用スルニ於テハ獨逸人ハ世界中最モ熱心ナル人民ニハアラサリキ。幸ニシテ彼等ハ世界各國ニ優レテ學術上ノ技倆ヲ有シ、加フルニ又世界中最モ完全ナル行政組織ヲ備ヘタレハ、其欠乏スル處ハ唯之レカ爲ニ市ノ資金ヲ投スルヲ吝マサル決意ヲ爲サシムヘキ動機ナリシノミ。

一千八百九十二年ニ於ケル最終ノ虎列拉病ノ流行ハ即チ之レカ動機ヲ與ヘタルモノナリキ。此時ヨリ以後獨乙全國ノ醫學者及ヒ黴菌學者ハ擧リ立ツテ市政ノ當局者ヲ喚醒シタリ。

一千八百九十二年乃至九十三年ノ虎列拉病ノ鎭壓

一千八百九十三年ノ經驗ハ虎列拉病カ西歐若クハ米國ニ於テハ再ヒ其猖獗ヲ逞ウスルコトヲ得サルヘキコトヲ確メタリ。曾テ世人最大ノ恐怖ノ原因タリシ此流行病ニ對シ近者數年間黴菌學、醫學及ヒ公共衛生學ノ爲シタル戰勝ノ結果ハ最モ光輝アル事業ノ一ニシテ、伯林巴里、倫敦及ヒ紐育ハ堅ク虎列拉病ノ絕滅ヲ保證スルコトヲ得ルニ至レリ。最近ニ於テ最モ虎列拉病ノ苦シムル所タリシチープルス及ヒ漢堡等ノ諸市モ亦今日ニ於テハ再ヒ虎列拉病ノ蔓延ヲ來シ又ハ之ヲシテ市民ノ業務ヲ阻害セシメサラシムルノ設備ヲ完ウスルコトヲ得タリ。故ニ從前西歐及ヒ米國ニ於テ虎列拉病ノ流行ニ伴ヒシ大恐慌ハ今代以後ハ最早過去ノ夢トナリ、偶其特發スルモノアルモ爲ニ社會ヲ動搖セシムルニ至ルコトナキハ堅ク之ヲ保證スルコトヲ得ヘシ。

虎列拉ノ絕滅

歐州カ此等疫軍ノ襲來ヲ免ルヽニ至リシハ言フ迄モナク幸福ナル事實トイフヘシ。虎列拉病ハ感情的ノ病ナリ。他ノ疾病ハ等シク公衆衛生ノ發達ニ依リテ或ル度マテハ豫防シ得ヘキモノニシテ然カモ虎列拉病ヨリハ遙カニ

其結果

伊太利ニ於ケル結果

人命ヲ害スルノ大ナルモノ少ナカラス。然レトモ其害毒ノ及ブ所ハ虎列拉ニ比スレハ隱密ニシテ人ノ感情ヲ動カスコト急劇ナラス。其市ノ財政ニ及ホスノ結果モ亦甚タ遲緩ナルヲ常トス。例ヘハ一般公共衛生ノ不備ニ基ク高度ノ死亡比例ノ如キハ之カ爲ニ市民ノ業務ヲ妨クルコトナク、又上流富裕ノ市民ニシテ死亡ノ危險ヲ感スル者少シ。虎列拉ノ流行ニ至リテハ之ニ反シ商業ヲ妨ケ、富裕市民ノ生命ヲ奪ヒ、其家族ヲ襲ウテ最愛ノ幼兒ヲ奪ヒ去ルコトスラ少ナカラス。チープルスハ久シク衛生上ノ改良ヲ企圖シ居タリシモ一千八百八十五年ノ虎列拉病流行ニ依リテ新ニ之カ動機ヲ與ヘタリシマテハ、何等ノ重要ナル改良ノ行ハレタルモノアラサリキ。此流行ノ結果トシテ行ハレタル改良ハ全ク市街ヲ一新シ、其結果ハ毎年數千ノ生命ヲ救フコトヲ得タリ。蓋シ虎列拉病ニ對スル豫防ノ効果ハ同時ニ他ノ種々ノ原因ニ基ツク死亡ヲ絕滅シ、又ハ之ヲ減少シ得ヘケレハナリ。チープルスノ虎列拉病流行ハ啻ニ其市ニ於テノミナラス、伊太利王國ヲシテ新衛生法律ヲ發布セシメ、又他ノ伊太利諸市ヲシテ種々ノ有益ナル改良ヲ行ハシメタリ。然レトモ

獨逸ニ於ケル結果

一千八百九十二年乃至九十三年ノ虎列拉病流行ノ結果トシテ行ハレッアル衛生上ノ改良ハチープルスノ流行ノ結果ヨリモ遙カニ廣ク歐州ノ全部ニ普及セリ。而シテ中ニ就テ其最モ重要ナル効果ヲ得タルモノハ疑モナク獨乙ニ在リ。

漢堡ノ衛生行政

獨乙諸市ニ於ケル衛生行政ノ進歩ハ最近ニ漢堡ニ於テ完成セラレタル改良ニ依リテ其好適例ヲ見ルコトヲ得ベシ。漢堡ハ一千八百三十一年ヨリ一千八百七十三年ニ至ル間ニ於テ虎拉列病ノ流行ヲ見タルコト十四回ニ達シ、一千八百九十二年ニ至リ再ヒ其大流行ヲ來タセリ。然レトモ其新衛生上ノ設備ニ因リ將來ニ於テハ其流行ヲ免ルヽヲ得ヘキ好望確カナルカ如シ。故ニ余輩ハ本章ニ於テ獨乙ノ新政策ノ模型トシテ稍精細ニ漢堡ノ衛生行政ニ付テ叙述スル處アラント欲ス。蓋シ獨乙ハ啻ニ衛生ノ學理ニ於テノミナラス、又市ノ行政ノ一部トシテ實際ニ此新學理ヲ應用スルノ技術ニ於テモ亦實ニ世界中ノ先導タリ。漢堡ノ衛生行政ハ我米國諸市ノ爲政者ハ勿論苟モ重キヲ市政ニ感スル人々ニ對シテハ頗ル有益ナルモノアルヘケレハナリ。然

レトモ其ノ衛生事情ヲ述フルニ先チテ、少シク漢堡ノ一般ノ地位及ヒ其行政組織ヲ叙述スルモ、亦無益ノ業ニアラサルヘシ。獨乙ノ第二ノ都會タル此大海港ノ政治組織ハ或ル點ニ於テハ注意スヘキコト衛生行政ニモ讓ラサルモノアルナリ。

漢堡ノ事情ニ關シテ一千八百九十二年中米國ノ新聞紙ニ記載シタル所ハ其ノ大多數ハ最モ不當ナル感情ヲ懷キタルモノナリキ。今日ニ於テモ多數ノ米國人ハ此市ニ對シテ全ク誤謬ノ觀念ヲ有スルカ如ク、最近ニ至ルマテ米國人ノ旅客ニシテ此市ノ眞ノ價値ヲ見出セルモノハ寧ロ少ナカリキ。漢堡亞米利加會社（ハンブルグアメリカンコンパニー）ノ滊船ニ依リテ獨乙ニ航スル旅客スラモ直ニ伯林ニ急行スルカ爲ニ、古「ハンザ」同盟ノ自由市府ニシテ獨乙ノ最大海港タル此市ニ就テハ、何事ヲモ知ラスシテ過クルモノ常ナリ。米國ニ於テハ人ハ概ネ此市ヲ以テ多クノ忌ムヘキ移住勞働者ヲ輸出スルノ市トナシ、而シテ恐ラクハ此理由ニ基キテナルヘシ又此ノ市ヲ以テ不潔、密聚、陋隘ニシテ毫モ興味ナキノ市ナリトナセリ。然レトモ是レ事實ヲ遠サカル最モ甚シキモノニシテ移住者カ漢堡ヨリ渡航スルハ猶彼等ノ紐育ニ上陸スルカ如シ、二市共ニ其國ニ於ケル最大ノ海港ナレハナリ。漢堡ヨリ出帆スル船舶ハ何レノ處ニモ趣カサルナク、其海渠及ヒ港灣ノ工事ハ注意深キ旅客ノ熱心ナル賞嘆ニ値ヒスヘキモノアリ。世界中又之レニ比スヘキモノナク、リバプールノ工事モ之ニ比スレハ遙ニ劣レリ。最近數年間ニ於テ此海港ノ改良ノ爲ニ費サレタル資金ハ帝國ノ國庫及ヒ市ノ支出ヲ合セテ其額殆ト八千萬圓ニ近シ。其工事ノ偉大ニシテ便宜ノ整ヘルコトハ紐育ヲシテ全ク顏色ナカラシムルニ至レリ。

漢堡ハ其外觀ニ於テハ伯林ヨリモ一層壯嚴ニシテ風光亦明美ナリ。漢堡ヲ巡遊スルコト數日ニシテ大帝都ニ至レハ其變化ナキ風景ハ人ヲシテ寧ロ倦マシムルモノアリ。漢堡ノ建築ハ中古ノモノト近世的ノモノト極メテ能ク調和セラレ、旅客ノ快感ヲ起サシムルモノ甚タ多シ。多クノ街衢ニ於テハ十六世紀及十七世紀ノ古「ハンザ」商人ノ破風形材木建、小窓付ノ家屋ノ古風ノ儘ニ現存セルモノアリ。而カモ市街全体ノ建築ハ明カニ近世的ナリ。其中央區域ノ大部分ハ一千八百四十二年五月ノ有名ナル大火事ニ依リテ燒キ拂ハ

商業市トシテノ漢堡

漢堡ノ外觀ノ美

其市街

一國トシテノ漢堡

レ、其燒跡ニハ整畫ナル市街ヲ造リ及ヒ近世的ノ家屋ヲ建築セリ。其市街ハ決シテ陋隘密聚ナルモノニハアラスシテ、却テ米國ノ重ナル市街ニ於ケルヨリモ、頗ル廣キ數多ノ並木道アリ。市ノ中央ニハ大ナル公園地及ヒ池ヲ備ヘ、其周圍ニハ廣大ナル遊歩地アリ。其他運動ノ方法備ハラサルナシ。是等ノ遊歩地ハ往時ノ城廓ノ地ニ代ハレルモノナリ。漢堡ノ人口ハ六十萬人ニシテ其商業ハ世界各國ト交通至ラサルナク、其商人ノ業務ニ熱心ナルハ殆ト他ニ類ナク、其近郊ニハ美麗ナル前莊地アリ、而シテ、其歷史ト傳說トハ人ヲシテ其古代ノ榮華ヲ思ハシムルモノアルナリ。

漢堡ノ政治上ノ地位ハ紐育市民ノ羨望ニ堪フヘキモノアリ。漢堡ハ一市ヲ以テ一國ヲ爲セルモノニシテ、其行政組織ハ恰モ其事情ニ適應セリ。漢堡ノ行政ニハ之レヲ監督スル州政府若クハ縣知事ノ干涉アルコトナク、國ノ政府又ハ國ノ立法議會ノ其警察事務ヲ指揮シ、財政ヲ監督シ、其組織又ハ法制ヲ左右スルモノナシ。漢堡ハ自ラ獨乙帝國聯邦ノ一國タルコト恰モロードアイランドカ米合衆國ノ一國タルカ如シ。而シテロードアイランドノ如ク其內

國ノ立法議會ハ同時ニ市ノ市會タリ

其面積

行政區畫

政ニ關シテハ完全ナル主權ヲ有スル一共和國タルナリ。然レトモロードアイランドナルプロヴィデンスノ市民ハ國ノ政府縣廳及ヒ市ノ政廳ニ依リ三重ノ權力ニ服從ス、其市ノ行政ハ常ニ國ノ議會ノ討議スル處タリ、各議會開期ニ於テ市行政ニ關スル種々ノ特別法ノ發布セラレサルナシ。漢堡ノ政府ハ之ニ反シテ唯一不可分タリ其立法機關ハ國ノ立法部タルト同時ニ其市會タリ。其ノ市役所ハ又同時ニ國ノ政府タルナリ。漢堡ト雖モ其國ノ區域カ全ク市ト相等シキニアラス。國トシテ其面積百五十八方哩（市加俄ヨリ少シク小ナリ）ニシテ、市トシテハ其面積千八百九十四年六月ノ改正法律ニ依レハ七千六百六十五「ヘクトエークル」即チ三十方哩ノ區域ヲ包含スルニ過キス。然レトモ一千八百九十五年ノ年始ニ於テ市ノ人口六十萬人ニ對シ、殘餘ノ地域ハ其全部ヲ合セテ僅カニ五萬人アリシノミ、而モ其過半ハ市ノ直接ノ近郊ニアリキ。漢堡國ノ地域ハ全部相連結セルモノニアラス、其一部ハ市ヲ距ルコト略〻七十五哩ナル「エルベ」河ノ河口ニ在リ、クックスハーヴエンヲ以テ其海港ト爲セリ。然レトモ全地域ノ略〻三分ノ二即チ百方哩餘ハ「エルベ」ノ北岸市ヨリ容易ニ達シ得ヘ

中央政府ノ組織

「ハンザ」ノ遺跡

キ地ニ在リ。市外ノ全地域（「ランドベ（ラントヘルレ）」）ハ之レヲ四ノ私領區（「ランドヘルレ（ゾシヤフテン）」）ニ分ツ。其ノ他微細ナル地方事務ニ付テハ更ニ之レヲ殆ト四十ニ近キ町村ニ區劃セリ。然レトモ全漢堡國ニ通スル重ナル利害ハ中央政府カ直接ニ之レヲ支配シ、而シテ此中央政府ハ亦自ラ直接ニ市ノ一切ノ事務ヲ管掌セルナリ。

此中央政府ノ組織ハ稍複雜ナリト雖モ、其根本ノ性質ニ於テハ甚タ單純ナリ。即チ公選ニ依ル一大議會ト常任ナル執行官府トヲ備フルノ點ニ於テハ、漢堡ノ政府モ亦他ノ獨乙諸市ト異ナルコトナシ。然レトモ漢堡ノ制度ハ中世紀ニ於テ「バルチック」海及ヒ北海ノ通商ヲ壟斷シ、封建制度ト戰テ遂ニ其滅亡ヲ原因スルニ至リシ有名ナル「ハンザ」同盟ノ覇主タル自由市府トシテ數百年間多事ナル歷史上ノ沿革ニ基ッキ他ノ諸市ニ類ナキ數多ノ特色ヲ備フ。其ノ中古ニ於テ彼レカ如キ主要ナル地位ヲ有シタリシ結果ハ今世紀ニ至リテ猶往時ノ權力ノ跡ヲ遺シ、近世市政ノ複雜ナル事務ニ對シテモ亦古來ノ餘勢ヲ存セリ。

漢堡（フライエ、ウント、ハンゼ、スタット、ハンブルヒ）ノ自由「ハンザ」市ー是レ此共和國ノ公ノ名稱ナリーノ政府ノ中心タルモ

公民會ノ組織

市行政廳ニ於ケル商人ノ勢力

元老院ノ組織

ノハ百六十人ノ議員ヨリ組織セラルヽ公民會（ビュルガルシャフト）ナリ。議員中其二分ノ一即チ八十人ハ均一ノ選擧權ヲ以テ納稅者タル總テノ男子ナル臣民ヨリ之レヲ撰擧ス。租稅ハ普ク各人ヨリ徵收スルカ故ニ撰擧權ヲ有セサルモノハ唯窮民若クハ無宿者ノミナリ。殘餘ノ八十人中四十人ハ漢堡市內ノ家主ヨリ秘密投票ヲ以テ之レヲ撰擧ス。他ノ四十人ハ稍複雜ナル慣例ニ基キ、裁判官其他國ヨリ特別ノ尊號ヲ與ヘラレタルモノ及ヒ或ル種ノ同業組合其他ノ組合團体ノ社員等ノ特別ノ撰擧權者ヨリ之レヲ撰擧ス。斯ノ如ク公民會ハ一方ニ於テハ一般市民ノ利害ヲ代表シ、一方ニ於テハ財產及ヒ商業上ノ利害ヲ代表スルモノナリ。蓋シ漢堡ハ純然タル商業市ニシテ、港灣又ハ取引所ニ關係ヲ有スルモノハ公民會ニ於テモ最モ勢力ヲ有セリ。公民會議員ハ任期ヲ六年トナシ、毎三年ニ其半數ヲ改撰ス。議員ニ當撰シタルモノハ其當撰ヲ辭シ、又ハ任期中退職スルコトヲ得ス。

漢堡ノ執行官府タルモノハ十八人ヲ以テ組織セル元老院（セナート）ニシテ、其任期ハ終身トシ、公民會之ヲ選擧ス。此等ノ十八人中其九人ハ法律學又ハ財政學（カメラール、ウイツセンシャフト）

ノ教育ヲ受ケタルモノナルコトヲ要シ、其餘ノ九人中七人ハ漢堡商人組合（カウフマンシヤフト）ノ一員ナルコトヲ要ス。元老ノ選擧ニ當レルモノハ其當選ヲ拒辭スルコトヲ得スト雖モ、在職六年ノ後ハ任意ニ辭職スルコトヲ得。漢堡ノ元老院ハ多ク其性質ノ點ニ於テ伯林其他諸市ノ市參事會（マギストラート）ニ類似セリト雖モ、稍之ト沿革及ヒ性質ヲ異ニセルモノナルコトハ明瞭ナリ。其性質ハ執行官府ヨリハ寧ロ立法議會ノ上院タルニ近ク、高給ヲ受クル文官ノ集合ニハ非ラスシテ、寧漢堡市内ニ最モ勢力ヲ有スル階級ヨリ其ノ最モ俊秀知名ノ士ヲ選擧シタル會議タルノ性質ヲ有ス。公民會及ヒ元老院ハ多クノ事務ニ關シテ合同シテ會議ヲ開ク元老院ハ其各員中ヨリ二年ノ任期ヲ以テ市長（ビユルゲルマイステル）及ヒ市長代理者各一人ヲ互選シ、何レカ一人其會議ノ議長トナル。元老院ハ通常法律ヲ公布シ及ヒ法律案ヲ公民會ニ提出スルノ職務ヲ有ス。憲法上法律制定ノ任ニ當ルモノハ公民會ナリ。元老院ハ其議決ニ對シテ之ヲ再議ニ付シ及ヒ之ヲ否認スルノ權ヲ有ス。但シ租稅其他ノ收入ニ關スル事項ハ此限ニアラス。二院ノ間ニ一致ヲ得サルトキハ二院共同ノ協議會ニ於テ之ヲ決定シ、其憲法上ノ問題ニ關

其性質

市長

公民會ト元老院トノ關係

スル場合ニ於テハ、ライプチヒナル帝國大審院ノ裁定ヲ乞フコトヲ得。公民會ハ二十人常任委員ヲ撰擧シ、之ヲシテ行政ノ全部ヲ監視シ之ヲ全會議ニ報告セシム。

市ノ執行府

行政ノ各種ノ事務ニ關シテハ、元老院ノ監督ノ下ニ數多ノ局アリ、元老一人其各局ノ長トナル。各局ノ局員タル市民ノ撰任ニ付テハ公民會及ヒ元老院共同シテ之ヲ行フ。例ヘハ衛生行政ハ衛生局（メデチーナルコレギウム）ニ於テ之ヲ管掌シ、元老ドクトルハツチマン氏其局長タリ。此局ノ下ニ於テ又數多ノ分課アリテ多クノ有給ノ吏員ヲ置ク。土木局（バウ、デプタチラン）ハ地上若クハ地下ナル總テノ工事ヲ監督スルモノニシテ數多ノ土木技師、機械工學者等ヲ使用ス。警察局（ポリツアイベヘールデ）ハ又他ノ一局ヲ爲シ警察事務ニ關スル廣キ職權ヲ有ス。其他教育局アリテ又他ノ一ノ元老ヲ以テ其長トナシ、普通及ヒ高等ノ學務ニ付テ之ヲ管掌ス。救貧局（アールメンデプタチン）モ亦同樣ノ組織ヲ有シ、余輩カ伯林市ニ付テ述ヘタルト同樣ノ救貧事務ヲ行フ。監獄（グフエンニスデプタチナン）局ハ刑事ノ行政ヲ掌リ、埠頭行政（クワイフエルワルツング）及ヒ港灣行政（ハーフエンフエルワルツング）ハ海渠港灣及ヒ埠頭ニ關スル行政ヲ掌リ。墓地局（フリードホーフスデプタチナン）ハ市有ノ墓地ヲ管理シ、其他猶數多ノ局ア

衛生

土木

警察

教育

其他種々ノ部局

ヲ元老院ノ監督ヲ受ケ、元老ヲ以テ其各局ノ長トナシ、以テ行政各部ノ事務ヲ執行セルナリ。是等數多ノ局中其尤モ重要ナルモノハ恐ラクハ市及ヒ國ノ財政ヲ管掌セル財政局（フイナンツデパタチオン）ナリ。

完全ナル自治

斯ノ如クシテ所謂地方自治ハ漢堡ニ於テハ何等ノ制限ヲ受クルコトナク最モ完全ナル意義ニ於テ行ハレツヽアルナリ。固ヨリ漢堡モ亦獨乙聯邦ノ一員トシテ帝國ニ對シテハ從屬ノ關係ニ在リト雖モ、其完全ナル一共和國タルニ於テ毫モ瑞西ノ一州（カントン）又ハ米國ノ一州（スデート）ト異ナルコトナシ。市ハ何時ニテモ何等ノ上級官廳ノ干渉ヲ受クルコトナクシテ、自己ノ欲スル儘ニ其組織ヲ更新スルコトヲ得ヘシ。現ニ一千八百六十年ニ其全部ノ改正ヲ行ヒ、一千八百七十九年ニ又重要ナル改正ヲ加ヘ、一千八百九十四年ニ於テモ又小改正ヲ加ヘタリ。斯ノ如キ完全ナル自主權ハ言フ迄モナク漢堡ノ市タルト同時ニ一國タルノ事實ヨリ生スルノ結果ニシテ、通常ノ地方團体タル市ニ於テハ、如何ニ此ノ如キ廣汎ナル自治ノ權能力望マントハ云ヘ、國家ハ固ヨリ其主權ヲ保持セザルベカラズ。然レトモ若シ二三ノ大都會殊ニ紐育（ニユヨルク）ノ如キ市ニ於テ

他ノ「自由市府」

ブレーメンノ行政組織

若シ獨立ノ國家タル地位ニ上ルヲ得、自己ノ立法議會ヲ有シ之ヲシテ同時ニ市會ノ職務ヲ行ハシムルニ至ルノ日アラバ、市ノ爲ニ實ニ幸福ナリト云フベシ漢堡ノ組織ハ事情ノ異ナルニ應シテ多少ノ變更ヲ加ヘテ之ヲ將來ノ大紐育市ニ適用スルニ依リ市ノ利益ヲ與フルコト極メテ大ナルヘシ。

然レトモ獨逸ニ於テハ漢堡市ヲ以テ一國ヲ爲セル唯一ノ事例ニアラス。之ト同樣ノ地位ヲ傳來セルモノ尚他ニ二市アリ。他ノ二市トハ即チブレーメン及ヒリウベック是ナリ。フランクフルトアムマインモ亦一千八百六十六年マテハ自由市ナリシガ、同年幸漏西ノ併合スル所トナレリ。ブレーメンノ自由市ハ其領域九十九方哩ニシテ、市ハ其内十方哩ヲ包含ス。其總人口ハ二十萬人ニ近ク、其内殆ト四分ノ三ハ市内ニ居住セルモノナリ。然レトモ其政府ハ市ト國トニ共通シテ唯一ナルコトハ漢堡ニ同ジ。ブレーメンノ公民（ブユルゲルシヤフト）會ハ百五十人ヲ以テ組織シ、其内十四人ハ大學ノ教育ヲ受ケタル市民中ヨリ撰擧シ四十二人ハ商人ノ組合ヨリ、二十二人ハ職工其他勞働者ヨリ撰擧ス、而シテ殘餘ノ七十二人ハブレーメンノ總テノ納稅者ヨリ之ヲ撰擧スルナリ。

納稅者ノ大數ハ勞働者ナリ。元老院（セナートル）ハ漢堡ト同シク行政執行ノ監督ニ任スルモノニシテ、其議員ハ十六人、其内十人ハ法律家ナルコトヲ要ス。行政執行ノ重ナル事務ハ十二省ニ分割シ、各省元老ヲ以テ其長トナス、其組織ハ漢堡ニ於ケルト略々相類ス。

リューベックノ組織

リューベック（ハンザ市）ハ其組織頗ル漢堡ニ類シ、唯其公民會（議員數百二十人）ノ選擧ハ全ク總テノ市人ノ均一ノ投票ニ依リ、特種ノ階級ニ特別ノ選擧權ヲ與フルコトナシ、其内六人ハ法律家、五人ハ商人タルコトヲ要ス。行政各部ノ組織ハ略々漢堡ニ等シ。元老（セナートル）十四人ハ終身ヲ以テ之ヲ選擧ス。

プレーメン及ヒ漢堡ノ財政

リューベック（リュウベック）ノ全地域ハ百十五方哩ニシテ市ハ其内十二方哩ヲ占メ其人口ハ全部ノ八分ノ七ヲ包含ス。市ノ人口ハ一千八百九十五年ノ年始ニ於テ殆ト七萬人ナリキ。此數ハ一千八百七十年以來略二倍シタルモノナリ。市以外ノ人口ハ同年月間一萬人乃至一萬二千人ノ間ニ停止シ多クノ增減ヲ見ス。

此等三自由市ノ財政ハ其市民中ノ最モ俊秀ナル士ニ依リテ管理セラル。

プレーメンノ負債ハ殆ト一億瑪ニ近ク、市ノ割合ニハ頗ル巨額ナリ。サレト

其市ヲシテ獨乙第二ノ海港トシテ外國貿易ノ一大中心タルノ地位ヲ有セシムル宏莊ナル築港工事、臨海停車場、其他ノ多クノ事業ハ能ク此巨額ノ負債ヲ代表セルモノナリ。漢堡ノ負債ハ一千八百九十四年ニ於テ三億二千七百萬瑪ノ少シク以上ナリキ。此内大部分ハ最近ノ港灣改良工事ノ爲ニ費サレタルモノニシテ、其餘ノ部分ハ他ノ種々ノ有益ナル事業ニ依リテ容易ニ其正當ナルヲ證明スルヲ得ヘシ。

「エルベ」河ト漢堡ノ給水

漢堡ノ生命ハ實ニ「エルベ」ノ大河水ニ在リキ。然レトモ「エルベ」河ハ通商交通ノ最大機關トシテ生命ヲ漢堡ニ與ヘタルト共ニ、亦死亡ヲモ之ニ與フルノ原因ナリキ。漢堡ノ市民ノ飲水及ヒ家族ノ用水ハ總テ「エルベ」河水ヨリ供給シタリシカハ、其衛生ニ危險ナルハ人ノ久シク認ムル處ナリシモ、最近ニ至ルマテハ種々ノ事情ニ由リ給水問題ノ最後ノ解答ヲ與フルニハ至ラス、千八百七十年代ノ初ニモ、精細ナル調査ノ末「エルベ」河水ヲ濾過スルコト適當ナリトノ報告ヲ得タリシカ、反對論ノ起ルモノアリテ荏苒決セス、遂ニ何事ヲモ爲サスシテ止ミキ。漢堡カ新獨乙帝國ニ加ハリ、更ニ進ンテ獨乙關稅同盟ニ加ハル

ニ及ヒ、市ノ行政ハ專ラ港灣ノ改良ニ集中シタリシモ、此間給水問題ニ關スル學術上ノ研究モ亦毫モ之ヲ怠ルコトナク、而シテ市ノ新ニ得タル重要ナル地位ハ其實行ニ對シテ新ナル動機ヲ與フルニ至レリ。

新濾水工事

一千八百九十年ニ至リ遂ニ「エルベ」ノ河水ヲ濾過シテ總テノ目的ニ對スル用水ノ供給ニ充分ナル水量ヲ得ヘキ大計畫ノ實行ニ着手スヘキ決定ヲ爲シタリ。工事ノ任ニ當レル市ノ技師ハ一千八百九十四年ヲ以テ其濾水器械ヲ完成シ之ヲ使用ニ供スルヲ得ヘカラシムルコトヲ約シタリシカ、虎列拉病ノ流行ハ頻リニ其工事ヲ督勵セシメ、一千八百九十三年五月、豫定ノ期限ニ先ツコト殆ト一年ニシテ新設備ノ完成ヲ見ルニ至レリ。

當時ノ給水工事

「エルベ」ノ下流凡ソ七十五哩ハ北海ノ海水ノ浸入ヲ受ケ、其潮水ノ干滿ハ漢堡ニ於テモ猶頗ル著シク、其市ノ下方、海ニ向ヘル側ニ於テハ干滿數尺ノ高キニ及ヘリ。「エルベ」河ノ流レハ北ニ向ッテ下レルモノニシテ舊時ノ揚水器械ハ市ノ南端ニ据付ケラレタリ、是レ上ケ潮ノ影響ナリ隨テ海水ノ汚染ヲ受ケサル上流ヨリ河水ヲ引揚ケント欲シタルニ因ル。吸水器ハ恰モ大揚水場及ヒ之ニ連レル貯水池ト相對シテ河ノ中流ニ据エ付ケラレ、之レニ由リテ以テ全市ノ用水ヲ供給シタルナリ。サレト事實ニ於テハ吸水器ヲ据エ付ケタル場所ハ上ケ潮ノ影響ヲ受ケサルホトノ上流ナルニアラス、其吸入スル所ノ河水ハ港内及ヒ下流ノ惡水ニ汚毒セルヲ免レサリシナリ。

其衛生上ノ危險

斯ノ如キ組織ノ如何ニ衛生ニ危險ナルカヲ知ルニハ、先ツ漢堡ノ總テノ下水ハ皆ナ悉ク「エルベ」河中ニ放流セラルヽモノナルヲ記憶セサルヘカラス。之ニ加フルニ港内ニ於ケル船舶ノ輻輳、埠頭、倉庫及ヒ工場ノ群集ニ依リ港内ノ海水ノ汚穢ナルハ言語ニ絶スルモノアリ。漢堡ノ下水組織モ亦決シテ不良ナルモノニ在ラス、家屋ハ總テ地下ノ下水道ニ連結シ、相集テ數個ノ大集水管ニ合シ、是等ノ集水管ハ亦相合シテ一大下水道ニ注流シ、此大水道ニ依リテ總テノ惡水ハ市ノ下方ニ於テ河ノ中流ニ放流セラルヽナリ。其下水ヲ流出スル管口ハ上ケ潮時ニハ堅ク閉サレ、以テ下水ノ逆流ニ依リ港灣及ヒ漢堡市中ヲ縱橫ニ貫通シテ之ヲシテペニスノ如クナラシムル數多ノ支流ヲ汚染セサラシメントセリ。下水道ノ管口ハ唯下ケ潮時ニノミ開カレ、下ケ潮ノ勢ト通

漢堡ノ下水

常ノ流勢ト相合シテ速ニ之ヲ海中ニ注流スルナリ。

然レトモ是レ決シテ完全ナル方法ナリト云フコトヲ得ス。何ントナレハ「エルベ」ノ河口ハ其幅頗ル廣シトハ云ヘ、其河岸ナル漢堡及ヒアルトナノ二市ノ繁榮ナル、其放流スル惡水ノ水量ハ極メテ夥シク、下ケ潮時ノミニ之ヲ放ツノ方法ハ、未タ完全ニ下水ノ逆流ヲ妨止スルニ足ラス、加之ナラス假令漢堡ニシテ全ク自ラ之ヲ汚毒スルコトナシトスルモ、「エルベ」ノ河水ハ決シテ清淨ナルモノニアラス、何ントナレハ其河流ノ兩岸ニハ他ニ數多ノ町村アレハナリ。サレハ漢堡ハ早クヨリ下水ノ逆流ヲ受ケサルコトヲ保證シ得ヘキ丈ノ上流ニ其吸水器ノ位地ヲ改メサルヘカラサリシモ、一千八百九十二年ノ虎列拉流行ノ時ニ於テハ猶舊時ノ吸水器ヲ用キテ、上ケ潮時ニ於テハ慥ニ港ノ惡水及ヒ市ノ下水ノ幾部分ヲ吸入シ居タリ、故ニ新給水工事ニ於ケル最モ主要ナル點ハ舊時ノ吸水器ヨリハ更ニ數哩ヲ距テタル上流ニ吸水管ヲ延長シタニアリキ。此工事ハ頗ル巨額ノ費用ヲ要セリ、之レ新吸水管ハ水底ヲ穿チテ築造スルコトヲ要シタルニ由ル。

「エルベ」河水ノ汚毒ナルコト

新吸水器

然レトモ漢堡ノ新給水工事中最モ興味アル部分ハ言フ迄モナク其濾過方法ニアリ。此器械ハ古來同種ノ器械中最モ大仕掛ニ且ツ最モ能ク成功シタルモノナリ。漢堡ハ其位置惡シキカ爲メ飲水ノ供給ヲ「エルベ」河ニ取ルコトハ事實避クヘカラサル所タリ、チープルスハ誰也納ミユンヘン及ヒグラスゴートト同シク純潔ナル高山ヨリ充分ナル水量ヲ得ルコトヲ成功シタルモ、漢堡ハ海邊ニ近キ平原ニアルカ故ニ山中ノ水源ハ到底之ヲ得ルニ由ナシ。米國ニ於テモ河岸ニ沿ヘル諸市ノ其用水ヲ不潔ナル河水ヨリ取ルノ已ムヘカラサルモノ少ナカラス、是等ノ諸市ニ對シテハ濾水方法ノ完成ハ極メテ偉大ナル關係ヲ有ス、殊ニミニヤポリスヨリ以下ニユーヨルレアンスニ至ルマテノミシシッピ河岸ノ諸市ハ最モ之カ注意ヲ要スヘキナリ。若シ「エルベ」及ヒ「ライン」ノ河水ニシテ全ク清淨ナラシムルヲ得ヘシトセハ米國ノ諸川ハ同樣清潔ニ濾水セラレ得ヘキコト論ヲ俟タサルナリ。

河水ノ濾過法

新濾水工事ノ略叙

漢堡市及ヒ其衛生行政

漢堡ノ設備ノ大体ヲ叙述スルハ容易ナリ。「エルベ」ノ河中ニハ二ノ島嶼アリ狹キ堤防ヲ以テ之ヲ連結シ、其位置ハ舊給水工事ノ近傍ヨリ起リテ、上流凡ソ

二哩ノ地ニ至レリ。二島中上ナルモノヲピルヴエルデル島ト云ヒ、其面積他一島ヨリモ大ナリ。新吸水器ノ管口ハ此島ヨリモ稍上流ニ在リ。吸水管ハ其直徑略十呎ナリ。此島ニ四個ノ大ナル貯水池ヲ築キ、各貯水池ノ容量ハ略全市ニ對スル供給ノ一日ノ量ニ等シカラシム。此島ノ上ニ又新ニ喞筒器械ヲ据付ケ、之ニ依リテ河水ヲ是等ノ貯水池ニ引キ揚ク。四ノ貯水池ハ循環交替シテ之ヲ使用ス。是レ實驗上二十一時間前後靜カニ水ヲ沈澱セシメタル後チ使用スルニ依リ、最良ノ結果ヲ得ヘキコトヲ明カニシタルニ由ルナリ。貯水池ハ堰及ヒ辨ノ作用ニ依リ個々別々ニ使用スルコトヲ得ヘカラシム。即チ第一ノ貯水池カ市ノ供給ニ充ル爲メ濾水池ニ水ヲ送リツヽアル間ニ、第二ノ池ハ水ヲ以テ充タサレ、一日間靜カニ閉サレ其不潔物ヲ沈澱セシム。第三ノ池ハ吸水器ヨリ喞筒ヲ以テ水ヲ引入レツヽアリ、而シテ第四ノ池ハ全ク空虛ニシテ磨キ清メラレツヽアルナリ。第一貯水池ヨリ水ヲ供給シ、盡シタル後ハ之ヲ閉シテ其掃除ヲ行ヒ、而シテ其代リニ第二ノ池ヲ濾水池ト連結シ第三ノ池ハ滿量ノ水ヲ以テ靜カニ閉サレ、第四ノ池ハ其掃除ヲ終リテ河ヨリ

供給ヲ受ケツヽアルナリ。斯ノ如ク循環ハ絶エス行ハレツヽアリ。各貯水池ハ其表面ニ於ケル面積略二十五「エークル」ナリ。

吸水器ノ管口ニハ堅固ナル鐵網ヲ設ケ、以テ大ナル他物ノ侵入ヲ防クヲ得セシメ而シテ濾水池ニ送ルノ前先ツ水ヲ貯水池ニ沈澱セシムルニ由リ、又砂及ヒ泥ノ類ヲ取除シコトヲ得レトモ、衛生上ノ點ヨリ云ヘハ單ニ一日間貯水池中ニ靜止スルコトハ固ヨリ重要ナル結果ヲ得ヘクモアラス。其驚クヘク結果ヲ成功シ得タルハ言フ迄モナク專ラ濾水池ノ作用ニアリ。

濾水池ハ二島中下流ニアルモノ、即チカルテホーフエニ在リ。此島ハ舊給水工事ニ近接シテ其上流「ニルベ」ノ東岸ローテンブルヒ村ニ接ス。其長サハ略四分ノ三哩、其幅四分ノ一哩ナリ。島ノ大部分ハ規則正シク整列セル方形ノ池ヲ以テ覆ハル。其池ハ各表面ニ於テ七千五百方「メートル」即チ略二「エークル」ノ面積ヲ有ス。是等ノ貯水池ハ其數二十二ナリ。其機械ノ搆造ヲ說明スルハ工學上ノ智識ヲ要スルヲ以テ、茲ニハ唯其大体ノ作用ヲ述フルヲ以テ足レリトスヘシ。其根本ノ理論ニ於テハ決シテ新ナル發明ニ非ラス。砂濾ノ

濾水法ハ漢堡ノ發明ニ非ラス

法ハ或ル程度マテハ既ニ久シク實行セラレタルモノニシテ漢堡ト相對シテ海ノ側ニ在リ、實際ニハ大漢堡ノ一部ト看做スコトヲ得ヘキ人口十五萬人ナル繁盛ナルアルトナノ市ニ於テモ三十年來「エルベ」ノ河水ヲ飲用スルカ爲メニ砂濾ノ法ヲ用キ居リ、伯林モ亦其飲水ノ一大部分ヲ砂地ノ濾水地ニ依リテ濾過セリ、倫敦ノ給水會社モ亦此法ヲ用キテ能ク成功シ、其他ノ諸市モ亦此濾水法ニ關シテ多少ノ經驗ヲ有セリ。

濾水池ノ構造

サレハカルテホーフェナル漢堡ノ設備ノ有名ナルハ決シテ其方法ノ新ナルニ依ルニ非ラスシテ、舊來ノ方法ヲ他ノ諸市ニ於ケルヨリハ遙カニ大仕掛ニ遙カニ完全ニ實行シタルト、病源ニ對スル濾水ノ效果ニ對シ極メテ精密珍奇ナル研究ヲ遂ケタルトニ在リ。

カルテホーフェノ濾水池ハ其構造ノ精巧ナルコトビルヴェルデル島ノ大貯水池ノ如ク、粘土「コンクリート」煉瓦、及ヒ「セメント」ヲ以テ堅ク塗リ上ケ、其池底ニハ數多ノ大鉄管ヲ横ヘ之ニ無數ノ穴ヲ穿ツ。池壁及ヒ鉄管ニシテ出來上カレハ、次ニハ濾水ノ仕掛アリ。先ツ其最下層ニハ精シク選ミタル小石ノ層アリ、池底ヲ覆フコト深サ凡ソ八吋ハカリ。其上ニハ之ヨリモ一層微細ナル小石（メラプエル）ヲ重ヌ、其深サ亦八吋前後ナリ、其上ニハ稍荒キ砂礫ヲ重ヌ深サ一「メートル」（略四十吋）ナリ。此等ノ三層ノ上ニハ濾水ノ最モ重要ナル要素トシテ、微細ノ砂ヲ重ヌ、其深サ一「メートル」（略四十吋）ナリ。濾水ヲ行フ間ニハ水ハ一「メートル」ノ砂ノ上ヲ恰モ一「メートル」ノ深サヲ保タシムル是ハ微妙ナル自動器機ノ仕掛ニ依リテ、水ノ出入ヲ整ヘ、終始不動ノ深サヲ保タシムルヲ得ルナリ。此等ノ器械ノ作用ヲ一々說明スルハ本書ノ範圍以外ニ屬ス、一言シテイヘハ喞筒器械ハ以テ貯水池ニ水ヲ引揚クルノ作用ヲ爲シ、濾水池ハ以テビルヴェルデル島ヨリ送ル水量ヲ受ケテ、之ヲ清潔ニスルノ作用ヲ爲シ、而シテ本土ナル「ローテンベルグスオルト」ノ舊給水工事ハ濾水池ヨリ送ル淨水ノ供給ヲ受ケ、之ヲ全市中ニ給配スルノ作用ヲ爲スナリ。

各部ノ作用

以上ノ如キ設備ハ其完成ノ上ハ最早注意ヲ要セサルモノニハ非ラス。濾水池ハ絶ヱス之ヲ檢査シ、時々其使用ヲ廢シ、其水ヲ空虛ニシ、之ヲ清潔ニスルコトヲ要ス。濾水池ノ近傍ニハ砂及ヒ小石ヲ清潔ニスヘキ機械ノ備付ケアリ。通常ハ上層ノ砂二三吋ノミヲ取リ去リ、之ヲ清ムルヲ以テ足レリトシ、其餘ハ

濾水池ノ掃除

總テ其儘ニ放置スルナリ。悉ク砂ノ中ナル不潔物ヲ取リ去ルコトハ却テ甚タ不可ナリ。濾水ヲシテ最モ完全ナラシムルニハ砂ノ中ニ多少ノ不潔物ヲ現存セシムルコトヲ要ス、何ントナレハ濾水ノ主タル目的ハ徽菌ヲ取リ去ルニアリテ、而シテ此等ノ徽菌ハ唯顯徽鏡的試驗ニ依リテノミ其存在ヲ知ルコトヲ得ヘク、最少ノ針ノ頭ニ數千萬群集スルモ狹キヲ感セサルホトノ徽細ナルモノナレハ、通常ノ砂又ハ小石ヲ以テ之ヲ遮キラントスルコトハ殆ト思モ寄ラス之ヲ遮キリ止メ水ヲシテ清潔健康ナラシムルモノハ、砂又ハ小石ノ間ニ挿マリテ其空虛ヲ充塞セル不潔物ニ在ルナリ。

是レ決シテ想像ニ出テタルニアラス、又一時ノ疑ハシキ試驗ノ結果ニモ非ラス。漢堡ノ濾水法カ「エルベ」河水中ノ徽菌ニ及ホス效果ハ絕エス精密ナル試驗ヲ加ヘラレツヽアリ、全濾水ノ設備ハ一千八百九十三年以來ハ主トシテ虎列拉徽菌ヲ「エルベ」河水中ヨリ除カンコトヲ以テ其目的ト爲セルモノニシテ、此目的ノ爲メ市立ノ衛生試驗所ヲ設立シ、其所長ハ殆ト無限ノ權力ヲ與ヘラレタリ。一千八百九十二年ノ虎列拉流行ニ際シ、有名ナルギイッセン大學ノ

敎授ガフキー氏ハ、一時衛生事務ノ指揮ノ囑託ヲ受ケテ漢堡ニ來リシカ、氏ハ此時ギイッセンヨリ其助手トシテ少壯ノ徽菌學者ナル米人、敎授ドクトルダンバール氏ヲ伴ヒ來レリ。此新試驗所ノ設立セラルヽニ及ンテダンバール氏ハ之レカ所長トナリ、幾ハクモナクシテ、之レヲシテ世界中最モ重要ナル一タラシメ、市ノ實際ノ健康ト放ツヘカラサル關係ヲ有セシムルニ至レリ。其後伯林ヨリ帝國政府ノ命ヲ受ケテ虎列拉流行ノ絕滅ヲ助クルカ爲メ、ドクトル、コッホ氏漢堡ニ來リシコトアリシカ、氏ハダンバール氏ノ既ニ成功シタル學術上ノ研究ノ偉大ナルニ驚嘆シテ措カサリシト云フ。コッホ氏ハ即チダンバール氏ヲ以テ漢堡試驗所ノ永久ノ所長タラシムルニ極メテ滿足ヲ表シ、斯クシテダンバール氏ハ永ク獨逸ノ最要ノ海港タリ、歐州大陸ノ最大ノ商業市タル漢堡ノ衛生ヲ支配スルノ地位ニ立チタリ。ダンバール氏ハミンチソタ州セント、ポール市ノ人ニシテ數年前、年二十一ニシテ始メテ獨乙ニ至リシ頃ハ唯英語ヲ解シ得ルノミナリシガ、現在ノ地位ヲ承諾スルニ依リ必要上獨乙人ニ歸化シタリ。

ダンバール氏ハ數多ノ熟練ナル助手ヲ指揮シ、其試驗所ハ最モ有益ナル諸種ノ試檢ヲ實行セリ。氏ハ水中ノ虎列拉黴菌ヲ發見スル新方法ヲ發明シ、コッホ氏其他ノ黴菌學者ハ皆ナ之ヲ以テ一大改良ナリトナセリ。一千八百九十三年ノ夏及ヒ秋ニハ漢堡ノ試驗所ハ日々「エルベ」河水ノ試檢ヲ行ヒ、其標品ハ廣ク各所ヨリ之レヲ集メ、之レニ依リテ「エルベ」河口ヨリ遙ニ獨逸ノ内部ニ至ルマテ、到ル所ニ虎列拉黴菌ノ存在セザルナキコトヲ發見シタリ。ダンバール氏ハ從來學者ノ爭フ所タリシ虎列拉病カ空氣ニ依ラスシテ專ラ水ニ依リテ傳染スルモノナルコトヲ確ムルヲ得タリ。

上ケ潮ニヨリテ漢堡ニ來ル河水中ニハダンバール氏ハ通常一立方「センチメートル」中三萬乃至十萬ノ虎列拉黴菌ヲ發見セリ。翌一千八百九十三年ノ夏期ニ於テモ新ニ虎列拉ノ起ルモノヽナカリシニ拘ハラス、猶前年ニ等シキ多數ノ黴菌ヲ發見シタリ。上ケ潮ノ影響ヲ受ケサル上流ノ河水ハ四百乃至千二百ノ黴菌ヲ包含シタリ。一千八百九十三年七月ニ至リ伯林ナル帝國衛生官廳ハ各國市役所ニ訓令ヲ發シ、一立方「センチメートル」ニ付キ百以上ノ虎列

拉黴菌ヲ包含スル飲水ハ之ヲ市民ニ供給スルヲ許サヽランコトヲ命セリ。此以上ノ病毒ヲ包含スルモノハ其危險少ナカラサレハナリ。サレハ漢堡ノ新濾水工事ニ依ル淨水カ毎日各濾水池ヨリ檢査シタル結果時トシテハ全ク黴菌ヲ含マサルコトアリ通常ハ一立方「センチメートル」中四乃至十ノ黴菌ヲ包含スルニ過キサルコトヲ見出セルハ其效績ノ如何ニ偉大ナルカヲ察スルニ足ルヘシ。此僅少ナル黴菌スラモ一千八百九十三年ノ夏マテハ曾テ用ヒラレタルコトナキ最モ精密ナル試驗ニ依リ始メテ之ヲ發見シ計算スルコトヲ得タリシナリ。

漢堡濾水工事ノ大成功ヲ爲セル所以ハ實ニ茲ニ在リ。市民ハ最早其供給ノ絕對ニ安全ナルコトヲ確知シ、學術ノ效果ハ如何ナル災厄ニモ打勝ツコトヲ得ヘキコトヲ感ゼリ。此淨水ハ總テノ市中ノ用ニ供セラル、即チ市街ノ掃除、庭、公園地等ノ撒水、洗濯等總テ此淨水ヲ利用スルナリ。其水質ハ總テノ工業用ニモ極メテ能ク適當シ、飲用水トシテハ安全ナルト共ニ亦美味ナリ。

虎列拉ノ流行カ「エルベ」河水ノ飲用ニ依リテ傳播セル事實ハ、河水ノ供給ヲ受

ケズシテ井水ヲ使用シタリシ一部ノ住民ハ殆ト全ク其傳染ヲ免レタルコトニ依リテ間接ニ之ヲ證明スルコトヲ得タリ。是等市中ニ於テ使用セル井戸ハ其數略八百乃至一千ナリ。一般衛生ノ理論ヨリ云ヘハ井水ハ之ヲ禁スルヲ可トス、多クノ市ニ於テ全ク其閉鎖ヲ命シタルハ概シテ當ヲ得タルノ處置ナリ。サレト漢堡ニ於テハ何レカト云ヘハ井水ノ方不潔ナル河水ヨリハ佳良ナルヲ以テ、從來尚其使用ヲ許セリ。其内ニハ工場用ノ如キ頗ル大ナル堀拔ノ井戸アリ。虎列拉流行ノ當時ニハ此等井水ハ多クノ隣家ニ水管ヲ以テ之ヲ分チ給シ、其後モ猶之ヲ繼續セリ。一千八百九十三年ノダンバール氏ノ試驗ノ一部トシテ此等一切ノ井水ノ檢査ヲ行ヒ、其不健康ナルモノハ皆ナ之ヲ閉鎖セリ。

濾水工事ニ隣接シテ衛生試驗所ノ分局アリ。徽菌ノ試驗ニ必要ナル凡テノ裝置ヲ備ヘ、而シテ大濾水池中ノ一ハ專ラ試驗所ノ試驗用ニ供セリ。ダンバール氏ノ重ナル助手中一人ハ絶ヘズ此分局ニ出張シ居リ、且ツダンバール氏ノ使用ニ供スルカ爲メニ氏ノ設計ニ依リテ一ノ新奇ナル蒸濾船ヲ作リ、「エルベ」河中ニ浮ヘテ浮動徽菌試驗所タラシメタリ。此蒸濾船ハ長サ略四十呎ニシテ、其完全ナル裝置ニ依リ「エルベ」河中ニ於ケル海潮ノ影響及ヒ其性質ヲ從來ヨリハ遙ニ完全ニ測量スルコトヲ得ヘク、又河ノ上流ニ於ケル衛生上ノ事情ヲ驗察スルコトヲ得ヘカラシム。凡ソ此等ノ新事業ニ要シタル費用ハ極メテ莫大ナルモノナリト雖モ、經濟的ナル漢堡市民ニシテ尚衛生事業ノ改良ハ極メテ有利ナル資本ノ投下方法ナルコトヲ知リ、而シテ此等ノ費用ヲ投スルニ精確ナル學術上ノ指導ヲ待タサルノ愚ナルハ、尚善良ナル建築技師ナクシテ公ノ建築物ヲ築造シ若クハ土木技師ノ助ヲ假ラスシテ海渠又ハ港灣ノ改良ニ巨資ヲ投スルカ如クナルヲ知レリ。ダンバール氏ハ此ノ如キ市ノ新傾向ヲ出來得ヘキタケ有益ニ利用スルコトニ於テ其精力ヲ盡クシツヽアルナリ。

一千八百九十三年ノ虎列拉再發ノ原因

一千八百九十三年九月中頃ニ虎列拉病カ再ヒ漢堡ニ現ハレタリシ事情ハ、却テ益々濾水工事幷ニ衛生試驗所ノ效果ノ大ナルヲ證明スルモノナリキ。此時ニ於ケル試驗ノ結果ハ飲用ニ供セラルヽ濾水中驚クヘキ程多數ノ徽菌ヲ

發見シタリ。而シテ濾水池ヲ通過シテ後直ニ採取シタル水ニハ更ニ黴菌ノ見出スコトナク其ノ汚毒ヲ受ケタルハカルテ、ホーフェ島ヨリ本土ナル揚水器ニ濾水ヲ送ル「トンネル」中ニ損所アリ「エルベ」ノ河水カ此處ヨリ浸入セルモノナルコトヲ發見シタリ。此損所ハ速ニ之ヲ修繕シタリシカ、不幸ニシテ濾過セラレサル河水ノ混合シタル淨水ヲ飲用シタルニ由リ、數人虎列拉患者トナリ死亡者トヲ出タスニ至リシナリ。然レトモ「エルベ」ノ河水カ斯ノ如キ恐ルヘキ汚毒ヲ有セルニ拘ラス、漢堡カ夏期中一人ノ虎列拉患者ヲモ出タサザリシ事實ハ五月以來飲用セラレ居タル濾過水ノ效果ヲ語ルニ充分ニシテ、又速ニ損所ヲ發見シ得タルハ善良ナル黴菌試驗所ノ實用ノ大ナルヲ證明スルモノトイフヘシ。虎列拉ノ豫防及ヒ鎭壓ハ固ヨリ漢堡衛生試驗所ノ唯一ノ事業ニ非ラス、黴菌學ハ市ノ衛生官廳ニ對シ種々ノ事業ニ關シテ絕ヱス之レカ補助ヲ與ヘ、各種ノ傳染病ヲ豫防シ且ツ一般ノ公共衛生ヲ完備スルニ於テ無限ノ利益ヲ與フルモノナリ。

漢堡ノ下水道及ヒ下水處分法ニ就テハ余輩既ニ之ヲ述ヘタリ。殘ル所ハ唯

市街ノ掃除

市街ノ掃除及ヒ清潔法ニ就キ一言スルノ要アルノミ。此事業ニ關シテモ虎列拉ノ流行ハ大ニ市ノ氣力ヲ加ヘタリ。市街ノ掃除ハ警察部ノ一般管轄ノ下ニ於テ極メテ能ク整頓セリ。市街ノ清潔ナルコトニ於テハ、余輩ノ知レル限ハ米國ノ諸市中一トシテ漢堡ノ右ニ出ツルモノアルヲ見ス。道路ハ一般ニ鋪石能ク整ヘリ、是レ言フ迄モナク道路ノ掃除ヲシテ容易ナラシムル一大原因ナリ、鋪石ノ材料ハ「アスフォルト」及ヒ平滑ナル方形ノ石片ヲ重ナルモノトス。其掃除ハ夜間ニ一回ノ大掃除ヲ行フノ外、尚晝間ノ掃除夫アリ、時間ヲ定メテ馬糞ノ取除等全ク巴里伯林ノ如キ風ニテ之ヲ行ヘリ。重ナル街路ハ一晝夜ニ少クトモ一回完全ナル大掃除ヲ行ヒ、其他ノ街路ハ如何ニ淋シキ街ニテモ一週間ニ數回完全ナル掃除ヲ行フ、夏期ノ撒水モ亦完全ナルコト注意スヘキ値アリ、譲ラス、冬期ニ於テハ雪及ヒ氷ノ取除モ亦其敏速ナルコト注意スヘキ値アリ、凡テノ點ニ通シ公ノ掃除法及ヒ街路ノ修繕ハ一千八百九十二年以來著ルシキ進歩ヲ見ハセリ。

善良ナル鋪石

不潔物ノ處分

家内ノ塵芥其他不潔物ノ處分法ニ付テモ亦市ハ重要ノ改良ヲ加ヘタリ。從

居宅ノ狀態

來不潔物ハ車ニテ之ヲ市外ニ運搬シテ取リ捨テ、其或ル物ハ船ニテ之ヲ海中ニ運ヒ去ルノ習慣ナリシカ、一千八百九十三年以來市立ノ大火葬場ヲ築キ、凡テノ塵芥ハ皆此處ニテ燒キ棄ツルコトヽナシタリ。漢堡カ人造肥料製造場ヲ築キテ此等ノ塵芥、灰、馬糞其他一切ノ不潔物ヨリ肥料ヲ作成スルノ方法ヲ取ラサルハ毫モ理由ナキ所ニシテ、恐クハ將來遠カラスシテ此方法ヲ取ルニ至ルヘシ。

虎列拉病ノ流行カ漢堡市民ニ與ヘタリシ大恐慌ハ各家内ノ清潔ヲ保持スルニ於テ言フヘカラサル效績ヲ與ヘタルモノナリキ。漢堡ニ於テハ中世紀時代ノ狹隘ニシテ日光乏キ市街甚タ多ク其家屋ハ窓乏シク且ツ數多ノ家族ガ一家内ニ分住セルモノ少カラズ。此等ノ市街ニ於テ完全ニ衛生ヲ保持シ、傳染病蔓延ノ原因ナカラシムルハ固ヨリ容易ノ業ニ非ラス。然レトモ嚴重ナル衛生規則ノ勵行ニ由リ勞働者社會ノ衛生上ノ狀態ハ平均シテ驚クヘキ改良ノ效ヲ奏シタリ。家屋ノ建築及ヒ居住ニ關スル衛生上ノ規則ノ如キハ其關係スル所極メテ廣キガ故ニ、固ヨリ一朝ニシテ成ルコトヲ得ヘキモノニ非

ラス。漢堡ノ建築規則ハ一千八百八十二年ニ制定セラレタルモノナリシモ、數多ノ理由ニ依リ其全部ノ改正ヲ行フノ必要ヲ見ルニ至レリ、サレト一部分ノ改正ハ猶豫スヘキ餘裕ナキヲ以テ、一千八百九十三年四月ニ先ツ一千八百八十二年ノ建築規則ニ數個ノ簡單ナル修正ヲ加ヘ全部ノ改正ヲ行フ迄有效ナラシメタリ。此修正ニ依リ内庭ノ大サ及ヒ形狀ヲ限定シ、從前ヨリハ日光及ヒ空氣ヲ容ルヽヲ容易ナラシメ、殊ニ最モ重要ナル修正トシテ地下室ヲ居住用ニ供スル場合ニ於テハ嚴重ナル衛生上ノ法規ヲ遵由スルコトヲ要セシメタリ。一千八百九十年ノ調査ニ依レハ漢堡ニ於ケル地下室ノ居住者ハ三萬六千五百四十二人ニシテ、總人口ノ百分ノ六・五ナリ、一千八百八十五年ニハ此數三萬一千三百八十一人ナリキ。虎列拉流行ノ當時ニ於テ此等ノ濕氣深キ地下室ニ於テ殊ニ死亡比例ノ極メテ高カリシコトハ大ニ當局者ノ注意ヲ喚起シタリシモ、不幸ニシテ漢堡ノ如キ市ニ於テ急激ニ全ク地下室ノ居住ヲ禁斷スルコトハ、事實上不能ノ事タリ。伯林ノ如キ衛生警察ノ能ク發達シタル市ニ於テスラモ、地下室ノ居住者ハ一千八百九十年ニ十一萬七千七百〇二

人ニシテ、即チ總人口ノ百分ノ七・七ニ近ク、實際ニハ漢堡市ノ一部ト見ルヘキアルトナニ於テハ地下室ノ居住者ハ人口ノ百分ノ八・七ヲ下ラス。サレト同シク地下室ノ中ニモ比較的ニ佳良ナルアリ、又最モ不健康ナルモノアリ。歐洲ニ於ケル近時ノ衛生規則ノ方針トスル所ハ其最モ不健康ナルモノヲ居住用トナスヲ禁スルニ在リ。サレハ漢堡ノ新規則ハ市街ニ面セル家屋ノ地下室ニ居住スルコトヲ禁シ、又市ノ下方「エルベ」河及ヒ其支流ノ近傍ナル地方室ハ凡テ其住居ヲ禁ス。其他從來ハ地下頗ル深ク殆ト日光ノ通セサル所マテ往々居住スルモノアリシカ、一千八百九十三年四月ノ法律ニ依リ地下室ノ床板ハ其周圍ノ地面ヨリ一米突(三尺三寸)以上ヲ距ツルモノナラサルコトヲ要セシメ、及ヒ日光ヲ通シ及ヒ床ノ濕氣ヲ豫防セルガ爲ニ特別ノ注意ヲ命セリ。此等ノ規定ハ居住ノ用ニ供スルモノト共ニ勞働室又ハ炊事用ニ供スル地下室ニモ等シク適用セラル。尙此等凡テノ塲合ニ於テ隣接セル市街ニ下水管ノ設アリテ適當ニ之ト相連結セルコトヲ要ス。

地下室居住ノ外尙一室内ニ多數ノ家族ノ群集セルコトハ漢堡市ノ衛生上尙

著ルシキ缺點ニシテ、將來ノ救濟ヲ要スヘキ一ナリ。然レトモ居宅ノ狀態ハ全体ニ付テイヘハ著シク改良ニ向ヒツヽアリ。

一千八百九十二年惡疫流行ニ際シ漢堡ハ病者ヲ隔離スルニ適當ノ設備乏シク、及ヒ汚毒シタル家屋及什具ヲ消毒スルノ便宜亦備ハラサルコトヲ發見シタリ。之ニ因リテ當時ハ通常ノ病院ニ虎列拉患者ヲ容レ、其足ラサルモノハ臨時市ノ各部ニ假營舍ヲ建築シテ、以テ一時ノ用ニ充テタリシガ、其間別ニ「バヴィリオン」式ヲ以テ巨大ナル新傳染隔離病院ノ建築ニ着手シ、而シテ此病院ハ既ニ落成シ使用スルヲ得ルニ至レリ。是レ世界中最モ宏大ニ且ツ最モ整頓セル傳染病院ノ一ニシテ、將來若シ惡疫ノ流行スルコトアラハ、其初期ニ於テ之ヲ撲滅セシムルノ效果アルヘキナリ。此他又當時緊切ノ需要ニ由リ病者ヲ其自宅ヨリ病院ニ迄迅速ニ運搬スヘキ組織ヲ備ヘ、而シテ此組織ハ爾來常設ノモノトセラレタリ。是レ亦將來他ノ傳染病ノ流行アルニ當リテハ、虎列拉流行當時ノ如ク有用ナルモノナルヘシ。

消毒所ノ設置モ亦漢堡衛生行政ノ新事業ノ一ニシテ同種ノ建物中最モ勝レ

タル一ナリ。其中二ノ中央消毒所ハ現存ノ建物ヲ利用シ、之ニ相當ノ裝置ヲ加ヘタルモノニシテ、其後更ニ之ヨリモ遙ニ大ニシテ遙ニ能ク整頓セル他ノ一ヲ新築シタリ。此等ノ消毒所ハ凡テ寢具、衣服、絨布、敷物類ヲ燻蒸スルカ爲ニ大竈ヲ据付ケ、又病者ノ他ノ家族ヲ留置シ之ヲ消毒スル爲メ裝置ヲ備フ。病者ヲ生シタル家屋ハ其病者ヲ病院又ハ墓地ニ送リタル後別ニ嚴重ニ之ヲ消毒ス。

飲食物ノ驗査

飲食物ノ驗査モ亦ダンマー氏ノ衛生試驗所ノ職務ノ範圍ニ屬シ、氏ノ數多助手ハ此目的ニ從事シツヽアリ。其事業ハ或ル點ニ於テハ頗ル重要ナル發達ヲ遂ケ、殊ニ漢堡ノ牛乳ノ驗査ハ最モ能ク整ヘル一ニシテ、他ノ諸大都會ニ於テ凡テ之ニ倣フコトハ極メテ望マシキコトナリ。其取締規則ハ一年間ノ綿密ナル調査ノ末一千八百九十四年四月ニ發市セラレタルモノニシテ、此問題ニ關スル調査ノ顚末ハ最モ能ク漢堡ノ新衛生行政ノ價値ヲ表明スルニ足ルヘキ一ナリ。現時ノ狀態ニ於テハ都會ノ住民ニ清潔ニシテ健全ナル牛乳ヲ供給スルノ必要ナルハ、健全ナル淨水ヲ供給スルノ必要ナルニ讓ラス。サ

牛乳販賣ノ取締

レハ新取締規則ハ先ツ其供給ノ根源ニ溯リテ、牧牛場ニ於テ乳牛ヲ取扱フヘキ方法ヲ定メ、牛小屋ノ清潔ヲ命シ、搾乳者ノ手及ヒ乳牛ノ乳房ハ其都度洗滌スルコトヲ命シ、其他種々ノ細微ノ點ニ於テ普通ノ牛乳商ニハ殆ト思モ寄ラサル程ノ標準ヲ定メタリ。牛乳ノ比重及ヒ「クリーム」ノ比例ニ付テモ嚴重ニ其標準ヲ定メ水其他ノ混和物ヲ加フルモノニハ嚴重ノ刑罰アリ、牛乳店及ヒ牛乳配達器具ノ清潔ニ付テモ亦牧牛場ト等シク詳細ノ規定アリ。此詳細ナル取締規則ノ效果ハ漢堡市民ノ兒童ノ健康カ著ルシク改良セラレタルニ因リテ證明スルニ餘アルヘシ。

酒店ノ取締

之ヨリモ一層新奇ニシテ然カモ獨逸ノ諸市ニ取リテハ極メテ望マシキ衛生警察ノ問題ハ、樽詰ノ麥酒ヲ貯フル公共飲食店ニ用ウル什具ノ衛生上ノ取締幷ニ此等ノ店ニテ華客ニ麥酒其他凡テノ飲料ヲ供スル盃ヲ洗滌スルコトニ關シテ、一千八百九十四年八月ニ發布シタル詳細ノ警察規則ナリ。獨逸ノ黴菌學者ハ傳染病傳染ノ危險ハ不清潔ナル麥酒ノ盃、匙等ニ依リ黴菌ヲ傳播スルニ於テ最モ甚シキコトヲ見出セリ。サレハ漢堡ノ警察規則ハ盃ヲ使用ス

ル毎ニ清潔ナル水ニテ一ト之ヲ洗滌スルコトノ外、毎日其盃ヲ熱湯ニ浸シ、及ヒ擦リ磨クヘキコトヲ命セリ。此等ノコトハ果シテ餘リニ微細ノ干渉ニ過キ、大都會ノ官廳ノ威嚴ヲ損スルモノナルベキカ、有識者ハ決シテ斯クハ感セサルヘシ。警察ノ干渉ニ依リテ危險ナル病毒ヲ不注意ナル娯樂場ニ依リテ傳播スルヲ妨止スルコトヲ得ハ、是レ警察權ノ最モ善良ナル利用ナリ。麥酒店ノ盃ヲ清潔ニスルコトヲ命スルコトカ警察權ノ正當ノ範圍ニ屬スルハ、尚市街ノ喧嘩暴行ヲ禁スルト等シク、而シテ實際ニハ遙ニ之ヨリモ社會ノ幸福ノ爲ニ重要ナルモノナリ。

新化學的分析所

漢堡ノ化學的分拆所ハ其市ノ警察ノ下ニ於テ既ニ久シク設立セラレ居タリシモノナリシカ、コハ一千八百九十二年ニ衛生試驗所ニ併合セラレタリ。其後衛生試驗所ノ事務ヲ補助スルカ爲ニ、市役所内ニ更ニ化學分析所ヲ設置シ飲食物ノ取締ニ關スル通常ノ試驗ハ凡テ此處ニテ行フコトヽナセリ。其試驗ノ稍困難ナルモノ、其他特別ノ調査ハ衛生試驗所ニ於テ之ヲ行ヒ、而シテ市役所ニ在ル化學技師ハ日々市場、市立大屠畜場、牛乳店、麥酒店、其他ノ飲食店其他凡テ飲食品ヲ市民ニ販賣スル所ニハ何處トナク出張シテ、絶エス之カ試驗ヲ行ヒツヽアリ。

港内衛生局

一千八百九十三年ノ春漢堡新衛生行政ノ一トシテ新ニ港内衛生局ヲ設置シ衛生技師一人之カ長トナリ、助手及ヒ檢査吏若干ヲ置ケリ。檢疫船トシテ蒸滊及石油發動ノ小船ヲ備ヘ、港内ニ到着スル凡テノ船舶ニ付テ衛生上ノ驗査ヲ行フ。其驗査ハ乘組員ノ健康幷ニ船中ノ清潔及ヒ衛生ニ對シテ行フモノニシテ、其驗査ヲ行ヘル回數ハ一千八百九十三年中海上ヲ航スル船舶ニ對シテハ二萬二千六百四十回、河川及ヒ運河ヲ航スル船舶ニ對シテハ四萬二千八百六十七回、其驗査ヲ受ケタル乘組員數合セテ四萬六千八百人ナリ。此驗査ニ依リテ毎年數百人ノ患者ヲ發見シ之ヲ病院ニ送リタル外、猶ニ移住者ヲ輸送スル旅客船ノ衛生ヲ改良シ貨物船ノ水夫ノ居室ヲ改良シ、及ヒ船中ヲ以テ唯一ノ居宅トナセル數千ノ家族ニ對シ大ニ其衛生ヲ改良シタル等ニ於テ最モ顯著ナル效用ヲ奏セリ。

醫士令

最後ニ一千八百九十五年一月ヨリ醫士令（エルツテ、オールドヌング Ärzte-Ordnung）ト稱スル新規則

實施セラレタリ。此規則ハ漢堡市中ニ醫術ヲ開業スルコトニ關スル詳密ノ手續ヲ定メ、幷ニ傳染病、流行病、死亡及ヒ出生ノ屆出ノ義務ヲ定メ、其ノ他種々ノ點ニ於テ開業醫ト公ノ衛生官廳トノ間ニ聯絡ヲ通セシメタリ。此等ノ規則ハ頗ル進歩シタルモノニシテ或點ニ於テ新方法ナルモノアリ。其一ハ漢堡市中ノ開業醫ヲシテ組合ヲ組織セシメ、其中ヨリ會員十五人ヲ以テ組織スル醫士會議(ärzte-kammer)ヲ選擧シ、而シテ此會議中ヨリ更ニ三人ヲ互選シ之ヲシテ市ノ衛生局ニ於テ其會議ヲ代表セシム。會議ハ市ノ諮詢ニ答ヘテ其意見ヲ陳述シ、其他尚種々ノ方法ニ依テ其經驗又ハ智識ヲ公ノ事業ニ利用スルコトヲ得。

醫士會議

以上述ヘタルカ如キ漢堡ノ新衛生事業ノ效果ヲ統計ニ依リテ表示スルハ時尚甚タ早キニ過クト雖モ、然カモ死亡比例ノ比較ニ依リテ見ハレタル結果ハ既ニ極メテ著明ナルモノアリ。即チ前十年ノ死亡比例ニ比スレハ、一千八百九十二年ノ虎列拉流行ノ結果トシテ見ハレタル種々ノ改良以後ノ死亡比例ハ慥ニ二割以上ヲ減少セリ。尤モ惡疫流行ノ際ニ於テハ必ス老衰者、幼弱者

死亡比例ノ減少

凡テ虛弱ニシテ病ニ犯サレ易キ者ヲ襲フモノナルカ故ニ、其以後ノ死亡比例ハ他ニ衛生上ノ改良ナキモ多少減少ノ傾アルヘキハ事實ナリ。サレト此點ヲ取除キタル上ニテモ尚漢堡ノ死亡比例ノ減少ノ大部分ハ、市ノ衛生行政ノ進歩ニ其原因ヲ有スルモノナルコト疑ヲ容レス。一千八百六十五年ヨリ一千八百九十五年ニ至ル三十年間ヲ比較スレハ漢堡ノ平均死亡比例ハ一年一千人ニ付三十人以上ヨリ二十人以下ニ減少セリ。而シテ此減少ハ人口ノ急速ノ膨脹、萬國貿易港トシテノ市ノ發達、並ニ毎十年ニ數百萬人ニ達シ殊ニ中ニハ衛生ノ不備甚シキ露西亞人少カラサル巨大ナル移住者ノ集注等、其減少ヲ妨クヘキ原因ノ甚タ多キ時代ニ於テ、遂ケラレタルモノナリ。將來ニ於テモ最下層貧民ノ居宅ノ如キ尚改良ヲ要スヘキモノ少カラサルヘシ。然レトモ實際ノ改良ハ學術ノ指導ト相俟テ將來又之カ退歩ヲ見ルノ患ナク絶エス進歩ノ跡アルヘキハ期シテ待ツヘキナリ。

將來ノ好望

第八章　維也納ノ改造

一千八百七十年以來ノ維也納ノ改造

其ノ市加俄トノ比較

若シ比較トイフコトニシテ精細ナル例證ヲ以テ之ヲ證明スルコトヲ爲サルモ尙多少ノ價値アルモノナリトセリ、余輩ハ一千八百六十年以來ノ維也納ノ改造ハ歐洲否世界ノ他ノ大國都又ハ大商業市ノ何レヨリモ範圍廣ク且ツ完全ナリシトイハント欲ス。若シ商業上又ハ私人ノ企業トイフ點ヨリ觀察スレハ、市加俄ノ一千八百七十一年大火以後ノ再造及ヒ其一般ノ發達ハ慥ニ維也納ニ超エタリ、サレト若シ物質上ノ改造及ヒ膨脹ト共ニ秩序アル市行政及ヒ社會上ノ發達ヲ觀察スレハ、維也納ハ數多ノ點ニ於テ近世ノ思想及ヒ主義ヲ採用スルコトニ依リ、最モ急速ナル發達ヲ遂ケタル大都會ノ最モ顯著ナル實例ト看做スコトヲ得ヘシ。

若シ市加俄ニシテ其大火後燒キ拂ハレシ全地域ヲ買收シテ之ヲ適當ナル中央區トナシ、其中ノ適當ノ場處ヲ公ノ建築物ノ敷地トナシ、公園地ヲ設ケ、廣大ナル週周街路ヲ築キ、其廻周大街道ヨリ數個ノ平行ナル並木道ヲ射出セシメシナラハ、其街路ニ面スル宅地ヲ拂下クルコトニ依リテ優ニ其全費用ヲ償ヒ尙或ハ公ノ建物ノ敷地トナシタル部分ニ二三ノ紀念的ノ建築物ヲ新造スルノ剩餘ヲ殘シタルナルヘシ。一千八百九十二年乃至九十三年ノ閣龍博覽會ノ大建築ノ經驗ニ依リテ、市加俄ハ公ノ建物ヲ建築スルニハ、初ヨリ其相互ノ連絡及ヒ其周圍ノ狀況ニ付キテ之カ大設計ヲ爲スノ効果ノ如何ニ大ナルカヲ知ルコトヲ得タリ。然カモ市加俄カ其公ノ建築物ヲ相當ノ場處ニ集メ適當ナル公園地各廣場ヲ以テ之ヲ圍繞スルコトハ今日ニ於テハ到底不能ノコトニ屬ス、若シ一千八百七十一年ノ大改造ニ際シ、多少先見ノ明アリシカ又ハセメテハ同時代ノ歐洲諸市ノ經驗ト政策トヲ半ハニテモ理解シ之ヲ尊重シタリシナラハ、是レ容易ニ實行セラレ得ヘキ所ナリシナリ。倫敦ノ大火ハ時未タ數十年ノ早キニ過キ、近世ノ市街築造ノ術ハ未タ其效果ヲ見ハスニ至ラサリキ。

之ニ反シテ市加俄ハ今代ニ於テ世界ノ大都會中最好ノ機會ヲ得タルモノナリキ。然カモ市加俄ハ其機會ヲ逸セリ。之ニ次イテ好機會ヲ得タルモノハ

フランツ、ヨセフノ時代

維也納ナリキ。余輩ノ本章ニ述ヘント欲スル所ハ即チ維也納カ如何ニ其機會ヲ利用シ、其市街ヲ改造シタリシヤヲ簡明ニ叙述セントスルニ在リ。余輩ハ寸毫タモ新市加俄市カ私人ノ企業ト商業上ノ動機トニ成リシヲ非難セントスルモノニ非ラス、然レトモ之ヲ全然政府ト市トノ政策指導ニ基キテ成レリシ新維也納市ニ比較スルハ、極メテ興味アル對照トイハサルヘカラス。一ヲ貶シ他ヲ揚クルハ余輩ノ事ニ非ラス。一ハ主トシテ政府ノ力ニ依リテ大ナリ、一ハ一個人又ハ團体ノ私ノ勢力ニ依リテ其地歩ヲ得タリ。二者共ニ各其特長ヲ有ス。然レトモ若シ市加俄ニシテ市政ノ執行ニ關シテ維也納ノ特長ノ幾分ヲ假ルコトヲ得タリトセハ、市加俄ハ愷ニ優者ノ地ヲ占スルコトヲ得ヘカリシナリ。

維也納ノ新氣運ヲ作リテ其改造ノ道ヲ開キタルモノハ一千八百四十八年ノ政治上ノ革命及ヒ之ニ伴ヘル種々ノ事變ナリキ。中世ニ於ケル市ノ自由ハ滅絶シテヨリ既ニ久シク、市民ハ市ノ事件ノ執行ニ關シテ毫モ參與ノ權ヲ有セサリキ。然レトモ一千八百四十八年フランツ、ヨセフ一世ノ澳地利帝位ニ

登ルニ及ヒテ新時期ハ開カレタリ。寛大ナル帝國憲法ハ公布セラレ、其憲法ニ於テ維也納ヲ以テ國ノ首都幷ニ皇帝ノ居都トシテ指定シタリ。此憲法ニ續キテ間モナク維也納ノ市制ヲ公布シ、中世紀ニ於ケルヨリハ一層廣キ地方自治權ヲ附與シタリ。此市制ハ一千八百五十年三月ノ勅令ヲ以テ定メラレタルモノナリシカ、其完全ニ實施セラルヽニ至リシハ一千八百六十年ナリキ。此ノ新制度ニ依リ學術上又ハ商業上ニ於テ最良ノ階級ニ屬スル市民ヲシテ市政ノ局ニ當ラシメ、市ノ行政ハ敏捷活潑トナリ、以テ能ク光輝アル事業ノ成效ヲ得セシメタリ。

維也納ノ市自治制度ハ嘗テ普通選擧ノ制ヲ取リシコトナシ。納稅ノ資格要件ハ何レノ時ニ於テモ多數ノ勞働者ノ階級ヲ除外セリ。從前ニハ納稅ノ資格ハ尚高キニ在リシモ、一千八百八十五年ニ之ヲ五「フロリン」ニ減セリ。此制限ニ加フルニ年齡滿二十四年以上ナルコトノ制限ヲ以テスルニ由リ、市會ノ選擧權ヲ有スルモノハ人口二十五人ニ一人ノ割ニシテ、成年ノ男子中四分ノ三以上ハ選擧權ヲ有セサル割ナリ。即チ維也納ノ市會議員選擧權ハ略六萬

當然選擧權ヲ有スル者

人ナリ。市民中納稅資格ノ有無ニ拘ラス當然選擧權ヲ有スルモノアリ、其第一ハ歷史上ノ沿革ニ依リ世襲ノ「公民權（ビュルグルレヒト）」ヲ有スルモノニシテ、コハ今日ニ於テハ最早實際ニ多クノ關係ヲ有セス。其職業ニ依リテ當然撰擧權ヲ有スルモノハ、(一)僧侶及ヒ宗教上ノ各種ノ教師、(二)帝國、州又ハ市ノ在職若クハ退職ノ高等官吏、(三)陸軍將校、其他陸軍ニ關スル他ノ二三ノ官吏、(四)官ノ正當ノ免狀ヲ有スル辯護士、醫士、及ヒ藥劑師、(五)工業其他高等專門學校ヲ卒業シタル土木師、建築師、其他ノ卒業生、(六)各種ノ學校ノ教授及ヒ校長是ナリ。此等ノ者及ヒ直接稅少クトモ五「フロリン」ヲ納ムル者ヲ合シテ維也納ノ選擧人ヲ組織スルモノニシテ、其數總人口殆ト百五十萬人中六萬人前後ナリ。此等選擧人ハ更ニ之ヲ三級ニ區分シ、各級均等ノ選擧權ヲ有ス。第一級ハ納稅額二百「フロリン」以上ノモノ、第二級ハ納稅額三十「フロリン」以上ノモノヲ含ミ、其餘ハ凡テ第三級ニ屬ス。此三級ノ區別ハ孛漏西ノ制度カ納稅額三分ノ一ヲ納ムルモノヲ以テ議員數ノ三分ノ一ヲ選擧スル程ニ選擧權ノ差等ヲ來タスモノニ非ラサレトモ、尙一般ニ屬スル選擧人ノ投票ハ二級ニ屬スルモノヽ、投票ヨリ略三倍ノ

選擧人ノ三級ノ區別

市會ノ選擧方法

效果ヲ有シ、三級選擧人ノ投票ヨリハ殆ト九倍ノ效果ヲ有スルナリ。

例ヘハ維也納ノ選擧人總數六萬人ト假定スレハ其中一級ニ屬スルモノハ概數四千五百人、二級選擧人ハ四萬一千人前後ト見テ大差ナカルヘシ。維也納ハ之ヲ十九區（ベチレ）(Bezirken)ニ分ツ、此區別ハ凡テノ行政ノ執行ニ重要ノ關係ヲ有スルモノニシテ又同時ニ撰擧區タルモノナリ。各區ニ於ケル各級ノ撰擧人ハ各特別ノ選擧團體（ヴアールケルペル）ヲ爲シ、各選擧團體ニ於テ各議員ノ一部ヲ選擧スルナリ。維也納ノ市會ハ議員數合セテ百三十八人、之ヲ十九區ニ配當シ、而シテ各區ノ選出議員數ハ凡テ三分シ得ヘキ數ナルコトヲ要ス。議員ノ任期ハ六年ニシテ二年毎ニ其ノ三分ノ一ヲ改選ス、例ヘハ議員數九人ヲ選出スル選擧區ニ於テハ毎二年ノ改選ニ議員三人ヲ選出シ、各選擧（ヴアール）團体（ケルペル）一人ツヽヲ選擧スルナリ。

任期六年、三分ノ一改選

三級ノ選擧團体ハ各別々ノ日ニ於テ選擧ヲ行フ。例ヘハ最近ノ一選擧ニ於テハ各選擧區ハ三級選擧團体ハ十月二十二日ニ、二級ハ十月二十五日ニ、一級ハ十月二十九日ニ其選擧ヲ行ヘリ。此ノ三級選擧ノ方法ハ維也納ノ改造

三級選擧法ハ輿論ニ反ス

ヲ必スシモ輿論ノ歸スル所ニ非ラス。他日民

主的ノ風潮ニ依リテ排除セラルヽノ日アルヘシ。一級又ハ二級團体ニ屬スルモノスラモ、尚之ヲ非難スルモノ少カラス。サレト政府ハ未タ地方ノ選擧ニ普通選擧制ヲ取ル程ノ民主的傾向ニ向ハス、ソハ一タヒ市ノ選擧ニ此制度ヲ取ラハ下澳地利ノ洲會（ランドタグ）及ヒ帝國議會（ライヒスラート）ノ選擧ニモ同樣ノ改革ヲ加フルノ運動起ルヘキハ必然ナレハナリ。

市會ノ性質

市會議員ノ被選擧人タルモノハ各級ヲ通シテ選出セラルヽコトヲ得、例ヘハ一級選擧人ニシテ三級ニ屬スルモノヲ選出スルモ妨ナク、之カ爲メ三級選擧ノ方法ハサマテニ市會ヲシテ貴族的（アリストクラチック）ナラシムルコトナシ。サレト若シ「アリストクラチック」トイフコトヲ以テ其本來ノ意義ニ於ケルカ如ク。「俊秀ノ士」トイフ意味ニ解スルトキハ其ノ語ハ維也納ノ市會ニ適用シテ大ナル不可ナシ。何トナレハ百三十八人ノ市會議員（デマーンデステト）ハ一般ニ云ヘハ概ネ其公務ニ對シ卓越ナル伎倆ヲ有スル市民ノ集合ナレハナリ。伯林ノ市會ニ於ケル如ク其議員ノ或ルモノハ大學ノ教授ニシテ、有名ナル經濟學者、公法學者又ハ科學者等ナリ。又倫敦ノ郡會（カウンシナーカウンシル）ニ於ケル如ク其或ルモノハ國中又ハ萬國ニ知名ナル政治家アリ。サレト大多數ハ實業家ナリ。市會ハ議決機關ニシテ、市ノ財政事業ノ計畫、行政ノ政策等市ノ一切ノ事件ヲ管掌ス。其會議ハ頻繁ニシテ之ヲ公開シ、議員ハ凡テ無給ナリ。其常務ノ執行ハ通常此種ノ機關ニ於ケル如ク常置委員ヲ選テ之ヲ行ハシム。

市長助役

「スタットラート」

市會ハ市會議員中ヨリ一人ノ市長ヲ互選ス。市長ハ市會ノ議長トナルモノニシテ、任期六年ナリ。第一助役及ヒ第二助役モ亦同樣之ヲ互選シ其任期三年ナリ。此ノ外ニ尚二十二人ヲ選擧シ、此二十二人ハ市長及ヒ助役ト相合シテ二十五人ノ「スタットラート」（小市會ト譯ス、ルヲ得ヘシ）ヲ組織ス。「スタットラート」ハ實際ニハ市會ノ常置委員ノ形ヲ爲シ、其職務ハ市會ノ議決ノ範圍內ニ於テ其細目ヲ議決スルニ在リ。即チ例ヘハ市ハ其官職ニ充ツヘキモノヲ選任スルカ如シ、「スタットラート」ノ議決シタル所ハ巨細トナク之ヲ市會ニ報告ス。

市參事會（マギストラート）

市ノ行政事務ノ執行ニ當ル者ハ有給常任ノ吏員ニシテ、行政各部ノ長トナリ、其全體ヲ合セテ之ヲ市參事會（マギストラート）ト云フ。市長ハ此等吏員ノ長トナリ、而シテ吏

維也納ノ改造

英獨ノ制度トノ比較

員ハ獨逸諸市ノ如ク市長ノ監督ノ下ニ於テ市參事會ヲ組織スルナリ。サレト維也納ノ參事會ハ伯林其他獨逸諸市ノ市參事會程發案ノ實權ヲ有スル者ニ非ラス。其ノ職權ヲ行政ノ政策ヲ決スルニ非ラスシテ、常務ノ執行ニ從事スルニ在リ。故ニ孛漏西ノ制度ハ容易ニ英語國ノ事情ニ適合セシムルコトヲ得サルニ反シ、維也納ノ制度ハ多少ノ修正ヲ加ヘテ容易ニ之ヲ英國又ハ米國ニ實行スルコトヲ得ヘシ。英國ニ於テハ市會中ノ長老(オルダーメン)ノ分子ハ以テ維也納ノ「スタットラート」ノ職務ニ當ルヲ得ヘク、而シテ市書記(タウレクラークメヂカルヘルス、オフイサーホロー、ケーウエ)官(ヤー)其他重ナル吏員ハ市長ノ指揮ノ下ニ於テ市參事會ヲ組織スルコトヲ得ヘシ。維也納ノ市長ハ佛國諸市ノ市長(メール)ト同シク、與ニ地方行政ノ長官タルモノニシテ執行ノ權ヲ有ス、此點ニ於テ彼ハ英國ノ市長ト異ナリ。然レト一方ニ於テハ彼ハ獨逸ノ市長ノ如ク專門ノ文官ニハ非ラスシテ、先ツ選擧人ヨリ推選セラレ、次テ市會議員ヨリ推選セラレタル一ノ市民ナリ。市長ハ市役所ノ構內ニ官宅ヲ給セラレ、市會ノ議決ニ依リ一定ノ報酬ヲ受ク。

區ノ性質

一千八百九十年以前ハ維也納ノ區(ベチルク)ニハ其數十ナリシカ其年ニ於テ郊外ノ一大地域ヲ市ニ併合シ行政區畫ヲ改定セリ。今日ニ於テハ區ノ數合セテ十九ナリ。區ノ區域ヲ變更スルハ維也納市制ノ頗ル重キヲ置ク所ニシテ、澳地利國會ノ法律ニ依ルノ外之ヲ變更スルコトヲ得ス。余輩ハ本書ノ初ニ於テ巴里ノ區(アロンディスマン)ノ區畫ノ確定不變ナルコトカ、市政ヲシテ市民ニ直接セシムルノ利益アルコトヲ述ヘタリ。維也納ノ區ハ巴里ノ區ヨリモ一層强ク永續分立ノ性質ヲ有スルモノニシテ、各區ニハ區會(ベチルクスアウスシユツス)(Bezirkausschuss)アリ十八人ノ議員ヲ以テ組織シ、每區ノ三級ノ遷擧人ハ各級六人ツヽヲ選擧ス。其任期ハ六年ナリ。各區會ハ一人ノ議長ヲ選擧ス。區會ノ職權ハ其範圍廣カラサレトモ尙多クノ點ニ於テ種々ノ效用アリ。其區內ニ於ケル市政ノ執行ヲ監視シ、及ヒ特ニ其區ニ於テ希望スル所ヲ發表スル等ノ事ヲ掌ル。市長ハ凡テノ區會ニ列席スルノ權ヲ有シ、「スダットラート」ノ議員モ亦屢區會ニ列席スルコトアリ。

區會

澳地利全國ノ地方制度ヲ簡單ニ叙述スルハ容易ノ事ニ非ラス。何トナレハ澳地利十六州ノ州會(ランドタアーグ)(Landtag)ハ各隨意ノ地方制度ヲ設クレハナリ。例ヘハ

全國ノ地方制度

維也納ノ改造

プラーグノ州會ハボヘミア州ノ制度ヲ定メ、ブリユンノ州會ハモラヴィアノ制度ヲ議決スルノ權ヲ有スルナリ。サレト原則トシテイヘハ、此等各州ハ市町村ヲ其人口ニ依リテ階級ヲ付シ何レモ均一ノ制度ヲ布ケリ。下澳地利ノ中ニハ維也納ハ例外トシテ特別ノ制度ヲ布カル、其他尚一二特別ノ制度ヲ有スル市ヲ除キテ、凡テ下澳地利ノ諸市ハ、一般市制ノ支配スル所ニシテ、市會ヲ選擧シ、且ツ頗ル廣キ地方自治權ヲ有ス。然レトモ本書ノ目的ニ對シテハ澳地利ニ於テハ唯維也納ノ外多ク注意スヘキ價値アルヲ見ス。

舊時ノ維也納及ヒ其城壁

一千八百四十八年フランツ、ヨセフノ年甫テ十八歳ニシテ帝位ニ登リ、都ヲ維也納ニ奠メタリシ頃ハ、維也納ハ最モ憐ナル有樣ニ在リキ。皇帝ヲ初メトシテ凡テノ貴族凡テノ高官ノ居住地タリシ維也納ニメ、廣袤僅ニ一方哩、其周圍ニハ嚴重ナル舊城壁アリ、城ノ外周ハ底深ク幅廣キ壕ヲ以テ圍ミ、壕ノ外ハ更ニ坂道ヲ以テ境ラシ、其地ニハ家屋ノ建築ヲ許ルサス、皆軍事上ノ防禦ノ目的ニ備ヘタルナリ。此防禦地ノ外ニ三四十ノ荒廢シタル村落アリ。此等ノ村落ハ當時既ニ略相連結シテ稍町ノ形ヲ爲シタリシモ、其家屋ノ粗惡ナル、歐洲何レニモ見ルヲ得サル程ノ最惡ノ郊外地タリキ。前ニ述ヘタル一千八百五十年ノフランツ、ヨセフノ維也納市制ハ此等ノ村落ヲ以テ舊來ノ市街ト併合シ之ヲ七ノ區ニ分劃シ、而シテ舊來ノ市ハ別ニ一區ト爲シタリ。其後區畫ノ更正ニ依リテ區ノ數ヲ十ニ增加シ、而シテ一千八百九十年ノ區域擴張ニ依リ更ニ郊外ノ九區ヲ併合シタルナリ。最初ニフランツ、ヨセフ帝ノ定メタル市ノ區域ハ十八世紀中ニ築カレシ城壁ノ外壁ヲ以テ其境界トナシタリシナリ。

郊外ノ村落其併合

城壁內ノ密聚

城ノ內壁カ通商及ヒ交通ニ對シテ最モ甚シキ妨害ヲ與フルモノナルコトハ數十年間人ノ普ク認ムル所ナリキ。其城門ハ極メテ通行ニ不便ニシテ、然カモ人民及ヒ通商ハ速ニ膨脹シ、城壁內ノ有限ノ土地ハ地代恐ルヘキ高價ニ昇リ、苟クモ利用シ得ヘキモノハ寸地ヲ剩サスシテ之ニ建築ヲ爲シ、舊來ノ家屋ニハ階上ノ增築ヲ爲シ、小賣店スラモ止ムヲ得ス二階ニ開クニ至リ、人口ノ密聚ハ實ニ堪ヘカラサルニ至レリ。當時ノ情態ニ於テハ苟クモ城內ニ居住シ得ルモノハ外郊ノ居住ヲ取ルモノナク、而シテ之ニ對スル救濟ノ策ハ唯一アリシノミ。遂ニ長キ論議ノ末、一千八百五十七年十二月二十日ノ有名ナル

一千八百五十七年ノ城壁破壞令

維也納ノ改造

勅令ニ依リテ城壁ノ破壊ヲ令シタリ。

此ニ於テカ最大ノ好機會ハ維也納ノ上ニ來レリ。維也納ハ全歐洲中最モ不便ニ、最モ不整ニ最モ醜惡ナル國都ナリシヲ、今ハ之ヲシテ却テ最モ美麗ニ最モ便利ナル市街トナサシメ得ヘキ機會ヲ得タリ。巴里市ノ改造ノ時ニ當リテハ其新街衢ヲ造ルヘキ場所ハ大部分ハ既ニ宏壯ナル建築ヲ備ヘタル場所ナリシカハ、其重ナル建築物ハ既ニ其地位定マリテ動カスヘカラス、隨テ近世ノ市街築造術ハ充分ニ活用セラルヽコトヲ得サリキ。維也納ハ之ニ反シテ其城壁、濠及ヒ阪道ノミニシテモ舊來ノ市街ノ全部ヨリ一層廣濶ノ地域ヲ有ス、以前ニハ市ノ中部ト外部トノ交通ヲ妨クルノ原因タリシモノハ今ハ却テ其交通ノ手段トセラレ、城壁ハ之ヲ廢毀シ、濠ハ之ヲ埋立テ、之ニ廣キ阪道ヲ合セテ、其上ニ道路宅地公園地等ヲ設ケ以テ市ノ中外ノ交通ヲシテ及ブヘキ的便利ナラシメントセリ。

其全事業ハ豫メ秩序的ノ設計ヲ以テ之ヲ行ヒ、最初二三年間敷地ノ取拂ヲ爲シツヽアル間ニ、當時ノ最モ熟練ナル製圖家及機械工學者ヲシテ競爭的ニ設

計ヲ爲サシメタリ。此設計ヲ詳述セハ容易ニ數十葉ノ紙上ヲ埋メルヲ得ヘシト雖モ、此處ニハ極メテ簡單ニ其大要ヲ述フルヲ以テ足レリトスヘシ。其設計ノ中心點タリシモノハ圓周ノ大街道ニシテ即チ所謂「リング、ストラッセ」ナリ。サレト正シクイヘハ圓周トイフヨリハ寧ロ多角形ヲ爲セリ。此廣大ナル街道ニ面シテ幾多ノ公園地ヲ設ケ、公ノ建築物ノ敷地ヲ取除ケ、其餘ノ地域ハ之ヲ整劃ナル十字街及ヒ平行街路ニ分チ、宅地ハ之ヲ私人ニ拂下ケタリ。最初ハ市ト政府トノ間ニ細事ニ關シテ稍爭議アリシモ、後ニハ二者全ク相一致シテ此全市改造ノ大事業ヲ完成シタリ。サレト此大事業中殊ニ所謂「スタツト、エルヴイテルルング」即チ市街擴張ノ事業ハ皇帝ノ任命ニ係リ、中央政府ノ監督ノ下ニ在ル委員ヲ以テ之ヲ掌理セリ。域壁ハ固ヨリ國ノ所有ニ屬スルモノナルコト論ナカリシモ、阪道ノ所有權カ何ニ屬スヘキハ稍疑問ナリキ、其ハ何レニ屬ストスルモ、市街築造ノ設計ハ正當ニ市ノ事業ニ屬スヘキモノニシテ、宜シク市會ニ引渡サルヘキモノナリトハ市會ノ頻ニ主張スル所ナリシモ、皇帝ハ固ク執リテ動カササリシヲ以テ市會ハ遂ニ之ニ服從シタリ。

皇帝ノ政策ノ甚タ當ヲ得タリシコトハ爾來永ク凡テノ維也納市民ノ是認スル所トナレリ。蓋シ皇帝ハ新開ノ地域ヲ築造スル特別ノ大事業ニ就テハ、市會ヲシテ其責任ヲ免レシメ、之ヲシテ他ノ無數ノ重要ナル事業ニ對シテ其氣力ヲ專ニセシムルコト市會自身ノ爲ニ最モ利益ナルコトヲ洞知シタリシナリ。加之其設計カ皇帝ノ任命ニ係ル委員ノ手ニ成リシカ爲ニ、市會ニテハ到底ナシ肯ンセサル大膽ナル設計ヲ爲スコトヲ得タリ。新開地ノ土地ハ何レモ極メテ高價ノ土地ナレハ、市民ノ公選ニ基ク市會ノ如キニ於テ到底其一大部分ヲ裝飾用其他不生產的ノ公用ニ供スルコトヲ肯テシ得サルヘシ。若シ市會ヲシテ自ラ之ヲ行ヒシトセハ委員ノ手ニ成リシカ如キ設計ヲ見ルコトヲ得タリトハ到底想像ノ及ハサル所ナリ。サレト此ノ如キ狹量ナル設計ハ其結果ハ却テ財政上ノ成效ヲ得タルモノニアラサリシナルヘシ。皇帝ノ目的ハ唯擴張ノ事業ヲシテ收支相償ハシムルヲ以テ足レリトシ、其限度ニ於テハ出來得ヘキ限リ宏壯ナル設計ヲ作ラント欲シタルナリ。其全地域ノ五分ノ四ハ之ヲ公共用ニ留保シ、殘餘ノ五分ノ一ハ宅地トシテ之ヲ私人ニ拂下ケ

タリ。其代價ハ概算二億萬「フロリン」、即略一億六千萬圓ノ高ニ上レリ。此基（エルワイ）金ヲ以テ（デルンクスフント）委員ハ新市街及ヒ下水道ヲ作リ、尙多クノ公ノ建築物ヲ築造セリ。此等ノ建築物ハ市其他ノ官衙ニ於テ建築シタル建築物ト相待テ、維也納ノ「リングストラッセ」ヲシテ世界中ノ最モ宏壯ナル市街タラシメタリ。此レ程ノ高ヲ以テアルバニー、紐育或ハ費府ノ如キ米國諸市ニ於テハ、多クノ官衙、議事堂ナト建築セラレンコト思モ寄ラサルヘシト雖モ、塲地利ニ於テハ建築ノ費用ハ比較的ニ少額ヲ以テ足リ、二億萬「プロリン」トイヘハ維也納ニ於テハ巨額ノ金ナリ。之ヲ以テ公ノ建築ニ用ウレハ、其趣味アル裝飾街、及ヒ市ノ特色ナル正直ニシテ經濟的ナル行政ト相待テ其結果ノ偉大ナルモノアルハ期シテ待ツコトヲ得ベキナリ。新開地ノ私人ノ建築ハ凡テ全体ノ權衡ヲ保ツカ爲ニ嚴重ノ制限ヲ加ヘタレバ、一トシテ全市街ノ壯觀ヲ妨クルモノナシ。

「リング、スラッセ」ニ面スル重ナル新建築物ノ中ニハ、市役所アリ、一千八百八十五年ニ開設セラレシモノニシテ新「ゴシック」風ノ最モ美麗ナル標本ナリ。澳地利帝國ノ國會議事堂アリ、一千八百八十三年ニ開カレシモノニシテ純粹ナ

ル希臘風ノ建築ナリ。維也納大學ノ主タル建物アリ、一千八百八十四年ニ完成セラレシモノニシテ「レヂーサンス」風ノ大建築ナリ。一千八百八十八年ニ開カレシ歐洲無比ノ王立劇場アリ。一千八百七十年頃完成シタル「ヴオーチーヴ」派ノ教會アリ、一千八百八十二年ニ開カレシ裁判所アリ。美術及ヒ科學ニ關スル帝國博物館アリ、「レヂーサンス」風ノ二大建物ニシテ一千八百九十年ヨリ開カレ、其二ノ間ナル空地ニハマリア、テレサノ大銅像アリ。未タ建築中ナル新皇居アリ。一千八百七十年以前ニ完成シタル帝國「オペラ」場アリ。其他種々ノ宮殿、博物館、美術學校、兵營、及ヒ造兵廠、大商館等相列セリ。「リング、ストラツセ」ヲ非難スルモノハ、餘リニ宏壯ナル建築物ヲ一所ニ集ムルニ過キ、爲ニ個々ノ建築ハ稍其壯觀ヲ失フニ至レリトイフト雖モ、此非難ハ余輩ハ其實ヲ得タル者ナルヲ信セズ。サレト新維也納ノ新維也納ノ建築ノ優レタルカ爲ニ非ラス、余輩ハ唯幅二百呎ニモ近キ美ナル「リング、ストラツセ」ハ其開カレタル僅々一千八百六十五年ノコトナルモ、世界中何レニモ見ルヲ得サル最モ宏壯ナル近世的建築ノ列ヲ以テ滿テリトイフヲ以テ足レリトスヘシ。

市街擴張基金（エルワイテルングスフンド）ニ依リテ爲スコトヲ得タリシ此驚クヘキ改造ハ、土地國有論者ノ爲ニ所謂 unearned increment（アンアーンドインクリメント）（自然的增價）ノ效果ノ如何ニ大ナルカヲ示スヘキ一ノ有力ナル例證ヲ與ヘタルモノナリキ。舊時ノ城壁及ヒ防禦地ノ僅ニ一小部分ヲ私人ニ拂下クルニ依リ、殘餘ノ土地ニ美麗ナル市街ヲ造リ貰リニ無比ナル公ノ建築物ヲ築キ、噴水銅像等ヲ以テ飾ラレタル公園地ヲ設ケ、然カモ尙數百萬ノ基金ヲ剩シタリトイヘリ。然レトモ此基金ヲ以テ實際ニ凡テノ維也納改造ノ費用ヲ償ヘリトイフハ事實ニ反ス。市ハ市街及ヒ建築ノ費用ノ一大部分ヲ補助シ、及ヒ市役所ノ費用ヲ負擔シ、帝國政府及ヒ下澳地利州モ亦各自已ノ建物ノ建築費用ヲ負擔シタリシナリ。

若シ新帝都ノ築造ニ於テ國、州及ヒ市ノ政府カ其力ヲ盡クセルニ止リ、私人ニシテ之ニ協力スルニ非ラサリシナラハ、其ノ目的ハ尙之ヲ達スルニ遠カルヘシ。維也納ノ最モ要スル所ハ宏壯ナル公ノ建築ヨリハ寧ロ其急速ニ膨脹シツヽアル市民ノ爲ニスル適當ナル居宅、及ヒ其商人ノ爲ニスル商店ニ在リキ。

新家屋ノ租稅免除

幸ニシテ市街擴張ノ事業ハ啻ニ新開地ニ於テノミナラス、他ノ部分ニ於テモ私人ノ建築ニ對シテ驚クヘキ奬勵ヲ與ヘタリ。數個ノ大村落ハ新ニ市ノ郊外ニ築造セラレ、舊來ノ郊外地ノ醜陋ナル建築ニ對シテ、急激ナル反照ヲ見ハセリ。此等私人ノ建築ヲ奬勵スルニ預リテ最モ力アリシモノハ疑モナク新家屋ニ對シテハ租稅ヲ免除スヘキコトヲ定メタル法律ノ發布ニ在リキ。此法律ニ依リ新開地ニ於テ最初ノ五年間ニ家屋ヲ建築シタルモノハ三十年間、次ノ五年間ニ之ヲ完成シタルモノハ二十五年間、免稅スヘキコトヲ規定セリ。此等ノ事情ハ言フ迄モナク拂下ケ敷地ノ代價ヲ增加シ、隨テ擴張基金ヲ富裕ナラシメタリ。市ノ他ノ部分ニモ尙少年期ノ免稅ヲ許ルシ、其期間ハ建築完成ノ遲速ニ應シ十五年乃至十八年トナセリ。此ト同樣ノ方法ハ尙時々其以後ノ建築ヲ奬勵スルカ爲ニ公布セラレタリ。但其免稅期間ハ最後ニハ十二年ニ迄短縮シタリ。維也納ノ如キ家屋稅ノ額カ略家屋賃貸價格ノ半ニ達スル市ニ於テハ此ノ如キ免稅ハ其影響頗ル著ルシク、加フルニ既存ノ家屋ニ就テモ稍著ルシキ之ニ修繕改良ヲ加ヘタルモノニハ、同樣ノ恩典ヲ與ヘラ

其效果

投機的建築

レタルヲ以テ、其結果ハ殆ト市街全体ノ改築ヲ來タシタルコトハ容易ニ想像セラレ得ベシ。此機會ヲ以テ又市ノ內部ノ區ノ住民ハ大ニ其外部ノ區ニ移住シ、而シテ內區ノ商事會社其他商業ニ關スル建物ハ何レモ一般ニ再築又ハ改良セラレタリ、新開地ニ於テハ銀行其他金融ノ機關ハ大ニ自ラ建築ヲ起シ、又ハ之ヲ保護シ、而シテ數多ノ建築株式會社ハ互ニ競爭シテ市ノ各部ニ投機的ノ建築ヲ爲シ、其株式ハ日々取引所ニ於テ賣買セラレタリ。一千八百七十三年ニ至リテ其反動ハ來リ、會社其他一箇人ノ投機業者ノ破產シタルモノ甚タ多カリシモ、市ハ此間ニ永久ノ大改良ヲ得タリ。

建築規則

新建築ノ搆造ニ就テハ政府ハ最モ嚴重ナル制限ヲ加ヘタリ。余輩ノ知レル限リニ於テハ近世ノ建築ニシテ其堅牢耐久ナルコトハ世界中維也納ノ右ニ出ツル者ナシ。最上ノ階ニ至ル迄石造ノ階子ヲ用ウルコト、壁及ヒ床ノ桁ハ極メテ堅固ナルコト、二重ノ防火壁ヲ設クルコト、空氣及ヒ日光ヲ容ルヽニ必要ナル裝置ヲ爲スコト、地下室及ヒ最上樓ノ居住ヲ禁スルコト、市ノ新給水及ヒ新下水ト相當ノ連結ヲ爲スコト、此等ヲ初メトシ尙健康安寧ニ關スル他ノ

種々ノ制限及ヒ町並、家ノ高サ、外觀ノ均一等ニ關スル制限ハ維納也ノ建築規則ノ重ナル條項ニシテ、其嚴重ナルコト知ルヘキナリ。今日ニ於テハ市ノ區域大ニ擴張セラレタルヲ以テ、外區ノ裏町ニ建築スル家屋ニ付テハ此等ノ建築規則ハ稍其適用ヲ變更シタルモ、尙甚タ嚴重ナルヲ失ハス。

建築規則ノ必要

維也納ノ有力者ノ一人ハ余輩ニ向ヒテ市ノ建築規則カ嚴重ニ過クルカ爲メ貧民ノ借家賃ヲシテ甚タ高カラシムルヲ免レストイフモノアリキ。サレトモ余輩ハ其非難ガ一般ノ觀察トシテモ將タ維也納人トシテノ特別ノ意見トシテモ其當ヲ得タルヤヲ疑フ。余輩ガ歐洲諸市ノ市政ヲ叙述スルニ當リテ市民ノ居宅ノ改良ニ關スル官ノ干渉ヲ述フルノ稍詳細ナリシハ、必スシモ此干渉カ其レ自身ニ於テ望マシキコトナリトイフノ意味ニ非ラス、唯之ニ依リテ最モ完全ナル建築規則ハ何レノ所ニ於テモ必スシモ實施セラルヽヲ要スルモノナルコトヲ明ニセントテナリ。

内部市街ノ改造

城壁ノ破壞ニ伴ヒテ舊來ノ内部ノ市街ハ密聚狹隘ノ有樣ヲ脫シ、人口及ヒ通商ハ廣ク外部ニ膨脹シタル爲メ、所謂「舊維也納（アルテウイーン）」ノ道路制度ハ大ニ改良セラルヽコトヲ得タリ。其道路ハ其幅ヲ廣クシ其線ヲ直クシ、先ツ地下ニ下水道ヲ設ケ、地面ニハ適當ノ鋪石ヲ爲シ、斯クシテ内部市街（インネレスタット）ハ其繁榮ノ新時期ヲ得タリ。

外部ノ街路

外部ノ道路モ亦大ニ其修築ヲ加ヘタリ、新ニ市ニ追加シ併合統一シテ九ノ外部區トナシタル三十四個ノ村落（ゲマインデン）ハ從來ハ地方ヨリ舊來ノ市ニ通スル街道ノ兩側ニ起リシモノナリシガ、此等ノ街道（ハウプトストラッセ）ハ今ハ「リング、ストラッセ」ヨリ射出スル大道路トナリ、而シテ舊時ニ於テハ其道路ハ冬ハ泥夏ハ埃ノ爲メ殆ト通行ニ得ヘカラサル程ナリシガ、今ハ鋪石、下水、街燈整ハサルナク、總テノ點ニ於テ中央部ト近郊地トノ交通ニ便利ナル街道トナレリ。恐クハ同樣ノ大サナル市街ニ於テハ市ノ中央ニ對スル交通ノ便利ナル新維也納ニ如ク者アラサルヘシ。殆ト凡テノ重要ナル建物ハ國會、裁判所、大學其他ノ校舍、中央郵便局、取引所、市役所其他ノ官衙、帝室ノ宮殿、兵營、重ナル劇場、珈琲店、其他ノ娛樂場ハ銀行其他重ナル商店ト共ニ何レモ「リング、ストラッセ」又ハ其近傍ニ在ラサルナク、而シテ内部市街ハ各種ノ商店備ハサルナシ。内部市街ハ略四十

維也納ノ全道路制ノ完全ナルコト

維也納ノ改造

市内ノ鐵道

迅速交通ノ機關

「ギュルテル、ストラッセ」

處所ニ於テ「リング、ストラッセ」ト交叉シ、而シテ「リングストラッセ」ヨリ外部ニ向テハ略十五線ノ大街道（ハウプトストラッセ）ヲ射出ス。此整然タル交通ノ機關ニ對シテ一物ノ之ヲ妨クルモノナシトイフモ不可ナカルヘシ。

市內鐵道ハ內部市街ニハ入ラス、其運轉ハ凡テ「リングストラッセ」ヲ以テ中心トナセリ。即チ市外ヨリ內部市街ニ入ラントスルモノハ射出街路ノ何レカ一ニテ鐵道ニ乘リテ「リングストッラッセ」ニ入リテ其周圍ヲ廻リテ最モ目的地ニ近キ所ニ下車スヘク、外部ニ出テントスルモノハ同樣「リングストラッセ」ノ何レヨリニテモ乘車シ、其目的ノ射出線ニ來リ、其レヨリ更ニ外部ニ向フナリ。

其後「リングストラッセ」ヨリ外部ニモ之ト中心ヲ同ウスル地ノ廻周街路ヲ作リ之ヲ「ギュルテル、ストラッセ」ト稱ス。此街路ニモ亦各射出線ト相交叉セル鐵道線路ヲ敷設セリ、爾來市ノ益膨脹シテ遂ニ一千八百九十年ニ「ギュルテルストラッセ」以外ノ一大地域ヲ併合スルニ及ヒテ交通ノ機關ハ一層之ヲ擴張シ、以テ新郊外地ノ五十萬ノ人民ノ交通ヲ便ニセリ。

最近ニ至リ一部ハ電氣鐵道ヲ以テ現在ノ市街鐵道ノ各・

馬車鐵道

勞働者馬車

乘車賃

停車場ヲ連結スル迅速ナル交通ノ機關ヲ新設スルコト市ノ計畫スル所トナレリ。電氣鐵道ハ十字形ニ內部市街ヲ貫通セシメ「リング、ストラッセ」ノ外部ニ之ト平行シテ少許ノ距離ヲ距テヽ內周線ヲ敷設シ、之ニ九又ハ十ノ停車場ヲ設ケ、之ヨリ六線前後ノ射出線ヲ敷設シ、而シテ別ニ所謂「ギュルテル」線トシテ外周ノ線路ヲ敷設セシトナリ。此事業ハ多年ヲ期シテ漸次完成セラルヘキモノナレトモ、其一大部分ハ一千八百九十八年以前ニ完成セラルヘキ豫定ナリ。

通常ノ市街鐵道ノ運轉ハ殆ト維也納馬車鐵道會社ノ一手ニ專屬ス。其特許期限ハ一千八百二十五年迄延期セラレ、其條件トシテ巨額ノ賠償金ヲ市ニ拂ハシメ、及ヒ市民ニ利益アル種々ノ約束ヲ爲サシメタリ。

會社ハ勞働者ノ爲ニ廉價ヲ以テ朝夕ニ特別ノ馬車ヲ運轉シ、小學兒童ニモ特別ノ取扱ヲ爲シ、其各種ノ射出線ハ圓周賃錢法ニ依リ、一圓周五「クロイチェル」（我四錢）ノ賃金ヲ徵ス、何レノ圓周ニ屬スルニ拘ラス十「クロイチェル」（我八錢）ノ賃錢ヲ支拂ヘハ維也納市中何レノ地ニモ隨意ニ至ルヲ得ヘク勞働者ノ特別馬車

ハ距離ノ遠近ヲ問ハス四「クロイチェル」（三錢）ナリ。賃錢ヲ定ムルハ官ノ許可ヲ要シ、其他其事務ハ一般ノ官ノ監督ヲ受ク。全体ニ就テイヘハ其營業ハ極メテ能ク整ヒ、其巧ナル管理ハ人ヲシテ伯林ヲ思ハシム、若シ之ニ市ノ迅速交通ノ機關ヲ加フルニ至ラハ維也納ハ市内交通機關ノ極メテ能ク發達シタル市タルヲ得ヘシ。

官設鐵道

「ダニューブ」ノ改良

維也納ノ改造時期ニ於ケル諸種ノ公ノ事業ハ此簡單ナル叙述ニ於テハ之ヲ列記スルコトタニ難シ、然レトモ二三其最モ重要ナルモノヲ擧クレハ第一ニハ鐵道ノ敷設ナリ「官設鐵道ノ停車場「ダニューブ」ノ架橋ハ何レモ市ノ發達ニ大ナル效果ヲ與ヘタルモノナリキ。市ノ事業トシテ爲サレタル最モ大ナル一ハ「ダニューブ」河航通ノ改良ニ在リキ。此大河ノ下澳地利ニ於ケル自然ノ水路ハ廣大ナル沼地ニシテ、堅固ナル堤防ヲ設クルコトヲ得ス、處ニ依リテハ十數個ノ支流ヲ分岐シテ、數多ノ島嶼ヲ作リ、時ニハ全然之ヲ水中ニ沒スルコトスラアリ。維也納近傍ノ「ダニューブ」ハ斯ノ如キ有樣ニテ、其小路ハ舊來ノ市ヲ距ルコト數哩ノ東ニ在リテ螺線形ヲ爲セリ。サレハ其水路ヲ變更スル

衛生行政

「アルプス」山水ノ給水

爲ニ巨萬ノ資ヲ投シテ新ニ直線ノ運河ヲ鑿チ、之ニ依リテ其水路ヲ一層市ニ近クシ、堤防ヲ築キ、水底ヲ浚渫シ、便利ナル陸揚場ヲ設ケ、鐵道ト連絡ヲ通シテ貨物ノ運送ヲ容易ニシ、水上ニハ「ダニューブ」滊船會社ノ二百ノ蒸滊船ト八百ノ小船ヲ以テ航通ノ便ニ備ヘタリ。市及ヒ中央政府ハ陸運及ヒ水運ニ關シテ出來得ヘキ限ノ便宜ヲ與ヘ、而シテ市ハ自ラ倉庫ヲ備ヘテ商人其他ノ船主ノ貨物預入ノ需ニ應ス「ダニューブ」河上ノ數個ノ大橋梁モ亦市ノ事業ノ一部トシテ新ニ架設セラレタリ。

衛生上ノ改良モ亦市ノ外觀上及ヒ商業上ノ發達ト相伴テ大ナル進歩ヲ爲シタリ。公共衛生事業ノ最モ大ナルモノハ新給水工事ニ在リキ。維也納ノ給水ハ從來甚タ粗惡ニシテ不良ノ飲水ニ依リ媒介セラルヽ疫病ノ流行甚タ頻繁ニシテ、殊ニ窒扶斯、虎列拉其他ノ流行病其ノ患ヲ絕タサリキ。此ニ於テ數百萬「フロリン」ノ資ヲ投シテ偉大ナル給水工事ヲ起シテ、八十哩ヲ距テタル「アルプス」山中ノ大水源ヨリ之ヲ導キタリ。此水質ハ恐クハ世界中ノ大都會ノ給水中最モ善良ナル者ナルヘシ。一千八百四十八年乃至五十七年中維也納

ノ平均死亡比例ハ一年一千人ニ付キ殆ト四十二人ニ近カリシカ「アルプス」山中ノ水源ハ一千八百七十三年ニ始メテ導カレテ後ハ、一千八百七十八年ヨリ一千八百八十八年マテノ平均死亡比例一年二十八人五七ニ下レリ。此死亡ノ減少ヲ來タシタル原因ノ一大部分ハ清潔ナル山水ノ供給ニ在リシハ疑ヲ容レス。

下水道ノ改築

然レトモ衛生上ノ改良ハ獨リ「アルプス」山水ノ供給ニ止ラス、其下水道ハ全部改築セラレ、新ニ幹部下水道ヲ築キテ全惡水ヲ地下ニ引キ入レ、其レヨリ「ダニユーブ」河中ニ放流セリ。維也納ノ衛生技師及ヒ行政廳ハ「ダニユーブ」ノ如キ大河ニ依リテ市ノ下水ヲ放流シ得ル市ニ於テハ、之ヲ土地ニ灌漑スルハ有利ノ事ニ非ラストナセリ。伯林若クハバーミンガムノ如キ市ニ於テハ、下水田ヲ設クルハ極メテ必要ノ事ナルモ、流勢ノ急ナル大河川ニ依リテ海洋ニ注グコトヲ得ヘキ市ニ於テハ其惡水ヲ利用スルヨリハ、寧ロ之ヲ放棄スル方經濟上利得ナルカ如シト。サレト將來ノ經驗又ハ新發見ハ恐クハ此決定ヲ飜ヘスノ時アルヘキカ。

傳染病院

其他衛生上種々ノ新政策ヲ採用シテ、傳染隔離病院ヲ新築シ、飲食品ノ供給ハ嚴密ニ之ヲ檢査シ、並ニ公立ノ大屠畜場及ヒ牧畜場ヲ築キ、以テ肉類ノ供給カ最モ健全ナルコトヲ保障シ得ルニ至リタルノミナラス、其代價ヲシテ又遙ニ廉ナラシメタリ。

飲食品取結

其他又市立ノ卸賣及小賣市場ヲ設ケテ、凡テノ飲食品ノ販賣ニ便シ、其品質ヲ改良シ、及ヒ其賣價ヲ廉ナラシメタリ。此等ノ事業カ市民一般ノ健康ヲ增進スルニ於テ大ナル補益アリシハ疑ナシ。

其他ノ衛生行政

墓地ノ制度モ亦大ニ改良ヲ加ヘ、市街ノ掃除モ市政中ノ一ノ重要ナル地位ヲ與ヘラレ、畜類ノ屍体ヲ處分スルカ爲メ衛生的且ツ經濟的ナル一大建物ヲ設ケ、之ニ依リテ肥料其他膠、硬膏ノ如キ小產物ヲ製出ス、是等ハ唯市ノ行政カ甚タ經濟的ナル一例トシテ見ルヘキモノナリ。

死亡比例ノ減少

維也納ノ死亡比例ハ一千八百六十年以前ニハ千人ニ付四十人以上ナリシモノ、今ハ二十四人以上ニ上ラス。千八百九十二年ニハ二十四人三ニシテ、一千八百九十三年ニハ恰モ二十四人ニ下リ、一千八百九十四年ニハ二十二人八ニ下レリ。之ヲ三十年以前ノ狀態ニ比スレハ一年二萬人以上ノ生命ヲ救ヘル割ニシテ、最モ精密ナル計算ニ從フニ恐クハ六

十萬人以上ノ病者ヲ除キタルナルヘク、社會ノ生產力、進化力ノ之ガ爲ニ增加シタルモノ測リ知ルヘカラサルナリ。

教育制度

教育ノ制度モ亦新時期ト共ニ大ナル進歩ヲ爲シ、市內ノ各區ニ初等教育ノ爲メ數百ノ大校舍ト、中等及ヒ專門教育ノ爲メ多數ノ校舍トヲ新築セリ。教育行政ノ爲ニ市ノ中央學務委員會アリ。其ノ一部ハ市ノ任命ニ係リ一部ハ各十九區ノ學務委員會ヨリ選出シタル者ナリ。各區ノ選擧人ハ若干名ノ學務委員ヲ選擧シ、此委員ハ市ノ任命セル若干名ト共ニ區ノ學務委員會ヲ組織ス。學校ノ會計ハ市會之ヲ管理シ、而シテ市長ハ教育行政ノ長タルナリ、サレハ各區ノ學務委員ハ多數ノ市民ノ助ヲ得テ熱心ニ學校ヲ管理シツヽアリ。

學務委員會

窮民救助

窮民救助ノ事業モ亦中央ニハ一般市會ニ依リテ管掌セラルト共ニ、其通常ノ實際ノ執行ハ各區ノ會議ニ於テ之ヲ掌ル、其委員ノ大部分ハ市民ノ直接選擧ニ係ルモノナリ。其組織ノ特色ハ能ク整頓シテ結果ノ良好ナルニ在リテ新奇ナル主義ヲ採用セルニアラサレハ、今別ニ之ヲ詳述スルノ必要ナシ。

人口ノ膨脹

維也納ノ擴張事業ハ主トシテ人口ノ膨脹ニ其動因ヲ有シタリシコトハ既ニ之ヲ述ヘタリ。一千八百六十年ヨリ一千八百九十年ニ至ル間ニ市ノ境界內ノ人口ハ五十萬人ヨリ八十萬人ニ增加シ、而テ市ノ外郭以外ニ於テモ新ナル村落起リテ、一千八百九十年ニハ人口殆ト五十萬人ニ近カリキ。此等ノ村落ヲ市ノ區域內ニ包括スヘキコトハ數多ノ理由ニ依リ正當ナリト認メラレタルニ由リ、其區域ヲ廣ケテ之ヲ併合シ、斯クシテ市ノ新區域ハ殆ト七十方哩ヲ包括スルニ至レリ、一千八百九十年以前ノ舊區域ハ僅ニ二十一方哩ニ過キサリシナリ。一千八百九十五年ノ維也納ノ人口ハ少ク見積リテ百五十萬人ヲ數フルヲ得ヘシ。最近ニ至リテハ奧地利國ノ地方分立（ダセントラリゼーション）ノ趨勢著ルシキコト、經濟上ノ大不景氣打續キテ其恢復甚タ遲緩ナリシコト、匈牙利ノ鐵道發達シテ其中心タルブダペストノ勃興シタルコト、其他尙此ニ列記スルヲ肯テセサル種々ノ原因ニ由リテ嘗テ、前途好望ヲ以テ充チタル維也納ノ將來ハ稍雲霓ノ之ヲ遮キルモノアルニ似タリ。

維也納ノ將來

維也納ノ改造

改造再築シタリシニ非ラサレハ、今日ノ維也納ハ或ハ救フヘカラサル零落ニ陷キレルカ、然ラサルモ經濟上甚タ危急ノ地位ニ在ルヘキナリ。幸ニシテ此

等ノ大膽ナル大改造ハ、其幸運ナル時期ニ於テ成效シタルヲ以テ、將來如何ナル政治上ノ困厄ヲ以テスルモ、如何ナル商業上ノ競爭者ヲ以テスルモ、永久ニ奪フヘカラサル地位ヲ維也納ニ與フルコトヲ得タリ。

以上余輩カ維也納ノ市政ヲ賞揚シタルモノハ專ラ殆ト二十五年ニ近キ繼續ヲ爲シタル自由黨政府ノ事業ニ關スルモノナリ。一千八百九十四年及ヒ九十五年ノ政變ハ此政府ヲ變更セシメタルモ其結果ヲ論スルハ今日ハ尙早キニ過ク。此政變ニ依リ非「セミチック」黨ハ一時維也納市會ノ多數黨タリシ自由黨ヲ覆ヘシ、而シテ人種及ヒ宗教ノ娼嫉ニ因リ、從來ノ教育制度ヲ繙ヘシ、其他種々ノ方法ニ依リ市政ノ圓滿ナル執行ヲ阻止セントスルカ如シ。然レトモ余輩ハ未タ一千八百九十五年ノ秋季ノ市會選擧ニ於ケル非自由派非「セミチック」派ノ勝利及其市會ニ於ケル新政策ヲ以テ與ニ市民ノ輿望ヲ代表スルモノナルコトヲ信スル能ハス。

第九章　ブタペストノ新興

歐洲諸國ノ重要ナル諸市中其實際ノ價値ニ比シテ世ニ知ラルヽコトノ割合ニ最モ少サキハ、匈牙利ノ國都ニシテ其最モ主要ノ市街タルブタペストニ如クモノナシ。ブタペストカ此ノ如ク世ニ知ラレザル所以ニ就テハ、或ハ其歐洲ノ通商及ヒ交通ノ通路ヨリ遠ク隔タレタルコト、其國語タル「マジアール」語及ヒ其文學カ歐洲ノ文明ヨリ孤立離隔セルコト、若クハ匈牙利ノ名ニ於ケル凡テノモノガ墺地利ノ名ニ壓セラルヽコト等、其他尙數多ノ理由ヲ數フルヲ得ヘシト雖モ、其最モ主要ナル理由ニシテ然カモ最モ簡單ナルモノハ今日ノ匈牙利カ其ノ發達尙最新ノ事ニ屬シ未タ世ニ知ラルヽノ暇アラサルコト是ナリ。ブタペストノ市民カ自ラ其市ヲ以テ凡テノ歐洲諸市中近時ニ於テ其發達最モ急速ナリシモノトナシ、好ンテ其膨脹ヲ市加俄其他ノ米國ノ新都市ニ比スレハ決シテ過當ニ非ラサルナリ。

コッスートカ悲酸ナル匈牙利獨立戰爭ノ後、逃レテ米國ニ匿レタリシ頃ハ、ブダペストノ新興

ニユーブ河ヲ隔テヽ其兩岸ニ相面シタルブダ及ヒペストノ兩姉妹市ハ其人口合セテ僅ニ十萬ニ過ヌルコト多カラサリキ、千八百九十一年ノ調査ニ於テハ此二市ヲ一ニ併セタルブダペストハ其人口實ニ五十萬人ニ超エタリ。然レトモ人口ノ增加ノ此ノ如ク顯著ナルニモ拘ラス、余輩ヲ以テ見レハ其膨脹ニ伴フ市ノ物質的ノ進歩ハ遙ニ之ヨリモ顯著ナルモノアリトイフヘシ。其人口ニ於テ今世紀ノ半ヨリ以降四倍又ハ五倍ノ增加ヲ爲シタルニ止ラスブダペストハ實ニ其粗野荒敗セル狀態ヨリ出テヽ近世ノ國都ノ美觀ヲ備ヘテ餘ス所ナキニ至リシナリ。都市ノ急速ノ進歩ヲ爲ス者ハ其行政府ノ先見ノ明ヲ缺キ其施設ノ當ヲ得サルニ由リテ動モスレハ其發達ノ方針ヲ誤ルモノ通常ナリブダペストモ亦必ラスシモ此種ノ過ナキニ非ラスト雖モ、大体ニ於テ市ノ執政者カ能ク其方計ノ正鵠ヲ逸セスシテ巧ニ全体ノ調和ヲ保チ、近世ノ學理ニ適合セルモノアルハ、ブダペスト以外ニ其例ヲ見ル稀ナリ。其施設ノ細目ニ於テモ若クハ其大体ノ方針ニ於テモ、我米國ノ諸市ノブダペストニ學フヘキモノ甚タ少カラサルヘシ。

其發達ヲ來セル政治上ノ原因

孛澳勾爭以後ノ匈牙利ノ地位

歐洲諸市ノ盛衰ハ商業上ノ事由ニ基クモノ多キト共ニ政治上ノ事由モ亦其影響必スシモ之ニ讓ラス。現時ニ於テハ其美觀殆ト以テ巴里ニ比スルヲ得ヘキ維也納ノ發達ハ殆ト全ク一千八百四十八年ノ革命後ニ於ケル政治上ノ事變ニ其原因ヲ發セルコトハ余輩ノ前章ニ述ヘタル如シ。維也納カ其新帝國ノ首都トナリ其自由ナル行政組織ヲ得テヨリ、澳地利全土ノ富ト人口トハ其市ニ流入シ、帝國政府トハ相協力シテ「リング、ストラッセ」ヲ初メトシテ盛ニ全都ノ改造ヲ勉メタリシ間、匈牙利ハ戰敗ノ後ヲ承ケテ空シク壓抑ノ下ニ苦シメルノミ、其發達殆ト見ルニ足ルモノナカリキ。千八百六十六年ノ孛澳戰爭ハ突如トシテ此ノ狀態ヲ一轉シ、匈牙利ハ能クコッスート及ヒ其同志カ千八百四十八年ニ決死ノ勇戰ヲ以テモ得ルコト能ハサリシ凡テヲ要求シ得ヘキ地位ニ立テリ。其全ク墺地利ニ分離スルコトヲ肯テセスシテ、千八百六十八年以來ノ聯合國ヲ形クリシニ至リシハ近世ノ一偉人タル匈牙利ノ聰明ナル愛國者フランシス、デイアークノ建策ニ出ッ。斯クシテ匈牙利ハ最モ自由ナル立憲王國トナリ、特立ノ國會、特立ノ內閣、特立ノ行政組織ヲ

聯合國ノ成立

ヘブダペストヲ以テ其時都トナセリ。墺地利ノ皇帝ハ同時ニ匈牙利ノ國王タリ、二國ハ全然對等ノ聯合國タリ。其軍事及ヒ外交ニ關スル事件ハ必要上一帝國ノ如ク之ヲ掌理スト雖モ、其聯合ノ豫算ヲ議決シ及ヒ聯合ノ事務ヲ指揮スルカ爲ニ、毎年會同スル二國國會ノ協議員ハ維也納トブダペストトニ年々交番ニ會同スルコトヽナレリ。皇帝ノ常時ノ住所ハ維也納ニ在リ、聯合帝國政府ノ所在地モ亦維也納ニ在ルニハ相違ナシト雖モ、皇帝ハ其皇族及ヒ内臣ト共ニ勉メテ多クノ時ヲ匈牙利ニ過コシ、要スルニ此二國都ハ政治上ニ於テ出來得ヘキ的均等ノ地位ニ置カレタリシナリ。

ブダペストノ新時期

政界ニ於ケル此變動カブダペストニ及ボシタル影響ハ最モ驚クヘキモノナリキ。匈牙利ハ遂ニ其千八百四十八年ノ希望ヲ事實ニシテ、完全ナル自由自治ノ組織ヲ得、國民ノ元氣ハ勃興シ、而テ其活動ハ其國都ニ集注セリ。多望ナル少壯政治家ハ又其榮達ヲ維也納ニ求ムルヲ要セス、自治ノ政治ハブタペストニ於テ之ニ其充分ノ好機ヲ與フルニ至レリ。社會上ニ於テモ亦之ニ讓ラス、匈牙利ノ貴族ハ其他ノ帝國内ノ凡テノ分子ト共ニ、絶エス維也納ノ建築ノ美觀ト社會ノ繁榮トニ寄與シタリシモノヽ、今ハ匈牙利國會ノ上院議員トシテ多クハ其巨宅ヲ自國ノ國都ニ築クニ至リ、其維也納ニ對スルハ尚伯林若クハ巴里ニ對スルト多ク異ナルナキニ至レリ。維也納カフランツ、ヨゼフノ帝國ノ唯一ノ國都トシテ改造裝飾セラレタリシ結果ノ漸ク將ニ顯著ナラントスルノ時ニ當リ、其領土ハ二分シテ然カモ其少シク大ナル部分ニ之ニ對抗スヘキ他ノ一ノ國都ヲ生シタリシナリ。匈牙利ノ人口ハ墺地利ニ及ハス其商業ノ繁榮亦遠ク其下ニ在リト雖モ、維也納カ種々ノ點ニ於テ此變動ノ爲ニ挫折セラレタリシハ疑ヲ容レス。加之墺地利ニ於テハ地方分立ノ趨勢漸ク著ルシキモノアリ。「ボヘミア」人ハ自己ノ地方都會タルプラーグノ發達ヲ勉メ、彼蘭人ハ又自己ノ主都「クラコウ」ニ其氣力ヲ注キ、「モラヴィア」人ハブリュン、伊太利人ハトリエストニ各其改良ヲ企テ、其他ノ各地方都會モ亦各其地位ヲ進メツヽアリ。之ニ反シテ匈牙利ニ於テハブタペストハ一ノ競爭市府ヲ有セス、凡テノ通路ハ盡ク其首都ニ集マレリ。匈牙利國民ノ能ク統一シ團結セルハ墺地利ニ於ケル各地方ノ散在分立セルト著ルシキ反照ヲ著ハスモノナリ。

墺地利ニ於ケル地方分立ノ趨勢

匈牙利ノ統一

ブダペストハ今ハ千七百万ノ好望ナル進取的國民ノ首都タリ、此一ノ政治上ノ新事實ハ以テ其發達ノ偉大ナルヲ表明スルニ充分ナルヘキナリ。

ブダペストノ商業上ノ地位

商業上ノ事情モ亦必スシモ之ヲ看過スルコトヲ得ス。匈牙利ハ一農業國ニシテ其大部分ハ「ダニユーブ」及ヒ其重ナル支流ノ流域ニ在リ。中部匈牙利ハ廣濶ナル一大平原ニシテ、耕田廣ク相連ナリ、何等ノ之ヲ遮ギルモノナシ。其收獲ノ重ナルモノハ小麥、玉蜀麥、オート麥、大麥、荅等ニシテ、六七月ノ交若シ其地ヲ過クレハ見渡ス限リ此等ノ穀類ノ豐熟セルアリ。墻壁等ノ毫モ目ヲ遮ルモノナク、恰モ米國ナルイリノイス又ハイオワノ諸州ニ見ルカ如キ光景ヲ見ルヘシ。近時其國ノ時ヲ得タルト共ニ其收獲ハ著ルシク增加シタリ、而シテブダペストハ其農產物ノ市場タルナリ。其市場トシテ匈牙利ノ平原ニ對スル關係ハ、市加俄ノイリノイス及ヒイオワ二州ニ對スル又ハミニアポリスカミンチソタ及ヒダコタ二州ニ對スルカ如シ。僅々數年前ニ於テ此匈牙利ノ地方カ商業上如何ニ幼稚ニシテ、其農產物ノ剩餘ヲ歐州市場ニ輸出スルニ如何ニ困難ナリシカハ殆ト想像ニ及ハサルモノアリ。ブダペストノ新政府

農產物市場トシテノブダペスト

ハ大ニ商業及ヒ農業ヲ奬勵スルノ政策ヲ取リシモ、其國貧シクシテ資本ニ乏シキヲ以テ、其鐵道ヲ敷設スルニハ他國ノ資本ニ待タサルヘカラサリキ。即英佛及ヒ獨三國ノ資本家ニ巨額ノ補助金ヲ與ヘ、之ヲシテ會社ヲ作リテ其國ノ鐵道ヲ敷設セシメタリ。然レトモ政府ハ後ニ至リテ十數個ノ私設會社ニ毎年ノ補助金ヲ下付スルヨリハ、之ヲ買收シテ國有トナシ、國ノ行政府ノ下ニ之ヲ管理スルノ利益アルコトヲ認メタリ。此政策ノ甚タ當ヲ得タリシコトハ後ノ事實ニ依リテ之ヲ證明セリ。政府ハ其國有鐵道ヲ出來得ヘキ的ノ方法ヲ以テ其國ノ產業ノ發達ニ適合セシメタリ。鐵道行政ノ管理ノ下ニ於テブダペストノ政府ハ又大機械工場ヲ設ケ、機關車ヲ初メトシテ農業器械ニ至ル迄各種ノ大機械ヲ製造セシム、就中草刈器械ハ其特製物ナリ、此器械カ農具トシテ東南歐洲ニ輸入セラレシハ僅ニ最近ノ事ニシテ、固陋ナル農民ハ未タ之ヲ用キルニ慣ルヽニ至ラス。余輩カ近年ノ一夏季ニ匈牙利ノ平野ヲ過キシトキ、數十ノ草刈夫カ、恰モトルストイノ『アンナ、カレニナ』中ノ有名ナル草刈ノ章ニ於ケルカ如ク、土地ノ風ナル長キ白木綿ノ「ヅボン」ヲ穿チ、一列ニ並ヒテ

其調子ヲ合セ、大鎌ヲ振リテ秣ヲ刈リツヽアルヲ見タリキ。余輩ハ實ニ一モ草刈器械ヲ使用スルモノアルヲ見サリキ、サレド余輩ノ確聞スル所ニ依レハ此等ノ器械モ或ル地方ニ於テハ已ニ盛ニ使用セラレ、尚益々其使途ヲ擴ケツヽアリトイフ。

匈牙利國中ノ鐵道ハ盡クブダペストニ集注スルカ故ニ匈牙利ノ農業ノ發達ノ爲ニスル各種ノ手段ハ即チ同時ニ其商業市トシテブダペストヲ盛ナラシムル所以タリ。然レトモ穀類ノ運送ハ又多ク河流ヲ利用シ、ブダペスト農產地方ノ間ニ於ケル「ダニユーブ」及ビ其支流ニハ數百ノ屋根付ノ穀物船ノ絕エス航通セルモノアリ。此等ノ穀物船ハ其搆造「ダニユーブ」地方ニ特有ナルモノニシテ其大ナルモノニハ六百噸ノ穀類ヲ積載シ得ヘキモノアリ。政府ハ大ニ河川ノ航通ヲ奬勵シ、ブダペストニ於テモ大ニ其河ノ改良ヲ行ヘルコトハ後ニ述フル所アルヘシ。ブダペストノ發達ハ以上述フルガ如キ事情ニ原因シタル者ナリト雖モ別ニ其發達ヲ助ケタル他ノ一ノ原因アリ、麴粉製造業是ナリ。最近二十五年間ニ於テ粉製造ニ關シテ數種ノ新方法ガブダペス

ト人ノ發明スル所トナリシニ依リテ、世界中粉製造方法ハ盡ク其影響ヲ受ケタリ。此等ノ新法中最モ重要ナルハ所謂「中間清潔器械」（ミツドリングス、ピユリフアイヤー）及ヒ遞減法（グラヂユアル、レダクシヨンシステム）ト稱スルモノニシテ、其重要之ニ次クモノハ舊時ノ石製轉器ヲ以テシタルニ在リ。此等ノ新發明ハ麴粉ノ製造ヲ大仕掛ノ工業タラシメ、其數萬ノ小製造者ヲ磨滅セシメタリ。此新意匠ハ直ニミンチソタノ麴粉製造者ノ採用スル所トナリ、一層之ヲ改良シテミンチソタ及ヒブダペストハ世界中ノ二大製粉業ノ中心トナレリ。ミンチソタハ其製造高ニ於テブダペストノ上ニ在リト雖モ、ブダペストニ於テモ多ク〳〵ノ巨大ノ製造場アリテ、其市ノ發明及ヒ製造ニ係ル自動器械ヲ備ヘ、電氣燈ヲ用キ火災ノ豫防方法亦甚タ充分ナリ。其製粉ノ最モ精製セルモノハ米國ヲ除クノ外世界ノ各所ニ輸出セラレ價格最モ高シ。

ブダペストニ於テ見ルヘキモノハ固ヨリ新事物ニ在リテ舊時ノ遺跡ニハ在ラサレトモ、少シク其過去ヲ一言スルモ無益ナラサルヘシ。此市ハ古ルクハ羅馬ノ城下地ニシテ、其要害堅固ナル地位ニ因リテ太古ノ時代ヨリ之ヲ軍事

ノ用ニ使用シ居タリシナリ。中世ニ至リテ土耳古人ノ之ヲ占領スルコト凡ソ百五十年、其匈牙利ヨリ逐ヒ拂ハレテヨリ未タ二百年ニ過キス、城砦及ヒ絶壁ハ「ダニユーブ」河ノ南即チ右岸ナルブタノ側ニ在リ。ペストハ其北岸ノ平坦ナル側ニ在リ。其外部ニ無限ノ平原相連レリ。舊時ニハブタノ方大市街ニシテペストハ小村落ニ過キサリシカ、近時ノ發達ノ事情ハ凡テペストノ方ヲ利シ、現時ニハ其人口ブタノ四倍ニ居ル。サレドブタノ側ハ其風光最モ明美ニシテ「ブロックスベルヒ」ノ絶壁ハ高ク聳エ其高河ノ水面ヲ拔クコト殆ト一千呎ニ近ク、其絶頂ニハ今ハ廢趾ニ歸シタル舊城砦アリ。此城砦ノ上ニ匈牙利ノ古來ノ大人物ノ名譽ノ爲ニ其靈廟（ハンセオン）ヲ築カレシコト匈牙利人ノ多年ノ宿望ナリシカ、遂ニ一千八百九十六年ノ開國千年祭ノ第一ノ事業トシテ、此新「パンセオン」ヲ築キテ之ニ匈牙利一千年ノ歷史ヲ飾レル偉人ノ銅像ヲ定置センコトヲ決セリ。「ブロックベルク」ト相鄰リテ之ヨリ稍低キ他ノ岡アリ、其上ニ王宮アリ。其近傍ノ坂道及ヒ谷間ニ舊ルクブタト稱シタル市街アルナリ。「ブロックスベルク」ヲ初メ其他近傍ノ岡ヨリ「ダニユーブ」ノ河水及ヒペストノ

新パンセオン

全市ヲ見下ロス風景ハ眞ニ絶佳ナリ。

進歩ノ時期　一千八百四十八年ヨリ一千八百六十八年ニ至ル時代

ブダペストノ凡テノ進歩、凡テノ宏壯ナル建物カ盡ク千八百六十八年ノ匈牙利新憲法、若クハ此變動ニ伴テ行ハレ千八百七十三年ヲ以テ確定シタリシブダ及ヒペスト兩市ノ併合ノ時ニ其編ヲ發セリトイフハ固ヨリ誤ナリ。千八百四十八年ヨリ千八百六十八年ニ至ル二十年間ニ於テモ亦少カラサル進歩ハ行ハレタリ。大公爵（ジョセフ）ハ此等ノ兩市ノ爲ニ多ク寄與スル所アリ、人口ハ少カラス增加シ、而シテ忠誠ナル伯爵（スチファン、スチエヘニ）ハ獨逸ノ勢力尙全國ニ普ク、ブダペストノ大學スラ獨逸ノ學校ニシテ其教授ハ皆獨逸人ナリシ時ニ當リテ「マアール」語ト其文學トヲ奬勵スルカ爲ニ國立ノ高等學校ヲ設ケタリ。千八百四十八年ノ匈牙利ノ反抗ハ澳地利能ク露西亞ノ助ヲ得テ之ヲ鎭壓シテ其主領ヲシテ追放ト殘酷ノ何レカ一ヲ選擇スルノ已ムヲ得サラシメ、而シテ一時匈牙利ハ澳地利ノ壓抑ノ下ニ苦マラサルヘカラサリシト雖モ、其年ノ反抗ニ依リテ奮起シタル餘勢ハ、尙此二十年間ニ於テ多クノ進歩ノ徵跡ヲ殘シタルナリ。然レトモ以上ノ事實ヲ外ニシテイヘ

一千八百六十八年以後ノ國ノ振興

ハ匈牙利ノ重要ナル秩序的ノ進歩カ殆ト皆千八百六十八年以後ニ於テ遂ニセラレタルモノナルハ亦疑ヲ容レサル事實ナリ。是ヨリ後ブダペストハ其市ヲシテ多望ナル少壯國家ノ首都タルニ適當ナラシメンカ爲ニ大ニ其元氣ヲ勃興シタリ。千八百四十八年ノ追放者ノ新智識ト新經驗トヲ得テ歸リテ其國ノ政ヲ執リ。絞殺ノ刑ヲ宣告セラレタリシ伯爵アンドラッシーハ今ハ之カ首相トナレリ。其反動ノ勢ハ極メテ激甚ニシテ獨逸ノ事物ハ、一時盡ク其勢ヲ失ヒ、官吏ノ獨逸人ナルモノハ一人モ殘ラス之ヲ罷免シ、其大學ハ匈牙利ノ基礎ノ上ニ其組織ヲ新ニシ、獨逸人ノ教授ハ容赦ナク其職ヲ免セリ。時勢ノ趨ク所此ノ如クナルヲ以テ其大事業ヲ企ツルニ於テ最モ適當ノ時ナリシハ容易ニ察スルヲ得ヘシ。此時ニ當リテ維也納ノ市街擴張ノ設計ハ既ニ最モ宏壯偉大ナルモノアリシカハ、ブダペストカ之ト相並ハンコト殆ント企及ス可カラサル所ナリシモ、出來得ベキ的之ヲ近世化シ之ヲ改良センコトハ本國一致シテ希望スル所ナリキ。國ノ內閣ト市ノ政府トハ共ニ其力ヲ協セ、市ノ工事ハ國ト市ニ共同ノ管掌ニ屬セシメタリ。其改良ノ中心トシテ「ダ

市街改良ノ計畫

「ダニューブ」河ノ其中心トス

ニユーブ」ノ河流ヲ取リ之ヲ以テ最要ノ道路、最大ノ遊歩地トナシタリシハ美觀ノ上ヨリモ衛生ノ上ヨリモ又通商ノ上ヨリモ等シク當ヲ得タルモノナリキ。此ヨリ後「ダニユーブ」ノブダペストニ於ケルハ大運河ノヴエニスニ於ケルト相類スルノ地位ヲ有シ「テームス」ノ倫敦ニ於ケル「セイン」ノ巴里ニ於ケルヨリハ一層重要ノ地位ヲ有スルニ至レリ。其河ノ沿岸ニハペストノ側ニハ殆ト三哩ノ間「ブダ」ノ側ニモ、長距離ノ間宏大ナル石造ノ埠頭ヲ築キ、著ルシク河中ニ突出セシメ、斯クシテ河幅ヲ狹ク且ツ急ナラシメタリ。河ノ兩側ニ沿ヒテ大街道ヲ造リ其道路ニ沿ヒテ數多ノ壯麗ナル邸宅ヲ建築セリ。埠頭ハ高サ頗ル高ク、其埠頭ニハ絕エ間ナク階段ヲ造リテ下層ノ陸揚場ニ達スルヲ得セシム。河ノ兩側ナル家並ノ間ニハ處々公園地ヲ設ケテ此處ニハ數多ノ匈牙利ノ偉人ノ銅像ヲ建テタリ。左岸ニ並列セル邸宅中ニハ官ノ建物少カラス、就中其上端ニ近キ所ニハ千八百九十六年ニ第一會期ヲ開カルヘキ新國會ノ大議事堂アリ、其下ニハ國立ノ高等學校アリ、舊市役所アリ、新大稅關アリ、其他尙種々ノ建物アリ。懸ケ橋ノ下凡テ四分ノ一哩ハカリハ河ノ堤防ヲ以

埠頭及遊歩地

河岸ノ建築物

テ遊歩地トナシ數多ノ公共椅子ヲ樹蔭ノ下ニ並列シ、其他數多ノ珈琲店及ヒ料理店アリ、屋外ノ樹蔭ニ据ユ付ケシ其ノ店ノ卓子ヲ圍ミテ夏ノ夕ヲ茲ニ消スル風流ノ士ハ常ニ幾百ヲ以テ數フヘシ。匈牙利人ハ元來戸外ノ飲食ヲ好ムコト維也納人ニモ超エタリ、サレハブダペストハ大珈琲店ノ都會タリ。

市區改正

其ハ暫ク措キ前ニ返リテ改造計畫ノ進行ヲ述ヘンニ、市ノ内部ニシテ河岸ニ沿ヘル舊來ノペスト市(スタット)即チ普通ニ「町」ト稱スル部分ハ多角形ナル「リングス、トラッセ」(リングストラッセ)ヲ以テ其周圍ヲ廻ラシ、其内部ナル狹隘ナル道路ノ互ニ錯綜セルモノハ之ヲ改修シテ稍近世的ナラシメ、此「リングストラッセ」廻周道路ノ各邊又ハ角ニ當ル處ヨリハ、市ノ外端ニ向テ直線又ハ殆ト直線ノ道路ヲ射出シ、而シテ此大射出線ノ間ニ在ル部分ハ殆ト米國ノ市街ニ見ルカ如キ整畫ナル平行ノ道路ヲ以テ之ヲ分畫セリ。

リングストラッセ二廻間街路

内部ノ廻周道路モ亦頗ル美麗ナルトキ、其以後尚新ニ造ラレシ大廻周道路(ダロー セリング)ノ美麗ナルハ遙ニ之ニ超エタリ。此大廻周線ノ内部ノ廻周線ノ外部一哩ヲ距テ、射出線ヲ横斷セルモノニシテ、「新」マーガレット」橋ヨリ其ノ再ヒ河ニ合スル迄長略四五哩ナル弓形ヲ形レリ。其道幅ハ極メテ廣ク、完全ニ鋪石セラレ、其道路ノ兩側ハ今尚建築中ナルモアレド、其ノ大部分ハ既ニ宏大ナル建築ヲ完成セリ。此他ニ尚將來ニハ中心ヲ同シウスル他ノ廻周道路ヲ修築スヘキ豫定ナリ。

「アンドラッシイ」街

ブダペスト中最モ美麗ナル道路トシテ市民ノ誇稱スル所タルハ、内部ノ市街ト「スタットヴエルドヘン」(「小サキ森」ノ意ナリ)トヲ連結セル「アンドラッシイ」(ストラッセ)街ナリ。

「アンドラッシイ」街ハ直線ノ大道路ニシテ其ノ長サ略二哩、道路ノ裝飾ハ技術ノ精巧ヲ盡クシ、歐洲中最モ美麗ナル市街ノ一ナリ。之ヲ賞揚スルモノハ或ハ歐洲ノ諸市中一ノ例外モナク最モ美麗ナル街衢ナリトイフモノスラアル程ナルモ無理ナラス。蓋ノ大廻周道路ト交叉スル所ニハ「オクタゴン」「ブラッツ」トイフ遊歩地アリ、其將來ニ築造セラルヘキ他ノ廻周道路ト交叉スヘキ所ニハ「ルンドプラツク」トイフ遊歩地アリ、此二ツニ依リテ全道路ヲ三部ニ分劃ス。其最初ノ三分ノ一ニハ盡ク精巧ナル建築物ヲ列ヲ、其建築ノ技術ハ一ツ々ニハ各異ナレトモ一般ニハ能ク均一ヲ保テリ。次ノ三分ノ一ハ各居宅何レモ廣サ一定シタル前庭ヲ備ヘ、最後ノ三分ノ一即チ里程略三分ノ二哩カ間

ハ一ツ々相離レタル別荘ノ如キ住宅ノミ相連ナリ、其ノ歩行道ヨリノ距離モ各均等ナリ。各住宅ノ技巧ハ千体萬様ナリ。「アンドラッシイ」街ハ其入口ヨリ其末端「スタットヴエルドヘン」ニ至ル迄外觀ノ美ハ極メテ能ク整ヒ、其中央ナル廣キ車道ハ堅固ナル「コンクリート」ヲ以テ堅メタル木材ヲ以テ之ヲ鋪キ、其歩行道ハ「アスフォルト」ヲ鋪キ、歩行道ノ次ナル狹キ方ノ車道ニハ方形ノ石ヲ以テ鋪キ、中央車道ト狹キ方ノ車道トノ間ナル騎馬道ハ小石ヲ散布セリ。「アンドラッシイ」街上ナル個々ノ建築ニ付テハ建築之ヨリ勝レタルモノ固ヨリ他ノ重ナル市街何レニモ乏シカラスト雖モ、全体ヲ平均シテ之ヲ云フトキハ技術ノ精巧ナル頗ル高度ノ發達ヲ示セリ。此全体ノ成功ヲ得タル重ナル原因ハ一般ノ美觀ヲ妨クヘキモノハ毫モ之ナキニ在リ。附ケテ言フヘキハ「ブタ」ノ側ニ於テモ亦大街路ヲ修築シ、其土地ヲ收用シ街路ヲ改造スルニ要シタル費用ハ頗ル巨額ニ達シタルコト是ナリ。

スタットヴエルドヘン」ハ美麗ナル一公園地ニシテ、其面積凡ソ一千「エークル」ブタペスト市民ノ最モ恰好ナル娯樂場ナリ。幸ニシテ其地位遠カラス、市民

ハ容易ニ之ニ遊フコトヲ得ヘク、其ノブタペスト|ニ於ケルハ尚「ブラーテル」ノ維也納ニ於ケル如シ。公園ノ中ニハ美ハシキ湖水アリ、冬ハ氷滑リノ場所タリ、夏ハ遊船ヲ浮フルモノ多シ。全公園中綠樹繁茂シ、動物園アリ、殊ニ數多ノ珈琲店、休憩所、繪畫展覽所、相撲場、輕業師、夏芝居、燐細工ノ見世物、其他種々ノ奇ナル見世物小屋等何レモ甚タ廉價ニシテ其レ々々ニ特種ノ趣味ヲ備ヘ、春又ハ夏ノ午後第ヲ此ニ曳ク數千ノ市民ノ娯樂ニハ無上ノ場所タリ。此地ニハ又市立ノ温泉場ノ一アリ、此他小公園地モ少ナカラサレドモ、市ノ割合ニハ多カラス此中「エリサベット」公園地ハ最モ注意ニ價スヘキモノナリ。

「マーガレテン」島(インゼル)ノコトモ亦必ラス一言ヲ忘ルヘカラス。「マーガレテン」島ハ市ノ上端ナル「ダニユーブ」河中ニ在リ。往古ニハ此島ハ尼寺ノ一派ノ所有ニ屬シ、現時ニモ尼寺ノ殘存セルモノ少カラス。十五世紀中土耳古人ハ尼ヲ逐ヒ拂ヒ其「バシヤ」ハ玆ニ其宮房ヲ築ケリ、土耳古人ノ撤去スルニ及ヒテ此島ハ市ノ所有ニ歸セシメ、近代ニ至リテ市ハ大公爵(ジヨセフ)ニ其狩獵地トシテ之ヲ讓與セリ。今代ノ大公爵ハ之ヲ裝飾シテ公共ノ遊歩地トナセリ。其長サ

ハ略二哩、幅半哩計リニシテ、ブダペスト市民ノ誇稱ニ値スヘキ者ナリ。其地ハ種々ノ巨木ニ富ミ、趣味深キ花園アリ。數多ノ温泉及ヒ二三ノ「ホテル」ト料理店アリ、料理店ハ南部歐洲ニ於テハ娯樂地ニハ缺クヘカラサル原素タルナリ。

ブタノ側ニ於テモ其山手ニハ公園地及ヒ遊歩地少カラス。

市會議員四百人

ブタペストノ市會ハ殆ト市民總會トモイフヘキ程ノ大數ヲ以テ組織ス、余輩ハ未タ市會議員數四百人ニ上レル者ノ世界中他ニ之アルヲ聞カズ。一千八百六十八年ニペストハ二百人ノ議員ヲ以テ始メテ市會ヲ開設シタリシガ、一千八百七十三年ニ兩市ノ併合ヲ行ヒシ時、上流ノ階級ヨリ更ニ二百人ヲ增選スルノ議ヲ決シタルナリ。全選擧權者ハ七選擧區ヨリ二百人ノ議員ヲ選出スルノ外、併セテ最多數納稅者一千二百人中ヨリ尚二百人ヲ選出ス。此多額納稅者ヲ定ムルニハ一定ノ高等教育ヲ受ケタル者ハ其納稅額ヲ二倍シテ算出ス。是レ智識ト富トノ間ニ權衡ヲ得セシメントスルニ因ル。多數納稅議員ヲ選出スルハ常任ノ委員アリテ先ツ二百人ノ候補者ヲ定ム。而シテ全選擧權者ハ不思議ニモ必ラス此候補者ヲ其儘選出スルヲ例トス。市會議員ハ

被選擧人

多額納稅議員

任期六年ニシテ、同時ニ全四百人ヲ改選ス。市會ハ頻繁ノ開會ニ向テハ其數餘リニ大ニ過クルガ故ニ、一通常會ニハ議員百人ハカリノ集會スルヲ例トシ而シテ次ノ通常會ニハ前ノ百人トハ全ク異ナリタル他ノ百人ノ集會スルカ如キコト例ナリ。其委員モ亦中ニハ員數三十人又ハ四十人ニ及フモノアリテ事務ノ執行ニハ餘リニ大ナルニ過ク。實際ノ事務執行ノ任ニ當ルモノハ市參事會（マギストラート）ニシテ市長一人、助役二人及ヒ市參事會（マギストラート）員十八人ヲ以テ之ヲ組織シ、其ノ任期ハ何レモ六年トシ市會ニ於テ之ヲ選擧ス。各參事會員ハ其レ々々ニ行政ノ一部局ヲ分擔ス。此等ノ各員及ヒ高等ノ行政吏員若干名ハ職務上當然市會議員トナル。行政吏員中記錄局長及ヒ統計局長ハ終身官タリ。市會議員ノ員數ヲ減少スルノ必要ナルハ一般ニ認メラルヽ所ニシテ市ノ組織變更ノ好機ニシテ到着スルコトアラハ、二百人ノ多額納稅議員ハ第一着ニ廢止セラルルナルベシ。サレト現今ノ市會ノ無能ナル代リニ市參事會員及行政吏員ノ敏活ナルハ能ク之ヲ補フニ足リ、隨テブダペストヲ以テ惡政ノ市ナリトスルハ全ク實ヲ得サルモノナリ、

ブダペスト以外ノ地方制度ハ市ト町村（ゲマインデ）トヲ區別シテ一般通則ノ支配スル所タリ。町村ニ於テモ市ト同一ノ主義ニ基ク自治制度ヲ敷カルト雖モ其組織ハ稍簡單ナリ。何レニ於テモ其組織ノ中點タル者ハ市町村會ニシテ、其員數ハ村ニ於テハ十人ヨリ二十八人ニ至リ、町ニ於テハ二十八人ヨリ四十人、市ニ於テハ四十八人及二百人ナリ。匈牙利ニハブダペストノ外大都會ハ一モナケレトモ、市タル地ハ凡ソ二十ニシテ、其人口ハ平均シテ五萬人ニ近シ。選擧權ハ少許ノ納稅資格ヲ必要トス。市町村會ノ選擧ハ匈牙利全國凡テ半ハ全選擧權者中ヨリ、半ハ其市町村內ノ最多額納稅者中ヨリ選擧スルノ主義ヲ取レリ。ブダペスト市會議員ノ員數ヲシテ彼ノ如ク大ナラシタル所以ハ疑モナク此主義ニ在ルナリ。例ヘハ議員數二百人ノ市會ニ於テハ其中ノ首座ヲ占ムル百人ハ單ニ市ノ納稅者名簿中ノ首席ニ在ルトイフ事實ニ依リテ當然議席ヲ有スル者ナリ。此等ノ議員ハ其任期ニ定限ナシ、何トナレハ納稅者名簿ハ每年改製セラレ最多額納稅者ノ資格ヲ有スル者モ亦年々變更スレハナリ。此等最多額納稅者ハ當然議員タルノ權ヲ有スレトモ必スシモ終始議會ニ出

席スルノ義務ヲ負ハス。サレハ市會中稍恒久ノ要素タル者ハ寧ロ正式ニ選擧セラレタル議員ニ在ルナリ。ブダペストニ於ケルガ如ク他ノ凡テノ市町村ニ於テモ專門ノ學者又ハ高等ノ教育ヲ必要トスル一定ノ職業ニ從事セル者ハ其納稅額ヲ二倍シテ計算シ以テ教育アル階級ヲシテ市會ニ相當ノ代表ヲ得ヘカラシム。多額納稅者タル半數ノ議員ヲ出スニ選擧ノ方法ヲ用キルハ匈牙利國中ブダペストノミニテ、其他ノ市町村ニ於テハ最多額納稅者タル事實ニ依リ當然議席ヲ得ルナリ。或ル特別ノ場合ニ於テハ住民ニ非サル者又ハ其他ノ原因ニ因リ議席ニ就ク能ハサル多額納稅者ヲシテ其代理者ヲ指名スルコトヲ得セシムルコトアリ。多額納稅者ノ一人ニシテ通常ノ選擧ニ當選スル者アルトキハ納稅額ノ之ニ次ク者ヨリ之ヲ補フ。其他尙面白キ事實トイフヘキハ會社其他ノ法人ニシテ地租ヲ納ムル者ハ其理事ヲシテ市町村ノ選擧權ヲ行使スルコトヲ得セシムルコトナリ。ブダペストニ於テハ多額納稅者千二百人中ヨリ總選擧權者（即チ該書ノ能力ア）カ二百人ヲ選擧スル者ナレハ、選擇ノ餘地頗ル廣ク、其結果ハ他ノ市町村ニ於ケル最多額納稅者カ

當然議員ノ半數ヲ占ムル者トハ全澳地利匈牙利帝國ヲ通シテ略相類シ、市長ト共ニ市參事會ヲ組織シ行政各部局ノ長タル市參事會員ハ又市會ニ議席ヲ有シ發言及ヒ表決ノ權利ヲ行フ。匈牙利ニ於ケル市行政事業ノ社會的ノ方面ハ遂年發達ヲ遂ケ殊ニブダペストノ事業及ヒ經驗ハ叙述スルノ價アリ。一千八百七十年以前ハ毎年ノ平均死亡比例ハ一千人ニ付四十五人ニシテ、惡疫流行ノ年ニハ五十人ニ達セリ。現時ノ比例ハ凡ソ一千人ニ二十五人ニシテ、此著ルシキ減少ハ人口ノ急速ノ膨脹ニモ拘ラス行ハレタル者ニシテ、此減少ニ依リ一年少クトモ一萬人ノ生命ヲ救フヲ得タルナリ。現時ニ於テハ其比例ハ最早西歐若クハ米國ニ比スルモ甚シク高キニ居ラス、而シテブダペストニ土耳古帝國ノ隣國ノ首都ナルコトハ宜シク記憶スヘキ所ナリ。東歐ノ諸國ハ概シテ西部諸國ヨリ死亡比例頗ル高シ、例ヘハ露西亞ニ於テモ、「ダニユーブ」諸國及ヒ「バルカン」諸國ニ於テモ、其比例ハ匈牙利ヨリモ高シ。ブダペストカ其人口稠密ノ大都會ヲ以テ匈牙利全國ノ平均死亡比例ヨリモ低キ迄ニ其死亡比例ヲ減シ得タルノ事實ハ

極メテ顯著ナル異例トイフヘシ。僅ニ數年以前ノ千人ニ付四十五人ナリシ比例ヨリ、一千八百七十六年ニハ四十一人ニ減シ、一千八百七十七年ニハ三十一人、二、一千八百七十八年ニハ二十九人、四、一千八百九十二年ニハ二十七人、九、一千八百九十三年ニハ二十六人、八、一千八百九十五年ニハ二十四人、四ニ迄減スルコトヲ得タリ。此ノ如ク滿足ナル衛生上ノ改良カ如何ニシテ行ハレタルカト問ハヾ現時尚續行セラレツヽアル市行政ノ結果ニ外ナラス。其行政ノ第一ハ淨水供給ノ改良ニ在リキソハ「ダニユーブ」ノ河水ヲ引揚ケ之ヲ砂濾ニスルノ方法ニシテ滿足ナル結果ヲ收ムルヲ得タリ。サレト市ノ發達カ極メテ迅速ナル市民ノ一部ハ早クモ未タ濾通セラレサル河水ヲ飲用スルノ已ムヲ得サルニ至リ、給水ノ問題ヲ再ヒ焦眉ノ問題タルニ至リシカハ、新ニ永久ノ方法ヲ設クルコトヲ決定シ、種々ノ設計ヲ試ミタル中ニ堀拔井戸ノ試驗ハ良好ノ結果ヲ收メタリ。

匈牙利カ自主權ヲ得テ市ノ組織ヲ新ニシタルニ因ル最モ幸福ナリシ現象ノ一カ市立統計局ノ設置ニ在リシコトハ後ノ事實ニ依リテ之ヲ證明スルコト

ケレシ氏ノ事業

ヲ得タリ。市ハヨゼフ、ケレシ(Josef körösi)氏ヲ終身官トシテ統計官ニ任シ一千八百九十四年ニ至ル迄其職ニ在ルコト既ニ二十五年ナリ。氏カ爲シタル報告、論文、小著述、其他特別ノ問題ニ關スル研究ノ結果ハ、苟クモ市ノ行政ニ關スルモノニシテ統計ノ及フヘキモノハ一トシテ盡クササルモノナク、其完全ニシテ遺漏ナク且ツ時勢ニ適應セルコトハ世界中實ニ之カ比類ヲ見ス。ブダペストノ社會上及ヒ衛生上ノ改良ハ凡テ統計局ノ調査ノ結果ニ基ケルモノナリ。ケレシ氏ノ事業ノ初マル迄ハブダペストカ死亡比例ノ高キコトハ何人モ之ヲ知ラス、市民ハ之ヲ以テ極メテ健全ノ地ト思惟セリ。サレハ最初ニハ市民ハ統計局ヲ以テ市ヲ讒誣シ故ラニ害意ヲ挾ムモノトナシタリシカ、ケレシ氏ハ忍テ其非難ニ堪ヘ、有名ナル一千八百七十一年ノ國勢調査ニ依リテ其死亡比例ノ高キコトヲ證明シタリ。此調査ニ依リ氏ハ詳密ニ市民ノ凡テノ狀態ヲ詳査シ、過度ノ密聚ヲ來タセルノ場處甚タ多ク、就中最モ甚シキハ人口ノ一大部分カ地下室ノ濕氣中ニ居住セルノ事實ヲ見出セリ。此ニ於テカ之ニ對スル改良策トシテ市ハ全ク地下ノ居住ヲ禁止シ、新地域ニ於テ貧民

ノ居住ノ爲メ新ニ家屋ヲ建築シタリシモ、居宅ノ改良ヲ要スヘキ貧民ハ其數極メテ多ク、一時之ヲ轉住セシムルコト能ハサリシニ因リ、濕氣ノ稍少ナクシテ比較的ニ害少ナキ地下室ヲ選ヒ再ヒ之ニ居住スルコトヲ許セリ。一千八百八十一年ニハ地下室ハ總居宅數ノ百分ノ七.六ニ減シ、一千八百九十一年ニハ其割合百分ノ五ニ減スルヲ得タリ。維也納ノ地下室ハ一千八百九十一年ニハ僅ニ全數ノ百分ノ一.二ナリキ。是レ前章ニ述ヘタル市民居宅ノ改造ノ結果ニ因ル。

ブダペスト市民ノ居宅ニ付テ著ルシキ事實ハ一階ノ家屋ノ甚タ多ク、而シテ其各家屋ハ更ニ貸家トシテ之ヲ數家ニ再分シ、各家族ノ居住室ハ重ナルモノ唯一室ニシテ之ニ小サキ炊事場ノ附屬スルノミナルコトニ在リ。維也納ニ於ケル家屋制改良ノ結果ハ伯林及ヒ巴里ニ於ケルガ如ク數階ノ大貸家ノ一般ニ建築セラルヽニ至リシガ、ブダペストニ於テモ近來ハ此同一ノ傾向ニ向ヒツヽアリ。サレド東南歐洲諸國ニ於ケル舊來ノ一般ノ風潮タリシ一階建ノ慣習ハ現時ノブダペストニ於テモ尙裏町其他繁華ナラサル部分ノ特色

タリ。一千八百七十年以前ハ各種ノ家屋ヲ合セ其五分ノ四ハ一階建ニシテ、三階以上ヲ有シタリシ家ハ僅ニ百分ノ二ニ過キサリキ。一千八百九十一年ニ至リテモ其三分ノ二ハ尚一階建ナリシガ、三階建四階建ノ家屋ハ頓ニ其數ヲ增加セリ。一千八百八十一年ニハ凡テノ家族中一階ニ住スルモノ百分ノ六十二ナリシカ、一千八百九十一年ニハ此比例百分ノ五十九·五ニ減セリ。維也納ニ於テハ同樣ノモノ百分ノ二十六ニシテ、獨逸大市街ハ平均シテ十三乃至二十ニ居ル。ブダペストニ於テ二階ニ居住スル家族ハ百分ノ二十一ニシテ三階居住者ハ百分ノ九·四ナリ、其四階以上ニ居住スル者ニ至リテハ僅ニ百分ノ五ニ過キス。維也納ヲ以テ之ニ對照スレハ二階ニ居住スル家族ハ百分ノ二十六·五ニシテ、三階居住者ハ百分ノ二十一·二、其四階以上ニ住スル者ハ百分ノ二十四ナリ。伯林ニ至リテハ四階以上ノ居住者百分ノ三十五ノ多キニ居ル。

維也納及伯林トノ比較

一室居住者

一千八百九十一年ニケレシ氏ノ調査セル所ニ依レハ小炊事場又ハ物置部屋ノ附屬室ハ計算ノ外ニ措キ、一室ニ居住セル者ハ全數ノ百分ノ六十二ニシテ、

二室ノ居住者ハ殆ト百分ノ二十一、三室ヨリ五室ヲ占有スル者ハ百分ノ十五、三、五室以上ヲ占有スル家族ニ至リテハ僅ニ百分ノ二·二、即チ五十人ニ略一人ノ割ナリキ。獨逸ノ諸市中ニモプレスラウ其他一二ノ大都會ニ於テハ居室ノ數人口ノ割合ニハ驚クヘキ程少數ナレトモ、ブダペストノ居室ノ數ノ少ナキハ遙ニ之ニ超エ、疑モナク各文明國ノ大都會中ノ最モ甚シキモノナリ。維也納ノ居宅制ハ租稅ノ免除ト、新建築規則ノ實施トニ依リテ著ルシク改良セラレ、二都ノ反照ハ極メテ顯著ナルニ至レリ。維也納ノ外尚塙地利帝國ノ大都會タル「ボヘミア」人ノブラーグヲ始トシ、以太利人ノトリエスト、獨逸人ノグラッツ、彼蘭「ヘブルー」人ノレンベルグ及ビ露西亞國境ニ近キクラコワ、並ニ「モラヴィア」人ノブリユンノ各居宅ノ狀況ヲ一表ニ列記シ、之ヲブダペストノ居宅ト相比照スルハ興味ナキニ非ラサルヘシ。

一千八百九十一年ノ國勢調査ニ依レハ居宅（一家族ナリテ占領セル場處ヲイフ）數毎一百中左ノ如キ比例ヲ見ル。

ブダペストノ居宅ト澳地利諸市ノ居宅トノ比較

ブダペストノ新興

	ブダペスト	維也納	プラーダ	トリエスト	グラッツ	レンベルグ	クラコウ	プリユン
一室	六一、七	五、三	一六、四	一一、七	一七、六	三六、五	三一、四	四、六
二室	五、三	二八、一	三五、三	三二、七	三〇、五	二四、三	二六、一	四一、九
三室	八、七	五三、〇	三五、八	三八、〇	三八、六	三一、〇	三〇、〇	四二、一
四室及五室	六、六							
六室以上	二、二	一三、五	一二、五	一七、六	一三、八	八、二	一二、五	一一、四

居宅ノ不健康ナル事情

ブダペストニ於ケル一室居住者ノ多キコト斯ノ如ク甚シキヲ知ラハ、其死亡比例ヲ殆ト二分ノ一ニ迄減スルヲ得タル衛生行政ノ成效ハ益稱揚ニ値スルモノアルヘシ。サレト之ト同時ニ記憶スヘキ事實ハブダペストノ一室居住者ハ主トシテ一階建ノ家屋ニ住スル者ニシテ、數階ノ家屋中ノ一室ヲ占領スル者ニ比スレハ、日光及空氣ヲ通スルコト自由ナルコト、及ヒブダペストニ於テハ人口ハ比較的ニ廣キ地域ヲ散布セラレアルコト是ナリ。市ノ地域ハ從來久シク歐洲ノ凡テノ他ノ首府ヨリ廣カリシモノニシテ其面積殆ト八十方哩、維也納ノ新擴張後ノ地域ヨリモ廣濶ナリ。勿論此廣濶ナル地域ノ全部ニ

其地域ノ廣キコト

テ人口ノ密度盡ク相平均セルニ非ラス、外方ノ大部分ハ庭園、葡萄園、畑地、又ハ森林等ヨリ成レリト雖モ、一般ノ傾向ハ漸次外部ニ膨脹シ、家屋ノ敷地ヲ廣クスルノ傾アリ、加之三階建以上ノ家屋ヲ以テ一階建ニ代フルノ風潮ハ同一ノ敷地ノ上ニモ大ニ居室ヲ廣クスヘキコト疑ナシ。市自身モ亦ケレシ氏ノ最近ノ報告ニ基キ最下級貧民ノ部落ヲ改造スルノ計畫アリ。一千八百九十六年ヨリ千年祭ノ一ノ事業トシテ其計畫ノ實行ニ着手スヘキコトヽナセリ。此等ノ事業ハブダペストニ於テハ他ノ諸都會ニ於テ行フヨリモ費用ヲ要スルコト僅少ナルヘシ。其理由ハ二アリ、一ニハ改造ヲ要スル家屋ハ凡テ一階造ナルコト、及ヒ一ニハブダペストノ地價ハ比較的ニ低廉ナルコト是ナリ。

ブダペスト市民居室ノ平均數カ維也納ト同等地位ニ至ルハ尚五十年以後ナルヘシト雖モ、少クトモ一千九百〇一年ナル次回ノ國勢調査ニハ前回ノ調査ノ時ヨリハ著ルシキ改良ノ跡ヲ見ハスヘキコト疑ヲ容レス。

ブダペストノ如キ急速ニ發達シツヽアル都會ニ於テハ米國人ハ必ラス土地賣買ノ投機カ盛ニ行ハルヘキコトヲ想像スヘシ。サレトモ事實ハ之ニ反シ

土地制度

テ殆ト其形跡ヲ認メス。是レ主トシテ市ノ内外ノ空地カ大部分市ノ所有ニ屬スルニ因ル。市ノ發達スルニ隨ヒ市ハ必要上時々入札ヲ以テ宅地ノ拂下ヲ爲セリ。近世ノ土地制度改良ノ主義ヲ唱フル者ハ此拂下ニ反對シテ之ヲ貸下クルノ適當ナルヲ主張スヘシト雖モ、東南歐洲ノ諸國ハ土地私有ノ熱心ナル主張者ニシテ、自ラ自己ノ家屋及ヒ庭園ヲ所有スルヲ好メリ。ブダペストノ市政廳ハ病院其他公ノ建物ニ要スヘキ敷地ヲ公有セルコトハ市ノ爲ニ幸ナリトイフヘシ。サレトコハベストノ側ニ就テノミイフヘキモノニシテブタノ側ハ之ニ反シ、舊ブダ市ノ時代ニ於テ早ク其土地ノ所有ヲ失ヘリ。就イテ一言スヘキハ此他ノ匈牙利ノ諸市並ニ塞耳亞、ブルガリア及「ダニユーブ」流域諸國ノ諸市ハ何レモ市有ノ土地ヲ所有シ、舊時ニハ之ヲ共同ノ牧畜場トシテ使用シ又ハ森林トシテ材木ヲ供給シタリシカ、近時ニハ市ノ財源トシテ、貴重ナル財産トナレリ。

飲食品ノ取締

ブダペストノ飲食品ノ供給ハ適當ナル官ノ監督ヲ受ク。市立ノ大屠畜場ハ市民ノ殊ニ誇稱スル建物ノ一ナリ。其建築ハ宏壯ニシテ各種ノ便宜ヲ備ヘ、

又衛生上ノ目的ヲ達スルト共ニ市ノ專占業トシテ市ニ財源ヲ供ス。之ト連結シテ市立ノ畜類市場アリ、其毎週ノ市日ニ此處ニ群集スル匈牙利及ヒ塞耳亞ノ長角ノ白色ナル巨大ノ牡牛ハ旅容ノ一覽ノ價アリ。ブダペストノ農產物市場ニハ凡テノ東南歐洲諸市ト同シク其國風ノ衣服ヲ着ケシ幾百ノ農民群集シ、東洋ノ最モ美觀ノ一ナリ。此等ノ市場ニ於ケル營業ニ關シ新衛生規則ヲ勵行シタルハ市民ノ健康ニ付キ一大進歩ヲ爲セルモノナリ。

市立病院

前ニ返ヘリテ市ノ社會的事業ノ叙述ヲ續ケンニ市立ノ大病院ニ付キテモ一言ナカルヘカラス。コハ最近ノ式ニ則リテ築カレ幾棟ニモ別カレタル煉瓦建ノ家屋ニシテ、敷地廣ク風景又美ナリ。

傳染病院

染隔離病院アリ。市民ノ住居地ヨリハ充分ノ距離ヲ距テタルモ往來ニ不便ナルニハ至ラス。隔離病院モ亦最近ノ衛生學ノ要求スル凡テノ設備ヲ備ヘタルモノナリ。

傳染病豫防法

ブダペストハ斯クシテ漸ヤク傳染病ヲ公ノ監督ノ下ニ來タシツヽアリ。所謂傳染病豫防法（フロフィナチック）ニ付テハ醫師ニ猶豫ナク屆出ヲナスノ義務ヲ負ハシムルコト、直ニ患者ヲ離隔スルコト、官廳ヨリ其家ニ臨ミテ患者取扱